数量公開用図書

工事名称　　旧大空児童保育センター解体工事

工事場所　　帯広市大空町10丁目7番地

※注意事項

本設計書は参考数量として取り扱い、数量の相違については、各々の判断で入札価格に反映させてください。

設計説明書

１．施工理由　　本工事は、旧大空児童保育センター解体工事を行うもの。

２．工　　期　　令和６年10月3日まで

３．仕 様 書　　別紙「特記仕様書」による。

設計概要書

工　事　名　　旧大空児童保育センター解体工事

施 工 位 置　　帯広市大空町１０丁目７番地

１．構造・規模　　木造　本館　497.880 ㎡
　　物置　　9.720 ㎡

２．工事概要　　解体工事（建築・電気設備・機械設備・外構工事）

３．別途工事　　無し

工事費内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
発生材	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

工事種別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
発生材	1	式		
計				

建築工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
本館	1	式		
物置	1	式		
屋外物	1	式		
アスベスト除去用消耗品	1	式		
跡地整備	1	式		
計				

電気設備工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
本館	1	式		
計				

機械設備工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
本館	1	式		
計				

発生材　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
解体物運搬	1	式		
産廃処理費	1	式		
有価産廃物売却	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

本館

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
内部従物類撤去	1	式		
とりこわし	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

物置				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
とりこわし	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

屋外物				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
屋外物撤去	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

アスベスト除去用消耗品				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
アスベスト除去消耗品	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

跡地整備				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
樹木伐採処分	1	式		
跡地整理	1	式		
計				

電気設備工事　科目別内訳

本館				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
放送設備	1	式		
電話設備	1	式		
テレビ共同受信設備	1	式		
火災報知設備	1	式		
屋外設備	1	式		
計				

機械設備工事　科目別内訳

本館				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
暖房設備	1	式		
給油設備	1	式		
換気設備	1	式		
衛生器具・排水設備	1	式		
給水・給湯設備	1	式		
ガス設備	1	式		
消火設備	1	式		
屋外配管	1	式		
計				

発生材　科目別内訳

解体物運搬				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
発生材積込	1	式		
発生材運搬	1	式		
計				

発生材　科目別内訳

産廃処理費				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分	1	式		
計				

発生材　科目別内訳

有価産廃物売却				
名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
有価物	1	式		
計				

建築工事　中科目別内訳

本館

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設		1	式		
計					
内部従物類撤去		1	式		
計					
とりこわし	内部	1	式		
とりこわし	外部	1	式		
とりこわし	躯体	1	式		
計					

建築工事　中科目別内訳

物置

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設		1	式		
計					
とりこわし	内外部	1	式		
とりこわし	躯体	1	式		
とりこわし	とりこわし材積込	1	式		
計					

建築工事　中科目別内訳

屋外物

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
屋外物撤去		1	式		
計					

建築工事　中科目別内訳

アスベスト除去用消耗品

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
アスベスト除去消耗品		1	式		
計					

建築工事　中科目別内訳

跡地整備

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
樹木伐採処分	工区1	1	式		
樹木伐採処分	工区2	1	式		
樹木伐採処分	工区3	1	式		
計					
跡地整理		1	式		
計					

電気設備工事　中科目別内訳

本館

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	照明器具	1	式		
計					
放送設備		1	式		
計					
電話設備		1	式		
計					
テレビ共同受信設備		1	式		
計					
火災報知設備	自動火災報知	1	式		
計					
屋外設備		1	式		
計					

機械設備工事　中科目別内訳

本館

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
暖房設備	暖房機器類	1	式		
計					
給油設備	給油器具類	1	式		
計					
換気設備	換気扇類	1	式		
計					
衛生器具・排水設備	衛生器具類	1	式		
衛生器具・排水設備	排水設備	1	式		
計					
給水・給湯設備	給水給湯器具類	1	式		
給水・給湯設備	給水設備	1	式		
計					
ガス設備	ガス器具類	1	式		
計					
消火設備	消火器具類	1	式		
計					
屋外配管	給水	1	式		
屋外配管	排水	1	式		
屋外配管	ガス	1	式		
屋外配管	土工事	1	式		

機械設備工事　中科目別内訳

本館

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
計					

発生材　中科目別内訳

解体物運搬					
科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
発生材積込		1	式		
発生材積込	(アスベスト)	1	式		
計					
発生材運搬		1	式		
発生材運搬	(アスベスト)	1	式		
計					

発生材　中科目別内訳

産廃処理費					
科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分	処分費	1	式		
発生材処分	処分費（アスベスト）	1	式		
計					

発生材　中科目別内訳

有価産廃物売却					
科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
有価物		1	式		
計					

建築工事　細目別内訳

本館		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
枠組本足場	建枠600×1700　布枠500+240 12mm未満	762.	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	138.	m			
養生ｼｰﾄ張り	防炎Ⅱ類	762.	㎡			
軒天用足場	脚立足場 階高4.0m以下	62.	㎡			
内部仕上用足場	脚立足場 階高4.0m以下	488.	㎡			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	762.	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	138.	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	550.	㎡			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ･ﾈｯﾄ類)		762.	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

本館	内部従物類撤去					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
従物（大）とりこわし	玄関下駄箱	2.	台			
従物（小）とりこわし	事務室 ステンレス天蓋フード	1.	台			
従物（小）とりこわし	事務室 ハンガーボード	1.	組			
流し台類とりこわし	事務室 流し台　ｺﾝﾛ台	1.	か所			
従物（大）とりこわし	小遊戯室 固定間仕切	1.	組			
従物（大）とりこわし	小遊戯室 木製既製品戸棚	2.	台			
流し台類とりこわし	小遊戯室 水呑手洗場	1.	台			
従物（大）とりこわし	大遊戯室 木製書架	7.	台			
流し台類とりこわし	水呑A 水呑流し台	1.	台			
従物（小）とりこわし	水呑A 壁面鏡	1.	台			
流し台類とりこわし	手洗い場 流し台	2.	台			
掲示板類撤去	保育室・集会室 900×1800　再利用無し	8.	か所			
従物（大）とりこわし	厨房 作業台	1.	台			
流し台類とりこわし	厨房 SVS　流し台	1.	台			
流し台類とりこわし	厨房 SVS　コンロ台	1.	台			
流し台類とりこわし	厨房 SVS　天蓋ダクト	1.	台			
従物（大）とりこわし	厨房 SVS　ライニングフカシ	1.	か所			
従物（小）とりこわし	厨房 鏡	1.	枚			
従物（大）とりこわし	各室カーテンレール 延　62.7m	1	式			
ｶﾞﾗｽとめ(ｶﾞｽｹｯﾄ)撤去	ビートゴム	75.	m			

建築工事　細目別内訳

本館		内部従物類撤去				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
建具アクリルパネル	合板類撤去同等	1.9	㎡			
従物（小）とりこわし	ｺｰﾄ掛け等 W1700*H1600*D300程度	1.	か所			
従物（小）とりこわし	風除前室 風除物置内	1.	台			
従物（大）とりこわし	休憩室 造作棚板	1.	か所			
従物（大）とりこわし	小遊戯室 西側造作棚	2.	か所			
従物（大）とりこわし	大遊戯室 南側　東西造作棚	1.	か所			
従物（大）とりこわし	保育室 南側造作棚	1.	か所			
従物（大）とりこわし	集会所A 南側造作棚	1.	か所			
従物（大）とりこわし	集会所B 南側造作棚	1.	か所			
従物（大）とりこわし	物入A 造作棚板	1.	か所			
従物（大）とりこわし	厨房物入 造作棚板	1.	か所			
計						

建築工事　細目別内訳

本館	とりこわし	内部				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井とりこわし	合板撤去	13.5	㎡			
天井とりこわし	天井仕上(ﾎﾞｰﾄﾞ)　集積共	26.2	㎡			
天井とりこわし	天井仕上(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)　集積共	478.	㎡			
壁とりこわし	木質サイディング 下見板撤去同等	104.	㎡			
壁とりこわし	外装サイディング 下見板撤去同等	16.5	㎡			
壁とりこわし	間仕切壁仕上(ﾎﾞｰﾄﾞ片面) 集積共	652.	㎡			
壁とりこわし	間仕切壁仕上(化粧スレート) 集積共	21.1	㎡			
壁とりこわし	間仕切壁仕上 合板類撤去	85.2	㎡			
壁区画部　とりこわし	ラスモルタル	119.	㎡			
開口部とりこわし	内部アルミドア 鋼製出入口同等	2.	か所			
開口部とりこわし	木製窓類	43.	か所			
断熱材撤去	壁GW100㎜ 鉄板張類同等	305.	㎡			
断熱材撤去	天井ブローイング 天井下地程度	437.	㎡			
床とりこわし	フローリング類	505.	㎡			
床とりこわし	カーペット撤去 集積共	12.2	㎡			
床とりこわし	タイルカーペット撤去 集積共	48.6	㎡			
床とりこわし	CFシート撤去 集積共	3.2	㎡			
床とりこわし	畳撤去 1帖　集積共	8.	枚			
壁ｸﾛｽ撤去	掲示クロス　集積共	7.7	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

本館	とりこわし			外部		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	793.	㎡			
軒天とりこわし	アスベスト含有 不燃サイディング	141.	㎡			
軒天とりこわし	合板	16.2	㎡			
外壁とりこわし	アスベスト含有 コロニアル葺	98.4	㎡			
外壁とりこわし	不燃サイディング 下見板撤去同等	202.	㎡			
外壁とりこわし	木質サイディング 下見板撤去同等	46.5	㎡			
外壁とりこわし	鉄板張り撤去	18.6	㎡			
開口部とりこわし	アルミドア 鋼製出入口程度	10.	か所			
開口部とりこわし	アルミサッシ 木製窓程度	28.	か所			
計						

建築工事　細目別内訳

本館	とりこわし	躯体				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
煙突スレート管撤去	アスベスト含有	6.	本			
木造とりこわし	集積.積込費.機械	559.	㎡			
集合煙突とりこわし	ブロック造.モルタル共	4.7	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄとりこわし	RC造　土間ｺﾝ 圧砕機 標 準	16.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄとりこわし	モルタル　土間ｺﾝ 圧搾機	0.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄとりこわし	RC造　基礎部 圧砕機 -	4.	m3			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 とりこわし	厚200未満	46.	m3			
地業とりこわし	機 械 集積・積込み共	6.3	m3			
とりこわし機械運搬	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.5m3	1.	往復			
計						

建築工事　細目別内訳

物置		直接仮設				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
枠組本足場	建枠600×1700　布枠500+240 12㎜未満	48.2	㎡			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	20.6	m			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	48.2	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	20.6	m			
計						

建築工事　細目別内訳

物置		とりこわし			内外部	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
屋根とりこわし	鉄板葺き撤去	14.2	㎡			
屋根とりこわし	鉄板破風包み撤去	2.4	㎡			
開口部とりこわし	木製建具程度	1.	か所			
外壁とりこわし	鉄板張り撤去	32.	㎡			
床板とりこわし	合板 12㎜ (野地板程度)	11.7	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

物置	とりこわし	躯体				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
木造とりこわし （集積・積込共）	機械 ﾊﾞｯｸﾎｰ　0.6m3　－ －	9.7	㎡			
無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 とりこわし	束石	0.1	m3			
とりこわし機械運搬	保育センター含む		台			
計						

建築工事　細目別内訳

物置		とりこわし			とりこわし材積込	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	0.1	m3			
計						

建築工事　細目別内訳

屋外物		屋外物撤去				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
解体フェンスA	鉄製棚.基礎石共	83.8	m			
解体フェンスB	ネット共	37.8	m			
解体フェンスC	ネット共	22.7	m			
解体フェンスD	ネット共	5.	m			
解体フェンスE	ネット共	26.1	m			
平板飛石		139.	個			
庭園遊具1	バスケットゴール	1.	個			
庭園遊具2	スチール登棒	1.	個			
庭園遊具3	スチール雲鞠	1.	個			
タイヤ遊具		7.	個			
可動式踏込台	木製スロープ台	1.	個			
物干し台	束石のみ	1.	個			
屋外看板撤去		2.	か所			
計						

建築工事　細目別内訳

アスベスト除去用消耗品				アスベスト除去消耗品		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
標準装備品	27人工/作業員4人動員 27/4＝7日					
エアスプレイヤー	損料	7.	日			
真空掃除機	損料	7.	日			
防塵マスク本体	損料	4.	面			
防塵めがね本体	損料	1	式			
ヘルメット	損料	1	式			
消耗品	27人工×1日4回着替え 27×4＝108着					
防護服	タイベックソフトウェア3型	108.	着			
防塵マスクフィルター	交換用マイティミクロンフィルター	108.	着			
防塵手袋	手袋ベルテ207 10双/袋	108.	袋			
シューズカバー	シューズカバータイベック 10足/袋	108.	袋			
フレコンバック	865×865×1,100	5.	枚			
計						

建築工事　細目別内訳

跡地整備		樹木伐採処分			工区1	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
樹木伐採・伐根	幹周40～60cm未満	1.	本			
樹木伐採・伐根	幹周90～120cm	1.	本			
樹木伐根	幹周60～90cm	1.	本			
樹木伐根	幹周90～120cm	1.	本			
計						

建築工事　細目別内訳

跡地整備		樹木伐採処分			工区2	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
樹木伐採・伐根	幹周15～25cm未満 人力	10.	本			
樹木伐採・伐根	幹周25～40cm未満 機械併用	1.	本			
樹木伐採・伐根	幹周40～60cm未満 機械併用	5.	本			
樹木伐採・伐根	幹周60～90cm	11.	本			
樹木伐採・伐根	幹周90～120cm	7.	本			
樹木伐採・伐根	幹周120～150cm	1.	本			
樹木伐採・伐根	樹高7m～20m	39.5	m			
計						

建築工事　細目別内訳

跡地整備		樹木伐採処分			工区3	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
伐採抜根	幹周15～25cm未満 人力	11.	本			
樹木伐採・伐根	幹周60～90cm	2.	本			
樹木伐採・伐根	幹周90～120cm	2.	本			
計						

建築工事　細目別内訳

跡地整備		跡地整理				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
センター跡：搬入土	盛土(A種)	39.4	m3			
物置跡:搬入土	盛土(A種)	0.1	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	88.4	m3			
盛土	盛土(A種)	177.	m3			
敷きならし	締め固め共	244.	m3			
土工機械運搬 (ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞ)	排出ｶﾞｽ対策型 普通　3t級	1.	往復			
土工機械運搬 (ﾊﾞｯｸﾎｳ)	根切り、埋戻し -	1.	往復			
防護柵設置	単管　2段	216.	m			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　土砂 DID区間有り 7.0km以下	88.4	m3			
発生土処分費		88.4	m3			
砂利	人力　帯広地区程度 伐根後北電柱干渉樹木	12.5	m3			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館		電灯設備		照明器具		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
照明器具A 蛍光灯器具	露出形　　FL 20W　×1 再使用しない	6.	個			
照明器具B 蛍光灯器具	露出形　　FL 20W　×2 再使用しない	3.	個			
照明器具C 蛍光灯器具	露出形　　FL 40W　×2 再使用しない	21.	個			
照明器具D 白熱灯器具	ブラケットライト 再使用しない	3.	個			
照明器具E 白熱灯器具	シーリングライト 再使用しない	2.	個			
照明器具F 白熱灯器具	レセプタクル 再使用しない	6.	個			
誘導灯	BL 再使用しない	4.	個			
分電盤撤去	W400*H900*D150 再使用しない	1.	面			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館		放送設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
スピーカー撤去	壁掛形 再使用しない	2.	個			
スピーカー撤去	天井埋込型 再使用しない	6.	個			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館		電話設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
電話保安器盤撤去	W300*H400*D120 再使用しない	1.	面			
電話端子盤撤去	W280*H270*D80 再使用しない	1.	面			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館		テレビ共同受信設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
テレビアンテナ撤去	2段 再使用しない	1.	組			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館	火災報知設備			自動火災報知		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
火災報知受信機撤去	P型5回線 再使用しない	1.	面			
火災報知総合盤撤去	単独 再使用しない	1.	個			
火災報知器撤去	差動式スポット 再使用しない	27.	個			
火災報知器撤去	定温式スポット 再使用しない	3.	個			
火災報知器撤去	煙感知器 再使用しない	1.	個			
計						

電気設備工事　細目別内訳

本館	屋外設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
外灯制御盤撤去	鋼板製 W400*H420*D180 再使用しない	1.	面			
コンクリート柱撤去	0型　9m　機械 再使用しない	1.	本			
屋外照明器具撤去	投光器　　400W以下 再利用しない	1.	個			
電線撤去	SV22sq-3c 再利用しない	5.	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	暖房設備			暖房機器類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
石油ｽﾄｰﾌﾞ(撤去) 再使用しない	280D×500W×620H 給排気筒共	2.	台			
石油ｽﾄｰﾌﾞ(撤去) 再使用しない	400D×780W×600H 本体のみ	1.	台			
煙筒(撤去) 再使用しない	ｽﾃﾝﾚｽ製105Φ　曲がり共	12.8	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館		給油設備		給油器具類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
灯油ﾎｰﾑﾀﾝｸ(撤去)再使用しない	490L	1.	台			
灯油ｺｯｸ	中間ｺｯｸ、床BOX、壁BOX共 8A	25.	か所			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	15A　油用	1.	個			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般　15A	22.6	m			
灯油用被覆銅管（撤去）	再使用しない 一般　8φ	128.	m			
油配管洗浄費（中和剤含）	15A	22.6	m			
灯油銅管洗浄費（中和剤含）	8φ,10φ	128.	m			
灯油ﾀﾝｸ洗浄費（中和剤含）	490Ｌ	1	式			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館		換気設備		換気扇類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
天井埋込形換気扇 (撤去)再使用しない	20号、23号	5.	台			
有圧換気扇 (撤去)再使用しない	壁取付形(ES付)30cm	1.	台			
防雪ﾌｰﾄﾞ (撤去)再使用しない	30cm用	1.	台			
ｼｰﾘﾝｸﾞﾌｧﾝ (撤去)再使用しない	90cm	2.	台			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(低圧、高圧1､2ﾀﾞｸﾄ) 撤去	150mm　再使用しない	16.1	m			
長方形ﾀﾞｸﾄ撤去	亜鉛鉄板 0.6mm 再使用しない	2.2	㎡			
長方形ﾀﾞｸﾄ保温 撤去	ﾛｯｸｳｰﾙ･ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内隠ぺい､ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　再使用しない	2.2	㎡			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温 撤去(40K)	ﾛｯｸｳｰﾙ･ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内隠ぺい､ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　再使用しない	3.8	㎡			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	衛生器具・排水設備			衛生器具類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
和風便器撤去	ﾀﾝｸ式　　再使用しない	1.	組			
大便器撤去	ﾀﾝｸ式　　再使用しない	4.	組			
小便器撤去	洗浄弁式床置小便器 再使用しない	4.	組			
洗面器撤去	水栓1個、水栓2個 再使用しない	1.	組			
鏡撤去	再使用しない	1.	枚			
流しﾄﾗｯﾌﾟ(撤去) 再使用しない	40A	6.	個			
床排水ﾄﾗｯﾌﾟ(撤去)再使用しない	50A	1.	個			
床上掃除口(撤去)再使用しない	80A	1.	個			
床上掃除口(撤去)再使用しない	80A	1.	個			
通気金物(撤去)再使用しない	50A	1.	個			
通気金物(撤去)再使用しない	75A	1.	個			
衛生器具清掃消毒 費	大便器	5.	個			
衛生器具清掃消毒 費	小便器	4.	個			
衛生器具清掃消毒 費	洗面器	1.	個			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	衛生器具・排水設備			排水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 40A	5.8	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 50A	1.3	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 80A	6.	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 125A	31.4	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 50A	16.8	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 80A	11.4	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（一般）撤去	再使用しない 一般 100A	7.1	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	40A	5.8	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	50A	18.1	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	80A	17.4	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	100A	7.1	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	125A	31.4	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	給水・給湯設備			給水給湯器具類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
石油給湯器	31.0ｋW　給排気筒共	1.	台			
石油給湯器	42.7ｋW　給排気筒共	1.	個			
ｶﾞｽ瞬間湯沸器	5号	1.	個			
ｶﾞｽ瞬間湯沸器	16号	1.	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	20A	6.	個			
排気筒保温撤去	ﾛｯｸｳｰﾙ 屋内隠ぺい 再使用しない	1.5	㎡			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	給水・給湯設備			給水設備		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
一般弁　撤去	再使用しない 20A	1.	個			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般　15A	38.3	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般　20A	88.5	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般　25A	3.9	m			
鋼管（ねじ接合）（一般）撤去	再使用しない 一般　20A	11.8	m			
水栓(撤去)再使用しない	単水栓、混合栓　13A	16.	個			
水抜栓（撤去）再使用しない	15A～25A	9.	個			
給水・排水・給湯保温　撤去	屋内一般　露出 GW 20A	42.1	m			
給水・排水・給湯保温　撤去	屋内一般　露出 GW 25A	2.2	m			
給水・排水・給湯保温　撤去	天井内・パイプシャフト内 GW 20A	4.2	m			
給水・排水・給湯保温　撤去	床下・ピット内 GW 20A	20.1	m			
給水・排水・給湯保温　撤去	床下・ピット内 GW 25A	1.3	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	ガス設備			ガス器具類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｶﾞｽｺｯｸ	15A×10　ﾋｭｰｽﾞｺｯｸ	3.	個			
ｶﾞｽｺｯｸ	20A	3.	個			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	消火設備			消火器具類		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
屋外消火器BOX	10型1本用	1.	台			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	屋外配管			給水		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
隔測量水器	40A	1.	個			
支柱	ｽﾃﾝﾚｽ管	1.	個			
量水器BOX		1.	個			
一般弁　撤去	再使用しない 40A	1.	個			
ポリエチレン管（給水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　15A	4.8	m			
ポリエチレン管（給水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　20A	4.7	m			
ポリエチレン管（給水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　25A	3.9	m			
ポリエチレン管（給水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　40A	55.7	m			
ポリエチレン管（給水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　50A	8.5	m			
分水閉止キャップ	50A	1.	か所			
鋳鉄蓋	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝用　150Φ	4.	個			
舗装切断工(As)	t=15cm以下	16.1	m			
舗装取壊し	機械　t=10cm以下　破砕のみ	12.6	㎡			
木製土留工	H=1.8m　使用率100%	16.1	m			
車道アスファルト舗装工(細粒度)	t=3cm　合材・乳剤込	12.6	㎡			
下層路盤	t=25　0～40mm路盤材込	12.6	㎡			
凍上抑制層	t=27　0～80mm路盤材込	12.6	㎡			
縁石撤去復旧工	車道用ⅠⅡ型　基礎コン有り	1.8	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	屋外配管	排水				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
硬質塩化ビニル管（排水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　100A	13.3	m			
硬質塩化ビニル管（排水）（埋設）撤去	再使用しない 一般　125A	21.7	m			
汚水桝撤去（塩ビ桝）	再使用しない 一般　150A	3.1	m			
排水ｷｬｯﾌﾟ（既存公共汚水桝閉止）	100φ、125φ	2.	か所			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	100A	13.3	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋内)	125A	21.7	m			
排水管高圧洗浄消毒費(屋外))	150A	3.1	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	屋外配管	ガス				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ガス(LPG)管撤去	配管撤去工事25A	40.	m			
ガス(LPG)設備撤去	雑工事	1	式			
都市ガス(LPG)	掘削埋戻し	40.	m			
都市ガス(LPG)	諸経費	1	式			
計						

機械設備工事　細目別内訳

本館	屋外配管			土工事		
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
根切り(機械)（管路　給排水）	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	187.	m3			
埋戻し（管路　給排水）	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.28m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	180.	m3			
残土敷きならし	締め固め共（敷地内敷き均し）	7.	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1.	往復			
計						

発生材　細目別内訳

解体物運搬		発生材積込				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
木材類 積込み		111.	m3			概数
陶磁器・ガラス類 積込み		3.9	m3			
廃ゴム 積込み		0.01	m3			
廃プラスチック 積込み		3.1	m3			
がれき 積込み		6.7	m3			
繊維くず 積込み		0.9	m3			
石膏ボード 積込み		9.2	m3			
GW 積込み		118.	m3			
樹木　積込み		89.6	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	無筋CON	60.8	m3			概数
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	鉄筋CON	21.2	m3			概数
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	ｱｽﾌｧﾙﾄ塊	0.4	m3			
畳 積込み		0.8	m3			
金属 積込み		7.5	m3			
計						

発生材　細目別内訳

解体物運搬		発生材積込			（アスベスト）	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
アスベスト含有内装材 積込み	コロニアル	1.	m3			
アスベスト含有内装材 積込み	サイディング	0.8	m3			
アスベスト含有内装材 積込み	煙突スレート	0.01	m3			
計						

発生材　細目別内訳

解体物運搬		発生材運搬				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　木材類 DID区間有り　7.0km以下	111.	m3			概数
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　陶磁器・ガラス類 DID区間有り　7.0km以下	3.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　廃ゴム DID区間有り　2.0km以下	0.01	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　廃プラスチック DID区間有り　6.0km以下	3.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　がれき DID区間有り 60.0km以下	6.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　繊維くず DID区間有り　7.0km以下	0.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り　6.0km以下	9.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　GW DID区間有り 11.0km以下	118.	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　木材類 DID区間有り　2.0km以下	89.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間有り　2.0km以下	60.8	m3			概数
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ DID区間有り　2.0km以下	21.2	m3			概数
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　ｱｽﾌｧﾙﾄ塊 DID区間有り　2.0km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　畳 DID区間有り 11.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　金属 DID区間有り 11.0km以下	7.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	廃蛍光管　50kg未満	1	式			
計						

発生材　細目別内訳

解体物運搬		発生材運搬			（アスベスト）	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
アスベスト含有建材コロニアル発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　仕上材･材料類 DID区間有り 31.5km以下	1.	m3			
アスベスト含有建材サイディング発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　仕上材･材料類 DID区間有り 31.5km以下	0.8	m3			
アスベスト含有建材煙突スレート発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　仕上材･材料類 DID区間有り 31.5km以下	0.01	m3			
計						

発生材　細目別内訳

産廃処理費		発生材処分			処分費	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
木材類	中間処理	61.	t			概数
ガラス類	中間処理	0.3	t			
廃ゴム	最終処理	0.01	t			
廃プラスチック	中間処理	0.5	t			
がれき	最終処理	10.	t			
繊維くず	中間処理	0.1	t			
石膏ボード	中間処理	6.	t			
GW	中間処理	2.5	t			
伐採伐根処分費	中間処理	49.3	t			
無筋CON	中間処理	140.	t			概数
鉄筋CON	中間処理	48.3	t			概数
アスファルト塊	中間処理	0.9	t			
畳	中間処理	0.1	t			
蛍光管処理費	50kg未満 最終処理	1	式			
循環税	(廃ゴム、廃プラ、がれき、GW、畳)	13.1	t			
計						

発生材　細目別内訳

産廃処理費		発生材処分			処分費（アスベスト）	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
アスベスト含有コロニアル	最終処理	2.	t			
アスベスト含有サイディング	最終処理	0.8	t			
アスベスト含有煙突スレート	最終処理	0.01	t			
循環税		2.8	t			
計						

発生材　細目別内訳

有価産廃物売却		有価物				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
アルミ材	サッシ部材	0.3	t			
鋼材類	軽量型鋼(H2)	4.	t			
鋼材類	カラー鋼板類(H3)	2.6	t			
鋼材類	ステンレス鋼板(H3)	0.1	t			
鋼材類	その他混合金属	1.2	t			
電線		4.	kg			
計						

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ	H=1.8m 柱脚固定具共	212.	m			
門・出入口(ｸﾛｽｹﾞｰﾄ)	180型 両開き6000　存置3箇月	1.	か所			
仮設鉄板敷		27.9				
仮設材運搬 (ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ)		212.	m			
仮設敷鉄板運搬		27.9	㎡			
交通誘導警備員B		4.	人			
計						

旧大空児童保育センター解体工事

特記仕様書

令和　6 年 5 月

帯広市都市環境部都市建築室住宅営繕課

● 解体工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要及び範囲

Ⅱ　各工事

● 第１章　一般共通事項

● 第２章　仮設工事

● 第３章　解体施工

● 第４章　建設廃棄物の処理

○ 第５章　特別管理産業廃棄物等の処理等

● 第６章　石綿含有建材の除去及び処理

○ 第７章　特殊な建設副産物の処理

● 第８章　その他

Ⅰ　工事概要及び範囲

1.　工 事 場 所　　帯広市大空町１０丁目７番地

2.　解体する建築物等の概要

(1)　解体建物　　※　下記●は、工事対象範囲を示す。

	名　　称	構造種別・階数	数　量	単位	備　考
●	旧大空児童保育センター	木造平屋建	497.88	㎡	1973年(昭和48年)完成
○					
○					
○					
○					

(2)　解体附帯施設等　　※　下記●は、工事対象範囲を示す。

	名　　称	品　　種	規格	数　量	単位	備　考
●	物置	木造平屋建		9.72	㎡	
○						
○						
○						
○						

3.　建物の解体後に設置する工作物等（塀、柵等）　　※　下記●は、工事対象範囲を示す。

	名　　称	品　　種	規格	数　量	単位	備　考
○	木製防護柵	焼き丸太	H=1,000		m	範囲は、図面による
●	鋼製防護柵	丸パイプ	H=1,000		m	範囲は、図面による
○						
○						
○						

4.　建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の対象の有無　　● 有　　○ 無

5.　指定部分工事

(1)　工事範囲

(2)　指定工期　　契約日より　令和　　年　　月　　日 まで

Ⅱ　各　工　事

1.　図面(閲覧用設計書を含む)及び、この特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書　令和4年版（各工事編）」（以下「標準仕様書」という）、「公共建築改修工事標準仕様書　令和4年版（各工事編）」（以下、改修標準仕様書」という）、「建築物解体工事共通仕様書　令和4年版」（以下「解体共通仕様書」という）及び、「北海道建設部土木工事共通仕様書（令和4年10月版）」による。

2.　特記事項の適用については次による。

(1)　章は○印を、項目は ▷ 印を塗りつぶしたものを適用する。

(2)　特記事項は○印を塗りつぶしたものを適用し、塗りつぶしのない場合は ＊ 印をつけたものを適用する。

(3)　特記事項で○印を塗りつぶしたものと、 ＊ 印のつけたものがある場合は、共に適用する。

(4)　特記事項に記載の（　）内表示番号は、標準仕様書の該当項目、該当図又は該当表を示す。

3.　この特記仕様書に施工部位の記載のないものは図面によるものとする。

4.　本工事における工事監理業務委託の有無　　○ 有　　＊ 無

5.　石綿含有建材の事前調査

あらかじめ関係法令に基づき、次により、石綿含有建材の事前調査を行う。

7.　調査範囲に係る既存の設計図書の貸与をする。

ｲ.　調査は、既存の設計図書、石綿含有建材の調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査により確認し、調査結果を取りまとめ、監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、官公署へ報告を行う。なお、分析調査を行う場合は「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成18年8月21日基発第0821002号、最終改正　令和3年12月22日　基発1222第17号）に基づき、定性分析又は定量分析を行うこととする。

ｳ. 調査結果を監督員に報告する。

6. 次の場合に該当し、発注者が必要と認める場合は、設計変更する。
ただし、概数の確定による変更は除く。

(1)　設計図書間に不一致等がある場合

ｱ.　設計図書に記載されている内容が数量総括表等と一致しない、又は脱漏している場合等

(2)　設計図書と現場の状態とに不一致等がある場合

ｱ.　設計図書により示した条件と現場の状態が一致しないことにより施工方法・範囲の変更を必要とする場合等

ｲ.　設計図書のとおり施工することにより施設利用者又は使用者の利便性、安全性を損ねることが判明した場合等

ｳ.　受注者からの提案に基づく施工方法が設計図書のとおり施工することより経済性、工法的に合理性があると判明した場合等

(3)　関係機関との協議結果による工法変更及び仮設工変更等がある場合
なお、大空間等の仮設工事において施工条件に変更が生じた場合や受注者からの提案がより経済性や工法的な合理性に優れていると認められる場合は、原則として設計変更の対象とする。

7. 関係法令等

(1)　受注者は、工事の施工に当たり、周辺環境の保全に努めるとともに適用を受ける関係法令等を遵守し、必要に応じて次の関係法令等に従い手続き等を行い、工事を適切に施工すること。

- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）
- 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という。）
- 資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）
- ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別処置法
（以下「ＰＣＢ特別措置法」という。）
- 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
（以下「フロン回収破壊法」という。）
- ダイオキシン類対策特別措置法
- 労働安全衛生法
- 大気汚染防止法
- 騒音規制法
- 振動規制法
- 水質汚濁防止法
- 石綿障害予防規則
- 特定化学物質障害予防規則
- 建築基準法
- 環境基本法
- 土壌汚染対策法
- 建設副産物適正処理推進要綱

(2)　受注者は、「建設工事公衆災害防止対策要綱　建築工事編」及び「建築物の解体工事における外壁の崩落等による公衆災害防止対策に関するガイドライン」を遵守し、災害防止に努めること。

8. 工事に係る留意事項及び施工条件は、次のとおりとする。

・着工前に近隣の方への説明を十分に行い、トラブル等は速やかに解決を図ることとする。

・工事に関する騒音・振動・粉塵・工事車両等について近隣の方に対して適切に周知すること。

・敷地北側の樹木に関しては、境界が未確定のため伐採伐根を行わないこととする。

・アスベスト含有建材に関しては専用のフレコンバッグに入れ処理場まで運搬とする。

・ガス設備撤去に際しては専門業者(供給会社）で施工を行うこと。

● 第 1 章　一般共通事項

記載のない限り1.1.1等の３つの数字は、建築物解体工事共通仕様書の章・節・項を示す

項　　目	特　記　事　項
▷ 1. 道産材等の優先使用	本工事に使用する主要資材は、道産資材及び北海道認定リサイクル製品を使用するよう努めること。（木材及び木材製品は除く。）
▶ 2. 環境への配慮	(1) 環境物品等の調達 本工事の資材等に係る環境物品等の調達は、北海道グリーン購入基本方針に基づく現行の環境物品等調達方針により行うよう努める。 上記における同調達方針として、資材（材料及び機材を含む）のこん包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷軽減に配慮したものを優先的に選択・使用するように努めること。
▷ 3. 地域材の優先使用	本工事に使用する木材または木材を原料とする資材を使用する場合は、地域材を優先的に使用することとし、使用した材料の種別、産地等を監督員に報告すること。 地域材とは、道内の森林で産出され、道内で加工された木材をいう。
▷ 4. 合法木材の使用	木材又は、木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用すること。 また、木材の合法性の証明は、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのライドライン」（平成１８年２月林野庁）に準拠し、資材納入業者から証明を受けるとともに、証明書類を工事完了年度から起算して５年間保存すること。
▶ 5. 工事写真	工程写真及び完成写真は、帯広市営繕工事写真撮影要領による。
▶ 6. 技能士	(1) 技能士の適用は次の職種とし、従事する技能士の氏名・職種及び資格を記載した書面により監督員に報告すること。 ただし、作業の軽微なものは、監督員との協議により省略することができる。 なお、施工計画書等の記載事項や添付資料（資格証明等）により、選定技能士の内容が確認できる場合も「技能者選定通知書」の提出を省略できる。 ＜職種＞ 型枠施工・鉄筋施工・防水施工・内装仕上げ施工・サッシ施工・ガラス施工・表装・塗装・建築板金・石材施工・建築大工・とび・左官・ブロック建築・タイル張り・エーエルシーパネル施工・カーテンウォール施工・造園・樹脂接着剤注入施工・コンクリート圧送施工・冷凍空気調和機器施工・配管・熱絶縁施工・枠組壁建築、厨房設備施工、自動ドア施工、バルコニー施工、ウェルポイント施工、建具製作、畳製作 (2) 技能士は、職業能力開発促進法による１級、２級若しくは単一等級の資格を有し、地域技能士会の発行する資格証明書又は、技能検定合格書の写し或いは、技能士手帳の写しを上記（１）の書面に添付すること。 (3) 技能士は、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。
▶ 7. 施工中の安全確保及び環境保全等	受注者は、標準仕様書に定められた安全確保及び環境保全等のほか、特に次の事項に留意し、工事現場の事故防止に努めること。

(1)　労働者の安全衛生教育の徹底を行う。
(2)　工事現場の安全パトロールの励行を行う。
(3)　建設機械器具などの危害防止処置の徹底を行う。
(4)　第三者に災害を及ぼしてはならない。
(5)　公害防止に努める。
(6)　公道の汚染防止に努める。
(7)　善良な管理者の注意をもってしても、災害又は公害の発生の恐れがある場合の処置は、監督員と協議する。

▶ 8. 交通安全管理

受注者は､工事の施工中の交通事故防止のため交通安全管理に努め､次の事項を遵守する。

(1)　工事施工中の安全管理について、工事着手に先立ち作成する総合施工計画書で計画する。

なお、計画の策定は資材搬出入運行路線・点検体制・その他車両運行に係る安全対策等について道路管理者等関係機関と十分な事前協議を行い、以後も常に連絡を密にとりながら適切な処置を講じるものとする。

(2)　常に下請負人も含め工事施工中の交通安全管理状況の把握に努め、管理状況を適宜、監督員に報告する。

(3)　工事に関連して交通事故が発生したときは速やかに書面により監督員に報告する。

(4)　運搬には、許可業者を選定し、過積載又は過労運転等に伴う交通事故防止に努める。

(5)　建設機械（ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ､ﾊﾞｯｸﾎｳ等）は、排出ガス対策型を使用し、かつ、低騒音・低振動型の車両を使用すること。

▶ 9. 工事完成時の提出図書等

工事が完成した時は、帯広市営繕工事現場管理要領により、書類を整理のうえ、イージーキャビネット（Ａ４版）に収納し提出する。

(1) 電子データ（完成図のＣＡＤデータ・完成写真）　ＣＤ－Ｒ等による提出
・ 設計原図の貸与　　＊ 有り　　○ 無し
・ ＣＡＤデータの貸与　　＊ 有り　　○ 無し
※ＣＡＤデータの貸与有りの場合
＊ 完成図のＣＡＤデータ及びＰＤＦデータ　ＣＤ－Ｒによる。
(2) 保全に関する資料（提出部数　　＊ １部　　○ ___ 部）
(3) その他、必要とする書類については、監督員の指示による。

▶ 10. 工事特性・創意工夫・社会性等

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や社会性等及び技術力に関する事項について工事完了時までに所定の様式により提出することができる。

▶ 11. 北海道循環資源利用促進税

本工事で発生する産業廃棄物が、道内の最終処分場に直接搬入される場合、又は中間処理場に搬入される場合でも残さ等が発生し、最終処分場に搬出される場合は、循環税が課税されるので適正に処理する。

▷ 12. 自主施工期間の施工条件

自主施工期間中は、低温時施工により品質管理上支障の起こす恐れのない工種は、これを積極的に活用できる。

ただし、工法等を監督員と十分協議の上、施工するものとする。

▶ 13. 法定外の労災保険の付保

本工事の受注者は、下記に従い、法定外の労災保険に付さなければならない。

(1)　この特記仕様書における「法定外の労災保険」とは、従業員等が業務上の災害によって身体の障害（後遺障害、死亡を含む）を被った場合に、法定労災保険の給付に上乗せして雇用者が従業員等又はその遺族に支払う金額に対し、保険会社が雇用者に保険金を支払うことを定める契約を言う。

(2)　受注者は、本請負工事の契約工期を包含する保険期間による「法定外の労災保険」（以下、「法定外労災保険」という。）を締結しなければならない。本請負工事に係る契約締結時において「法定外労災保険」の契約を締結していない場合は、工事着工の前に「法定外労災保険」を締結すること。

(3)　受注者は「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、工事着手の前に、監督員へ提出しなければならない。

(4)　契約書第23条に基づき本工事の工期を変更したことにより、工期が「法定外労災保険」の保険適用外に及んだ場合、受注者は速やかに変更後の工期による保険期間の変更又は保険の追加契約を行い、変更又は追加して契約した「法定外労災保険」の保険証券の写し又は加入証明書の原本を、監督員へ提出しなければならない。

(5)　本工事で求める「法定外労災保険」については、保険契約に定める保険金額の多寡や特約の有無等の契約内容は問わず、保険契約の事実のみを求めるものとする。

▶ 14. 季節労働者などの雇用

工事施工に際しては、職業安定機関と密接な連携を図り、季節労働者などの雇用の拡大に努めること。

▶ 15. 下請負人等への支払いの適正化

下請負人及び資材業者に対する支払いは現金払いとし、やむを得ず手形払いとする時は、当該手形期間を短く（９０日以内）するよう努めること。

▶ 16. 現場環境改善

魅力ある建設工事を推進するため、工事現場の環境改善に努めること。

▷ 17. 快適トイレの設置

本工事は、「快適トイレ設置工事」の対象工事である。

(1) 受注者が当該工事の現場に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討すること。

(2) 快適トイレとは、次の１）及び２）の各項目を全て満たすものとする。３）については、必須ではないが、装備していればより快適になると思われる項目なので、設置を検討すること。

1) 快適トイレに求める標準仕様

① 洋式（洋風）便器
② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付き含む）
③ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能：必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること）
④ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等：二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
⑤ 照明設備（電源がなくても良いもの）
⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重５kg 以上）

2) 快適トイレとして活用するために備える付属品

⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
⑧ 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
⑨ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）
⑩ 鏡付きの洗面台
⑪ 便座除菌シート等の衛生用品

3) 推奨する仕様、付属品

⑫ 便房内寸法900×900㎜ 以上（半畳程度以上）
⑬ 擬音装置
⑭ 着替え台
⑮ フラッパー機能の多重化
⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
⑰ 小物置き場等（トイレットペーパー予備置き場）

(3) 快適トイレの設置にあたっては、以下に留意する。

1) 男女別で各１基ずつ設置することを原則とする。ただし、女性が現場にいない場合はこの限りではない。

2) 具体的な実施内容や設置時期については、施工計画書提出時に、(2)の項目を満たすことを確認できる資料を監督員に提出し、規格・設置基数等の詳細について、協議のうえ決定すること。

▶ 18. 建設業退職金共済制度

工事現場には「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示する。

▶ 19. 発生材の処理等

発生材の処理等は次により、「建設リサイクル法」、「資源有効利用促進法」、「廃棄物処理法」等の関係法令及び「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理すること。

処分を行った場合は、その施設の許可書等（写し）、受入伝票又はマニュフェスト伝票等（写し）を監督員に提出すること。

明示している処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設としているが、処理施設場所を指定するものではない。

受注者の提示する処理施設と積算上の処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、異なる処理施設となった理由が受注者の責によるものでないと判断される場合は、設計変更の対象として扱う。

なお、次の内容を変更する場合は、別途監督員と協議をすること。

(1) 発生材のうち、引き渡しを要する範囲は次による。監督員の指示する方法及び位置に堆積、整理し所定の発生材報告書により監督員に報告すること。

引き渡しを要する範囲：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 受注者が処分する有価物の範囲は次による。

有価物の範囲： 金属

なお、有価物は、次の登録又は許可業者で処分すること。

① 廃棄物再生事業者登録（知事登録）

② 金属くず商許可業者（警察許可）

また、処分を行った場合は、その施設の許可書（写し）と受入伝票又はマニュフェスト伝票等を監督員に提出すること。

(3) 上記以外のものの処理は、４章「建設廃棄物の処理」及び５章「特別管理産業廃棄物等の処理等」によること。

(4) 建設廃棄物の収集・運搬は、産業廃棄物収集運搬業の許可を受けた者とすること。

当該運搬車には、次に掲げる表示を行い、環境省令で定める書面を備え付けること。

産業廃棄物収集運搬車	
業 者 名	（ ○ ○ ○ ○ ○ ）
許可番号	× × × × ×

(5) 「建設リサイクル法」対象工事及び「資源有効利用促進法」で定められた次の資材の搬入、副産物の搬出がある工事は、工事着手時に再生資源利用・利用促進計画書を提出し、提出時にその内容を説明するとともに、書面または映像（デジタルサイネージ）により工事現場の見やすい場所へ掲示し、可能な限りインターネットの利用により公表するよう努めなければならない。

また、工事完了時に再生資源利用・利用促進実施書を提出し、監督員から請求があった時は、当該実施状況を報告すること。

なお、受注者による再生資源利用（促進）計画書及び実施書の保存期間は工事完成後５年間とする。

資源有効利用促進法で定められた一定規模以上の工事

（次表の一つでも該当するもの）

・ 再生資源利用計画書

次のような建築資材を搬入する工事

土　　砂	５００ ㎥以上
砕　　石	５００ｔ 以上
加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	２００ｔ 以上

・ 再生資源利用促進計画書

次のような指定副資産物を搬出する建設工事

土　　砂	５００ ㎥以上
コンクリート塊 ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ塊 建設発生木材	合計 ２００ｔ 以上

(6)　発生材の処理に関し、変更が生じる場合は、別途、監督員と協議すること。

▶ 20. 工事実績情報の登録

受注者は、受注時、変更時及び完了時に（１０日以内）工事実績情報システム（ＣＯＲＩＮＳ）に基づき、「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けた後に、（財）日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない（ただし、請負代金額５００万円以上２，５００万円未満の工事については、受注時のみ登録するものとする。）。また、同センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に、提出しなければならない。（対象工事：請負代金額５００万円以上の全工事）

▶ 21. 施工体制台帳の整備

建設業法に基づく施工体制台帳を作成し、施工管理体制に関する事項を監督員に提出しなければならない。

また、公衆の見やすい場所に施工体系図を掲示する。

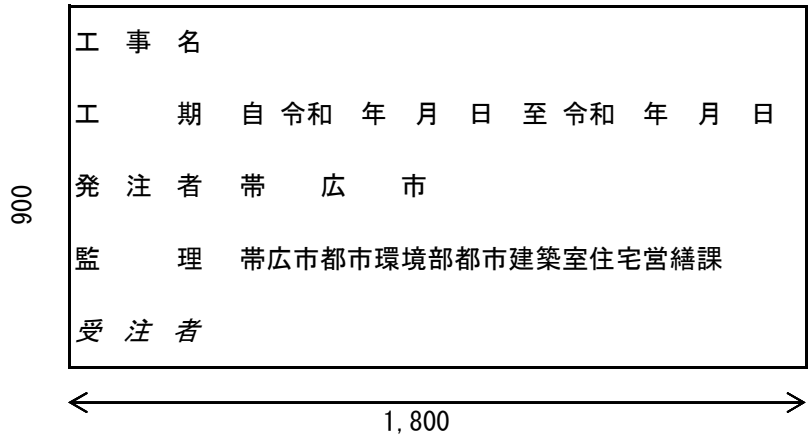
(1.4.1)

▶ 22. 施工調査

工事着手に先立ち、施工計画作成のための調査を行い、調査には、３章「解体施工」以降の各章による施工調査の調査事項を含めるものとする。

▶ 23. 工事標識

受注者は、着工後速やかに公衆の見やすい場所に工事標識を掲示する。



注１ 黒文字・丸ゴシック　カラー鉄板（白）タルキ下地

▶ 24. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の対応

(1)　受注者は、暴力団員等による不当要求又は工事（業務）妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否しなければならない。

また、不当介入があった時点で速やかに警察に通報するとともに、捜査上必要な協力を行わなければならない。

(2)　受注者は、前記により警察へ通報を行った際には、速やかにその内容を監督員に報告しなければならない。

(3)　受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じる等の被害が発生した場合は、監督員と協議するものとする。

▶ 25. 週休2日工事

(1)　本工事は、「週休２日工事」の対象工事であり、当初予定価格は４週８休以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。

(2)　受注者は、週休２日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に週休２日による施工を行うことができる。

(3)　週休２日とは、対象期間において、土日・祝日に関わらず、週休２日（４週８休）以上の現場閉所を行うことをいう。
対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始６日間、夏期休暇３日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。

(4)　現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。

(5)　週休２日（４週８休）以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が、28.5%（８日/28日）以上の水準に達する状態をいう。

(6)　週休２日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休２日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。

(7) 週休２日の実施の確認方法は、次によるものとする。

ｱ. 工事着手前

・ 受注者は、週休２日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。

・ 分離・分割発注した工事の受注者は、受注者間で協力し、工事の進捗に影響が出ないよう調整したうえで現場閉所の予定日を決定する。

・ 受注者は、現場閉所の予定日を明示した計画工程表（任意様式とし、他の書類と兼ねることができる。）を監督員へ提出する。

ｲ. 工事着手後

・ 監督員は、適宜、対象期間内の現場閉所の状況を確認する。

・ 監督員は、現場閉所の状況の確認に当たっては、新たな書類作成等により事務負担が増大しないよう留意し、既存の書類の活用に努める。

(8)　発注者が必要に応じ週休２日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。

(9)　受注者が週休２日による施工を希望しない場合又は現場閉所の達成状況の結果、４週８休に満たない場合は、労務費（工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）の補正について、履行状況に応じた設計変更を行う。

ｱ. 現場の閉所状況

(ｱ) ４週８休以上
現場閉所率が28.5%（８日/28日）以上の場合

(ｲ) ４週７休以上４週８休未満
現場閉所率が25.0%（７日/28日）以上28.5%未満の場合

(ｳ) ４週６休以上４週７休未満
現場閉所率が21.4%（６日/28日）以上25.0%未満の場合

(10)　各経費の補正は対象期間全体に対する週休２日の達成状況により決定するものとするが、建設業の働き方改革を推進する観点から、受注者は１か月ごとに４週８休以上の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。

	(11)　「週休２日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。 (12)　その他の事項については、帯広市週休２日工事実施要領によるものとする。
▶　26. 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。　なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、受注者が申出た日とし、工事工程表、総合施工計画書、工事打合せ記録簿いずれかで示すこと。 不明な点については、監督員と協議すること。

●　第２章　仮　設　工　事

項　　目	特　　記　　事　　項
▶　1. 監督員事務所及び備品等	監督員事務所 ＊ 設ける　　● 設けない （ ＊ 10㎡　○ 20㎡　○ 35㎡　○ 65㎡　○ 100㎡ ）程度 備品は次に掲げるものの中から監督員との協議による。 机・椅子・書棚・黒板・寒暖計・ゴム長靴・雨合羽・保護帽・懐中電灯・安全帯・請負者加入電話の子機・衣類ロッカー・　暖房機器・消火器・湯沸器・掃除機等
▶　2. 工事用便所	＊ 設ける
▶　3. 工事用水	構内既存の施設　○ 利用できる（ ＊ 有償　○ 無償） ＊ 利用できない
▶　4. 工事用電力	構内既存の施設　○ 利用できる（ ＊ 有償　○ 無償） ＊ 利用できない
▶　5. 指定仮設	＊ 仮設計画図による。
▶　6. 騒音・粉じん等対策	(1)　建物を解体するに当たり、騒音及び粉じん等の対策のため、次のとおり養生を行う。 なお、シート類は、防炎処理（防炎２類）されたものとする。

対象	区分	設置範囲及び高さ
○	防音パネル	＊ 図面による
○	防音シート	
○	メッシュ金網	
●	養生シート	

▶ 7. 足場	足場を設ける場合には、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省平成21年4月策定）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、すべての作業床について手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
▶ 8. 交通誘導警備員	建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を図ること。 なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。 配置位置：監督員との協議による 警備員詰所：（ ○ 設ける　　＊ 設けない） 表　工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方 工事現場の出入り口を設ける道路（路線）／交通誘導警備員区分 市街地（DID）内の路線／交通誘導警備員A 北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線／交通誘導警備員A 上記以外の路線／交通誘導警備員B 市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを１人以上配置すること。 交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は、監督員と協議すること。
▶ 9. 清掃員	建設機械及び車両等の出入りの際には、適宜作業員を配置し、敷地外の道路等を泥等で汚した場合には、速やかに清掃を行うこと。
▷ 10. 環境測定等	(1) 建設作業騒音レベル測定（ ○ 行う　○ 行わない） 測定方法：　JIS Z 8731の方法に準ずる　○ ＿＿＿＿＿＿ 測定時期：＊ 監督員の指示による （＿＿＿日間　＿＿＿ヶ所） 測定場所：○ 図示による (2) 建設作業振動レベル測定（ ○ 行う　○ 行わない） 測定方法：　JIS Z 8735の方法に準ずる　○ ＿＿＿＿＿＿ 測定時期：＊ 監督員の指示による （＿＿＿日間　＿＿＿ヶ所） 測定場所：○ 図示による

● 第３章　解　体　施　工

項　目	特　記　事　項
	(3.2.1)
▶ 1. 事前措置	(1)　特別管理産業廃棄物等がある場合は、５章「特別管理産業廃棄物の処理等」による処理を行う。 (2)　石綿含有建材は、６章「石綿含有建材の除去及び処理」による処理を行う。 (3)　特殊な建設副産物は７章「特殊な建設副産物の処理」による処理を行う。 (4)　各種設備機器の停止並びに給水、ガス電力及び通信の供給が停止していることを確認すること。 (5)　ガス管は、供給者と協議の上、処理すること。 (6)　給水管は、給水本管の分水部分を閉止し、水道事業者及び道路管理者と協議の上処理すること。 (7)　引き込み電気は、施設管理者と打ち合わせの上、処理すること。

(8)　電話線の処理は、施設管理者と打ち合わせの上、通信事業者に依頼すること。

(9)　建築物の解体に当たり、周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は監督員と協議の上、駆除する。

(10)　電気設備のコンデンサは、残留電荷を確認し、残留がある場合は放電を行う。

(11)　蓄電池は、充電状態の確認を行い、短縮による事故を防止する。

(12)　排水管・排水槽類、浄化槽・衛生陶器類は、汚物の抜取り及び次により洗浄・消毒を行うこと。

洗浄：屋外配管及び桝は、洗浄圧力１０ＭＰａ、吐出量１００Ｌ／ｍｉｎ以上で高圧洗浄を行う。

屋外配管及び桝以外は、洗浄圧力７ＭＰａ、吐出量２５Ｌ／ｍｉｎ以上で高圧洗浄を行う。

消毒：洗浄後に行う。　（消毒剤（次亜塩素酸ナトリウム溶液）濃度１００ｍｇ／Ｌ以上）

消毒後、３０分以上放置する。

(13)　オイルタンク、オイルサービスタンク及び配管内の廃油の事前回収及び洗浄

＊ 適用　　○ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(14)　廃油は５章「特別管理産業廃棄物の処理等」により処理することとし、異臭の発生並びに周囲及び地中への汚染を防止する。

▶　2. 解体方法等

原則分別解体を行うこととし、解体手順及び方法は、次による。(3.3.2)

ただし、解体施工の技術上これにより難い場合は、手順を変更し、監督員に報告する。

(3.3.2)(3.4.1)(3.5.1)

(1)　設備機器及び内・外装材を人力（監督員と協議のうえ必要に応じて機械併用）により取外しする。

(2)　屋根葺き材等の取外し　○ 人力　　● 機械併用

(3.3.2)(3.6.1)(3.6.2)

(3)　躯体は機械により取壊しする。　(3.8.2)

(4)　基礎・杭その他は、騒音・振動等に配慮し取壊しする。

(3.9.1)(3.9.2)

(5)　構内舗装等、地下埋設物及び埋設配管　(3.10.1)(3.11.1)

▶　3. 基礎等の解体

(1)　建築物、工作物等の土中解体範囲：図面に指定がない場合は、基礎捨てコンクリート（砂利地業を除く）までとする。

(2)　建築物解体に伴う地下埋設物（排水管・桝・電線管・給水管等）の解体範囲：図面に指定がない場合は、建物周囲とする。

▷　4. 杭の解体

(1)　杭の解体の有無　(3.9.2)

○ 有[撤去範囲：　＊ 図面による　　○ ＿＿＿＿＿＿＿＿]

○ 無

(2)　解体方法（ ○ 引き抜き工法　○ 破砕）

(3)　杭の解体後は、地盤の安定性を維持するため山砂等の充填材を充填すること。

▶　5. さく、照明設備等

(1)　さく、照明設備等の解体　(3.10.1)

● 有[撤去範囲：　＊ 図面による　　○ ＿＿＿＿＿＿＿＿]

○ 無

▶	6. 構内舗装、樹木等の処理	(1) 構内舗装等等の解体 (3.11.1) ● 有[撤去範囲： ＊ 図面による ○ ＿＿＿＿＿＿＿＿] ○ 無 (2) 樹木等の撤去 ● 伐採伐根 ○ 抜根のみ ○ 伐採抜根 ○ 移植 移植場所： ＊ 図面による ○ 監督員の指示による
▶	7. 地下埋設物、埋設配管等	(1) 地下埋設物、埋設配管等 (3.12.1) ○ 有[撤去範囲： ＊ 図面による ○ ＿＿＿＿＿＿＿＿] ○ 無
▶	8. 整地・埋戻し・盛土	(1) 埋戻し・盛土は、次の材料で行うこと。 (3.13.1) ● 山砂 ○ 現場内の良質土 ○ 建設発生土受入 ○ その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ (2) 建設発生土受入場所（ 山口重機 ） 受入量 88.4 ㎥ (3) 埋め戻し及び敷き均しの工法は、次のとおりとする。 埋戻し方法：各層３００㎜程度ごとに締固める。 ブルドーザによる押土程度： ○ １５ｔ ● ３ｔ 盛土の高さ： ○ 現状GL+ m ● 図面による
▶	9. 建築設備の解体	オイルタンク、オイルサービスタンク及び油管は、洗浄・中和し、洗浄水・スラッジは、廃油として処理すること。

● 第 4 章 建設廃棄物の処理

項目	特記事項
▶ . 再資源化等	(1) 再資源化を図るもの（特定建設資材廃棄物） (4.4.1)

種類	コンクリート塊
場所	受入先： 山口重機
	片道運搬距離 (1.6 km)
種類	アスファルト・コンクリート塊
場所	受入先： 山口重機
	片道運搬距離 (1.6 km)
種類	建設発生木材
場所	受入先： マテック
	片道運搬距離 (6.3 km)
種類	● 金属類 ● 資源有効利用促進法に基づく指定再資源化製品 ● 資源有効利用促進法に基づく指定再利用促進製品 ○ 廃棄物処理法に基づく水銀使用製品産業廃棄物 ● 硬質ポリ塩化ビニル管及び継手 ● ガラス ● 木材
処理区分	○ 縮減 ○ 現場で使用
場所	受入先：
	片道運搬距離 (km)

(2) その他の発生材 (4.4.4)

種　　類	廃石膏ボード
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　岩佐
	片道運搬距離　（　5.3　km）
種　　類	繊維くず
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　マテック
	片道運搬距離　（　6.3　km）
種　　類	金属くず
処理区分	○ 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離　（　　km）
種　　類	廃プラスチック類
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　岩佐
	片道運搬距離　（　5.3　km）
種　　類	ｶﾞﾗｽ及び陶磁器くず
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　マテック
	片道運搬距離　（　6.3　km）
種　　類	がれき類
処理区分	○ 中間処理　　● 最終処分
処分場所	受入先：　ティー・ワイ
	片道運搬距離　（　35.8　km）
種　　類	グラスウール
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　タナベ
	片道運搬距離　（　9.1　km）
種　　類	アスファルト防水
処理区分	○ 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離　（　　km）
種　　類	セラミックブロック
処理区分	○ 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：
	片道運搬距離　（　　km）
種　　類	木くず類（伐採伐根）
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　山口重機
	片道運搬距離　（　1.6　km）
種　　類	タタミ
処理区分	● 中間処理　　○ 最終処分
処分場所	受入先：　タナベ
	片道運搬距離　（　9.1　km）
種　　類	蛍光ﾗﾝﾌﾟ・ＨＩＤﾗﾝﾌﾟ
処理区分	○ 中間処理　　● 最終処分
処分場所	受入先：　北海道エコシス
	片道運搬距離　（　　km）
種　　類	ゴムくず
処理区分	○ 中間処理　　● 最終処分
処分場所	受入先：　山口重機
	片道運搬距離　（　1.6　km）
種　　類	

	処理区分　○ 中間処理　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km） 種　類 処理区分　中間処理　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km） 種　類 処理区分　○ 中間処理　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km）
▷　2. 処理に注意を要する建設廃棄物	○ 木造建築物を解体する場合　(4.5.1) ＣＣＡ含有調査を実施し、含有が確認された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。 処理区分　＊ 中間処理 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km） ○ ひ素・ｶﾄﾞﾐｳﾑ含有石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ひ素・カドミウム含有調査を実施し、含有が確認された場合は、監督員と協議の上、適切に処理すること。 処理区分　○ 製造業者　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km） ○ その他 種　類 処理区分　○ 中間処理　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km） 種　類 処理区分　○ 中間処理　○ 最終処分 処分場所　受入先： 片道運搬距離　（　　km）

○ 第 5 章　特別管理産業廃棄物等の処理等

● 第 6 章　石綿含有建材の除去及び処理

項　目	特　記　事　項
▶　1. 石綿含有建材の除去工事	施工調査　(1.4.1) 建材の石綿含有調査は、次による。 受注者は施工調査の結果を書面により監督員へ報告すると共に、「石綿事前調査結果報告システム」による労働基準監督署及び大気汚染防止法所管部局への報告手続き（申請）を行うこと。 施工調査の結果、設計図書等と異なる場合は、監督員と協議する。 (1) 受注者調査範囲 ○ 分析調査箇所及び調査部位　＊ 図示

分析方法　＊ JIS A 1481-2（建材製品中の含有率測定方法-第2部:試料採取及び石綿含有の有無を判定するための定性分析方法）とする。

○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

● 発注者分析調査済：含有建材及び調査済部位は図示による。
分析結果　● 石綿含有　○ 石綿非含有
分析方法は、JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。

● 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与　＊ 貸与　○ 無

▷ 2. 石綿含有吹付け材の除去

(1) 処理を行う吹付け材の種類
種類 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
種類 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
（処理を行う範囲は図示による）

(2) 石綿含有吹き付け材の除去工法　(6.3.2)
＊ 粉じん飛散抑制剤等により湿潤化した後に除去
○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(3) 石綿飛散防止措置
＊ 湿潤化　○ 固形化

▷ 3. 石綿含有保温材等の除去

(1) 除去する保温材等の種類
種類 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
種類 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2) 石綿含有保温材等の除去方法　(6.4.1)
○ 切断
○ 破砕
○ 手ばらし
○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

▶ 4. 石綿含有成形板等の除去

(1) 除去する成形板等の種類
種類：　屋根　コロニアル
種類：　外壁　サイディング
種類：

養生　(6.5.1)
● 養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生
養生の仕様　*図示　○＿＿＿

(2) 除去した成形板の集積及び積み込みは、高所より投下しないことのほか、粉じんの飛散防止に努める。
(6.6.1)

(3) 破砕された成形板は、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。
(6.5.4)

▷ 5. 石綿含有仕上塗材の除去

(1) 石綿含有仕上塗材の除去方法
○ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
(6.3.3)(6.4.3)(6.5.3)(6.6.4)

▶ 6. 除去した石綿含有建材等の処分等

(1) 特別管理産業廃棄物

種　類	コロニアル、サイディング、煙突スレート管
処理方法	
処分場所	【　旭ヶ丘農場長寿園　】（総合）振興局管内
	片道運搬距離　（　21　km）
種　類	
処理方法	

処分場所	【　　】（総合）振興局管内
	片道運搬距離　　（　　km）

(2) その他

種　　類	○ 汚泥
処理方法	
処分場所	【　　】（総合）振興局管内
	片道運搬距離　　（　　km）

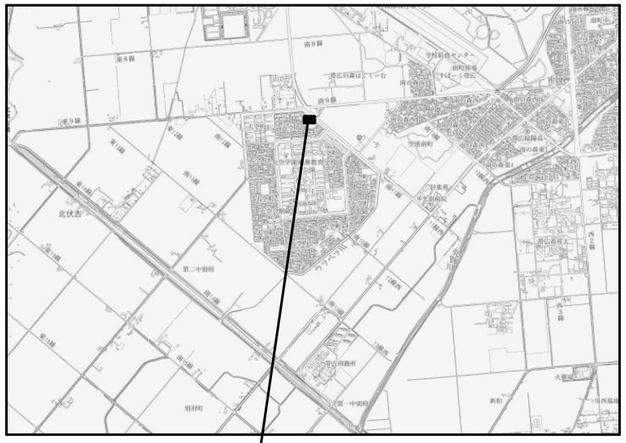
○ 第 7 章　特殊な建設副産物の処理

● 第 8 章　その他

項　　目	特　　記　　事　　項
▶ 1. 概数等発注	(1) 次に示した項目の工事数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。 なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること。 ｱ. 閲覧用設計書細目別内訳の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目 ｲ. 次の項目 ・ 処分・積込・運搬費 ・ ① 木材類　61　t ・ ② 無筋CON　140　t ・ ③ 鉄筋CON　48.3　t ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることがある。 (3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては、施工前に監督員と協議すること。 なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。 (4) 概数として示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として取り扱うことがある。

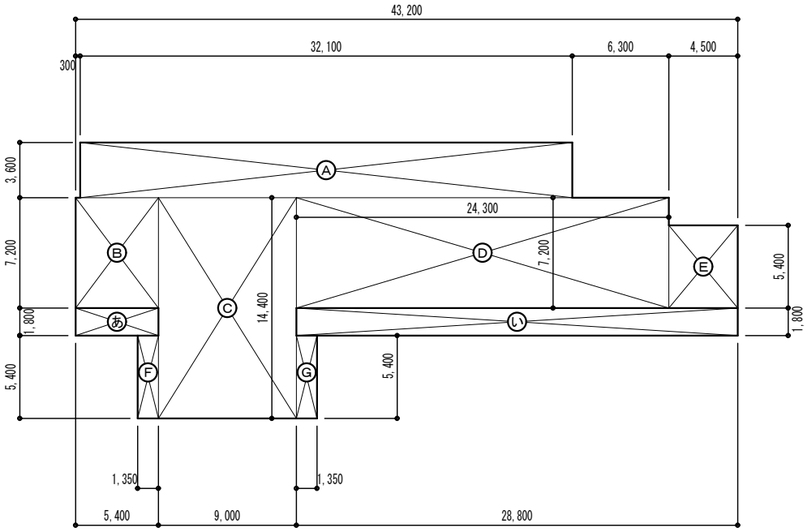
旧大空児童保育センター
解体工事

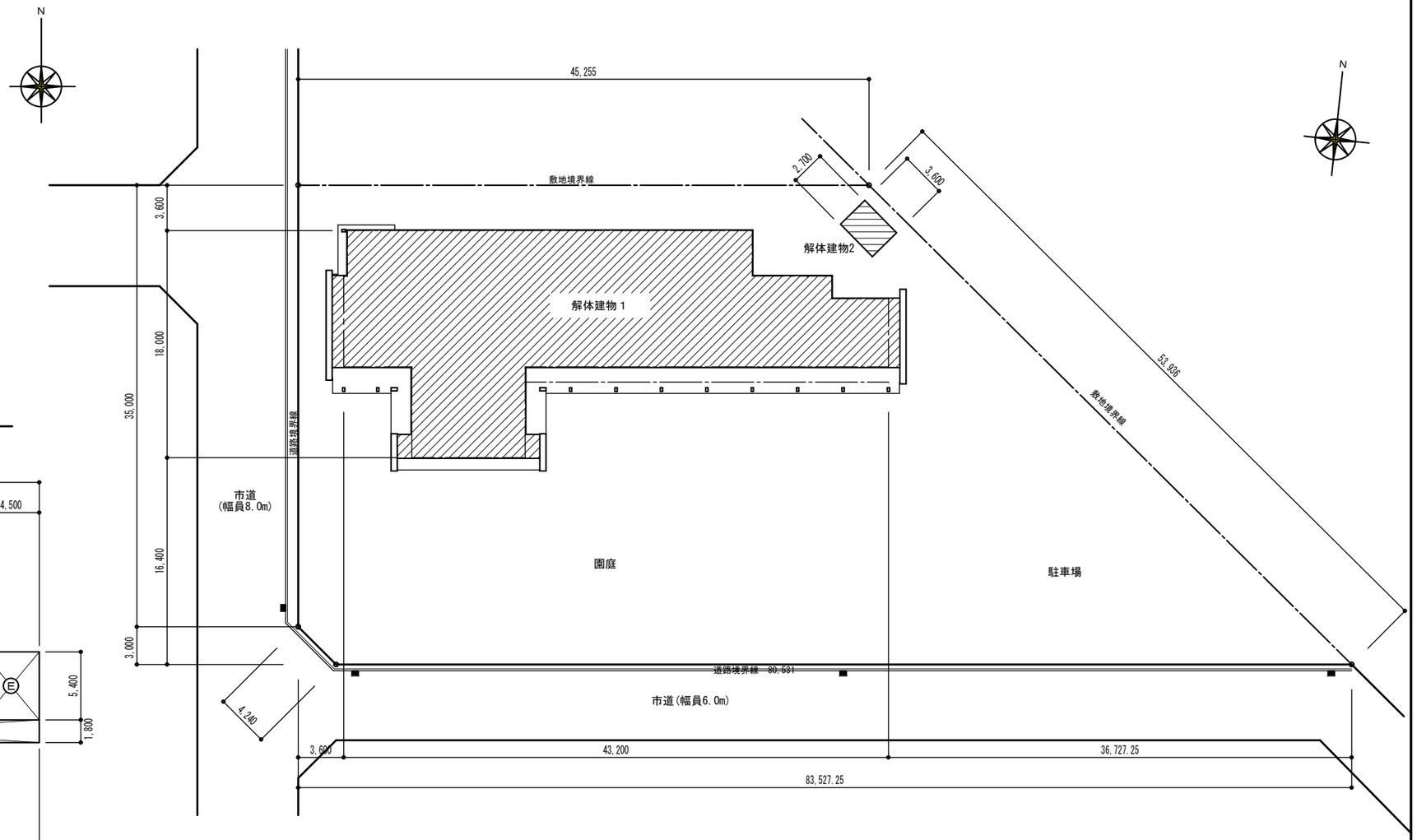
番号	図面名	番号	図面名	番号	図面名
	解体工事特記仕様書	E-01	電気設備　配置図・屋外撤去図	M-01	機械設備　屋外配管撤去平面図
A-01	見取・配置図・求積図・面積表	E-02	電気設備　撤去平面図	M-02	機械設備　撤去品目リスト
A-02	工事概要・既存仕上表	E-03	弱電設備　撤去平面図	M-03	暖房換気設備　撤去平面図　１
A-03	平面図	E-04	火災報知設備　撤去平面図	M-04	暖房換気設備　撤去平面図　２
A-04	立面図	E-05	電気設備　撤去機器表	M-05	給排水設備　撤去平面図　１
A-05	断面図	E-06	電気設備　撤去立面図	M-06	給排水設備　撤去平面図　２
A-06	矩計図　１				
A-07	矩計図　２				
A-08	矩計図　３				
A-09	点在物・従物平面図　１				
A-10	点在物・従物平面図　２				
A-11	天井伏図				
A-12	屋根伏図				
A-13	建具キープラン				
A-14	建具表　１				
A-15	建具表　２				
A-16	基礎伏図				
A-17	基礎リスト				
A-18	床組・柱伏図				
A-19	梁伏図				
A-20	小屋伏図				
A-21	外構解体平面図				
A-22	樹木伐採平面図				
A-23	物置棟解体図				
A-24	外部仮設計画図				
A-25	内部仮設計画図				
A-26	跡地整備平面図				



付 近 見 取 図

住所：帯広市大空町１０丁目７番地



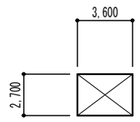


現 況 配 置 図

記号	計算式	(㎡)
Ⓐ	32.100× 3.600	115.560
Ⓑ	5.400× 7.200	38.880
Ⓒ	9.000×14.400	129.600
Ⓓ	24.300× 7.200	174.960
Ⓔ	4.500× 5.400	24.300
Ⓕ	1.350× 5.400	7.290
Ⓖ	1.350× 5.400	7.290
㊀	5.400× 1.800	9.720
㊁	28.800× 1.800	51.840

		合計 (㎡)
敷地面積	旧設計図書より	2,442.450
延床面積	Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ＋Ⓓ＋Ⓔ＋Ⓕ＋Ⓖ	497.880
建築面積	延床面積 ＋㊀＋㊁	559.440

求 積 図 ・ 面 積 表



2,700× 3,600 = 9.720㎡

物置棟　建築面積・床面積　9.720㎡

特 記 事 項

株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	見取・配置図 求積図・面積表	縮尺	A1：1/200 A3：1/400	日付	2023 年 11月	番号	A — 01		

解 体 工 事 概 要

建　物　名　称	旧大空児童保育センター
敷　地　住　所	帯広市大空町１０丁目７番地
施　設　用　途	保育所
建　設　年　度	１９７３年（昭和４８年）完成　　（昭和４７年１１月２４日～昭和４８年３月３１日）
敷　地　面　積	２，４４２．４５㎡
解　体　項　目	本棟・付属物置棟の解体撤去　外構構築物の解体撤去　樹木の伐採・伐根
解体建物主体構造	本棟　497.88㎡(テラス部含まず)　付属物置棟　9.72㎡　共に木造（在来軸組工法）　平屋建
建物解体後の処理	基礎解体後の窪地は、搬入土にて整地の事。
解体後の敷地囲い	単管柵により閉鎖処理

外 部 仕 上 表

名　称	既 存 仕 上	備　考
屋　根	ァ0.35mm長尺カラー鉄板　蟻掛葺き　アスファルトルーフィング　22k　ァ12mm 野地板	屋根勾配　2/10
煙　突	煙突用素焼きブロック枠使用鉄筋コンクリート造(450×450)　外部見え掛部　ァ18mmモルタル仕上　ＡＥＰ	陣笠　ァ1.6mm銅板　500口　雪割小屋根
軒　天　井	ァ6mm不燃サイディングボード(スレート板一部有孔板)　【石綿含有建材】	
妻　面　斜　壁	大遊戯室面　0.35mm長尺カラー鉄板　蟻掛葺き　両妻面　ァ4.5mmコロニアル葺き(スレート板)【石綿含有建材】　下地アスファルトルーフィング22k　ァ12mm下地板	
斜　壁　軒　天	ァ10mm木羽目板張	
外　壁	ァ6mm窯業系不燃サィディング　タテ張　一部　ァ７mm木系サイディングボード張　下地アスファルトフエルト17ｋ　風除前室周り　ァ0.35mm角波カラー鉄板直張り	
基　礎	ァ18mmモルタル仕上(GL-100まで)　無筋コンクリート布基礎	
テ　ラ　ス	ァ18mmモルタルコテ仕上　鉄筋コンクリート下地	
ポ　ー　チ	ァ18mmモルタルコテ仕上　鉄筋コンクリート下地	

内 部 仕 上 表

名　称	床	下　地	巾　木	壁	下　地	天　井	下　地	天井高さ	備　考
風　除　前　室	ァ18mmモルタルコテ仕上	土間コンクリート	――	トタン裏面現し	――	ァ4mm合板　EP　木化粧格子	木天井下地	2，780	
風　除　物　置	〃	〃	――	外装用サイディング現し	木胴縁組・軸組	〃	〃	2，780	撤去・解体物は、点在物・従物平面参照
風　除　室	〃	〃	――	ァ7mm石膏ボード　EP	〃	ァ7mm石膏ボード　EP	〃	2，780	〃
玄　関	〃	〃	木90×21　OP	〃	〃	ァ9mm化粧石膏吸音板	〃	2，780	〃
ホ　ー　ル	ァ13mm木質フロアー合板	根太・木床組	〃	〃	〃	〃	〃	2，700	〃
事　務　室	〃	〃	〃	上　ァ7mm石膏ボード　EP 腰　ァ5mm木質系サイディング	〃	〃	〃	2，700	〃
休　憩　室	タタミ	ァ12mm木床板　根太・木床組	畳寄せ60×15	ァ7mm石膏ボード	〃	〃	〃	2，600	〃
小　遊　戯　室	ァ13mm木質フロアー合板 一部フロアー上カーペット敷込	根太・木床組	木90×21　OP	上　ァ7mm石膏ボード　EP 腰　ァ5mm木質系サイディング	〃	〃	〃	2，700	〃
便　所　B	ァ1.8mmCFシート	ァ12mm合板　根太・木床組	木90×21　OP	ァ2.8mm化粧スレート板	ァ2.7mm合板下地　木胴縁組・軸組	ァ7mm化粧石膏ボード	〃	2，700	〃
水　呑　B	〃	〃	〃	〃	〃　〃	ァ9mm化粧石膏吸音板	〃	2，700	〃
物　入　B	ァ5.5mm合板	根太・木床組	雑巾摺21×15	ァ7mm石膏ボード	〃	ァ7mm石膏ボード	〃	2，700	〃
大　遊　戯　室	ァ13mm木質フロアー合板 一部フロアー上　タイルカーペット敷込	〃	木90×21　OP	上　ァ7mm石膏ボード　EP 腰　ァ5mm木質系サイディング	〃	ァ7mm化粧石膏ボード	〃	3，400	〃
物　置	ァ12mm合板	〃	木90×18　OP	ァ7mm石膏ボード	〃	ァ7mm石膏ボード	〃	2，400	〃
窓　下　物　置	ァ13mm木質フロアー合板	〃	木90×21　OP	ァ7mm石膏ボード　EP	〃	ァ7mm石膏ボード　EP	〃	790	〃
廊　下	ァ13mm木質フロアー合板	〃	木90×21　OP	ァ7mm化粧石膏ボード	〃	ァ9mm化粧石膏吸音板	〃	2，500	撤去・解体物は、点在物・従物平面参照 集合煙突　煙突差し込みロスレート管は、【岩綿含有建材】
手　洗　い　場	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2，400	撤去・解体物は、点在物・従物平面参照
便　所　A	ァ18mmカラーモルタルコテ仕上	土間コンクリート	〃	ァ5.5mm合板　OP	〃	〃	〃	2，500	〃
水　呑　A	〃	〃	〃	ァ7mm化粧石膏ボード	〃	ァ7mm石膏ボード　EP		1，800	〃
物　入　A	ァ13mm木質フロアー合板	根太・木床組	〃	ァ5.5mm合板	〃	ァ9mm化粧石膏吸音板		2，400	〃　【床板脱落状態】
保　育　室	ァ5mmタイルカーペット敷込み	ァ13mm木質フロアー合板・根太・木床組	〃	上　ァ7mm石膏ボード　EP 腰　ァ5mm木質系サイディング	〃	〃	〃	2，700	〃
集会所（共通）	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2，700	〃
押入（共通）	ァ5.5mm合板	根太・木床組	雑巾摺21×15	ァ7mm石膏ボード	〃	ァ7mm石膏ボード	〃	2，700	〃
厨　房	木質フロアー合板　ァ13mm	〃	木90×21　OP	石膏ボード　ァ9mm　EP	〃	ァ7mm石膏ボード　EP	〃	2，700	〃
厨房物置	〃	〃	〃	〃	〃	ァ9mm化粧石膏吸音板	〃	2，700	〃

アスベスト含有ストーブ・給湯機台数
ストーブ：11台、給湯機：4台

特 記 事 項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）(0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図
図名	工事概要・既存仕上表	縮尺	A1：N/S A3：N/S	日付	2023 年　11月	番号	A ― 02	

現　況　平　面　図

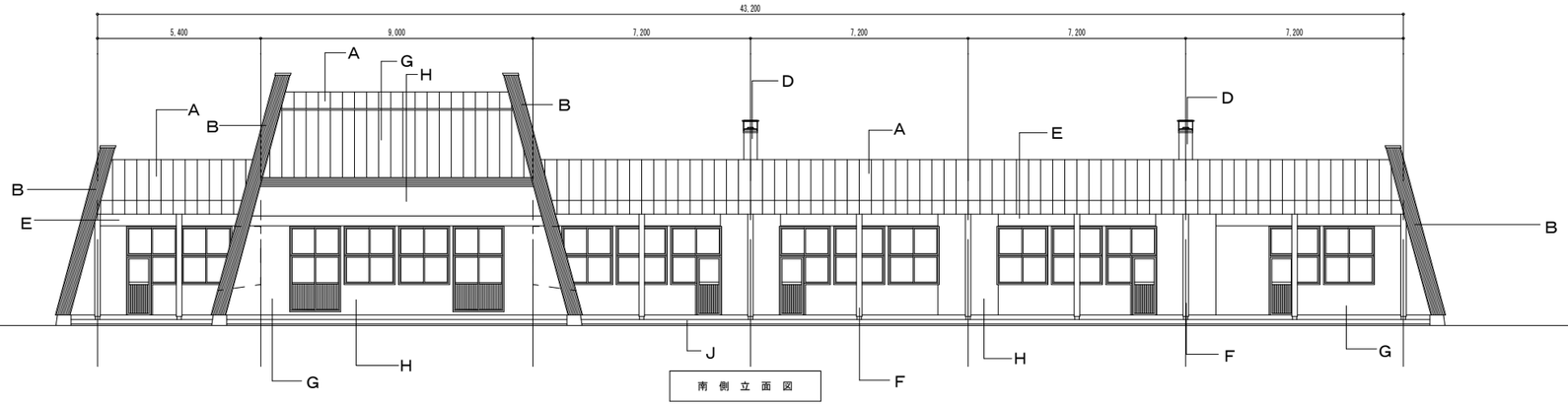
特　記　事　項

主要出入口

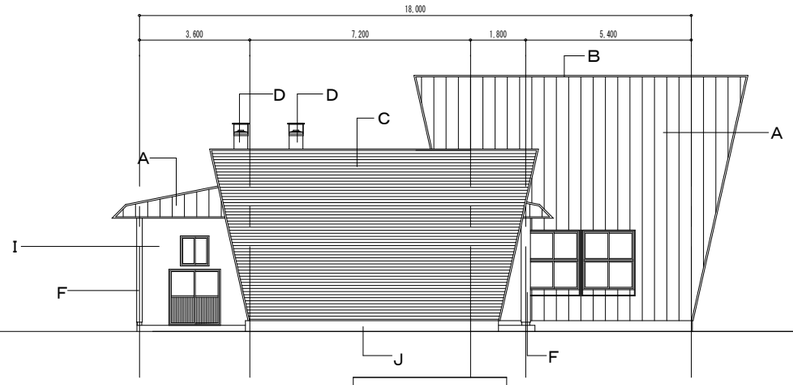
補助出入口

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

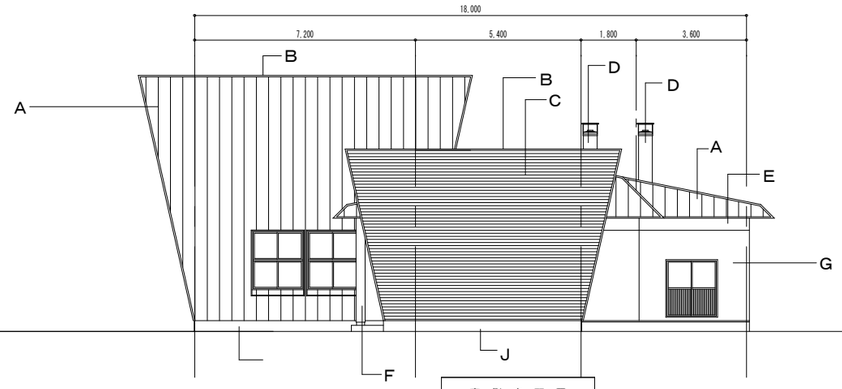
工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当		製図	
図名	平面図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A — 03				



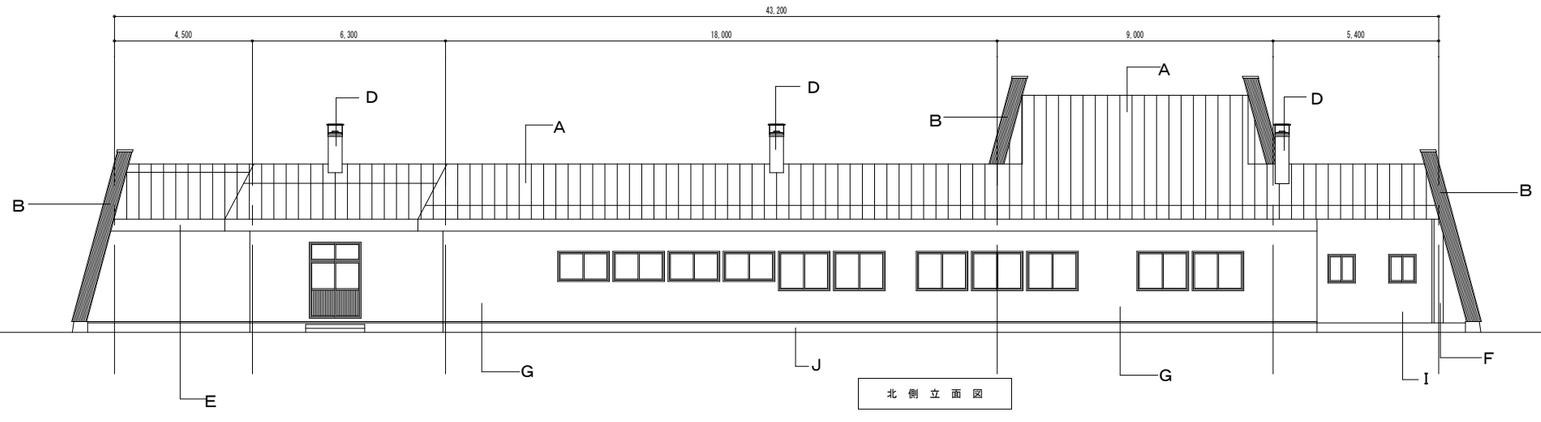
南 側 立 面 図



西 側 立 面 図



東 側 立 面 図



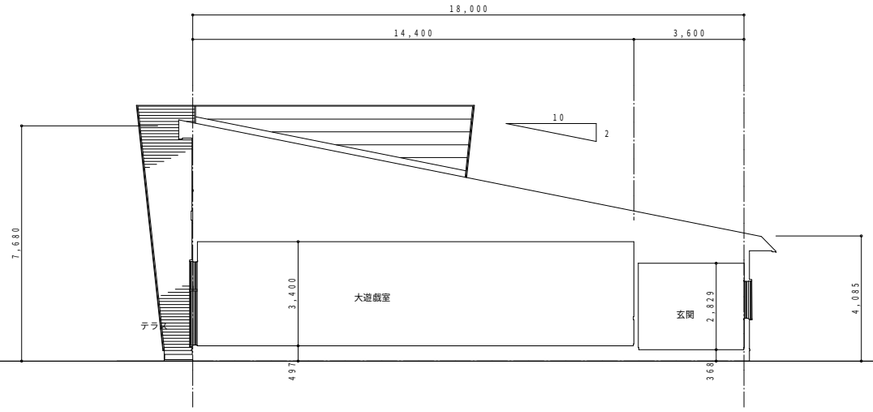
北 側 立 面 図

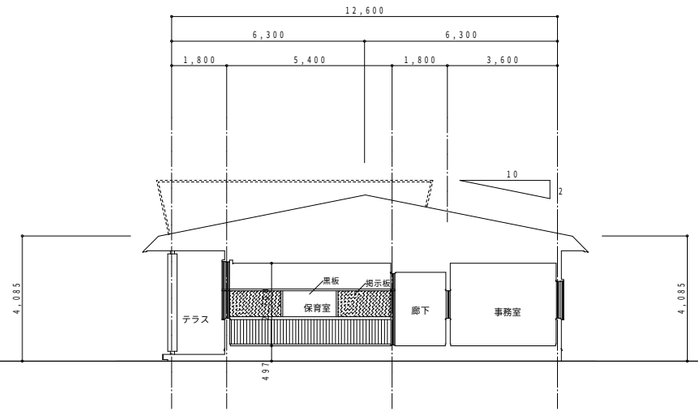
記 号	仕 上	記 号	仕 上
A	屋根・側面斜め壁　ァ0.35㎜長尺カラー鉄板葺き	G	外壁　ァ6.0㎜窯業系不燃サイディングボード
B	斜め壁化粧破風板　ァ30㎜木現し　上部笠木ァ0.35㎜カラー鉄板包み	H	外壁　ァ7.0㎜木系サイディングボード
C	側面斜め壁　ァ4.5㎜コロニアル葺き【岩綿含有建材】	I	外壁　ァ0.35㎜角波カラー鉄板張
D	集合煙突　煙突用素焼きブロック枠使用鉄筋コンクリート造　モルタル仕上げ　陣笠　ァ1.6㎜鋼板鋼板	J	モルタルコテ仕上
E	化粧幕板　木３００×３０	K	
F	化粧柱　主柱下地　木24×300×3,200　両面張付け仕上	L	

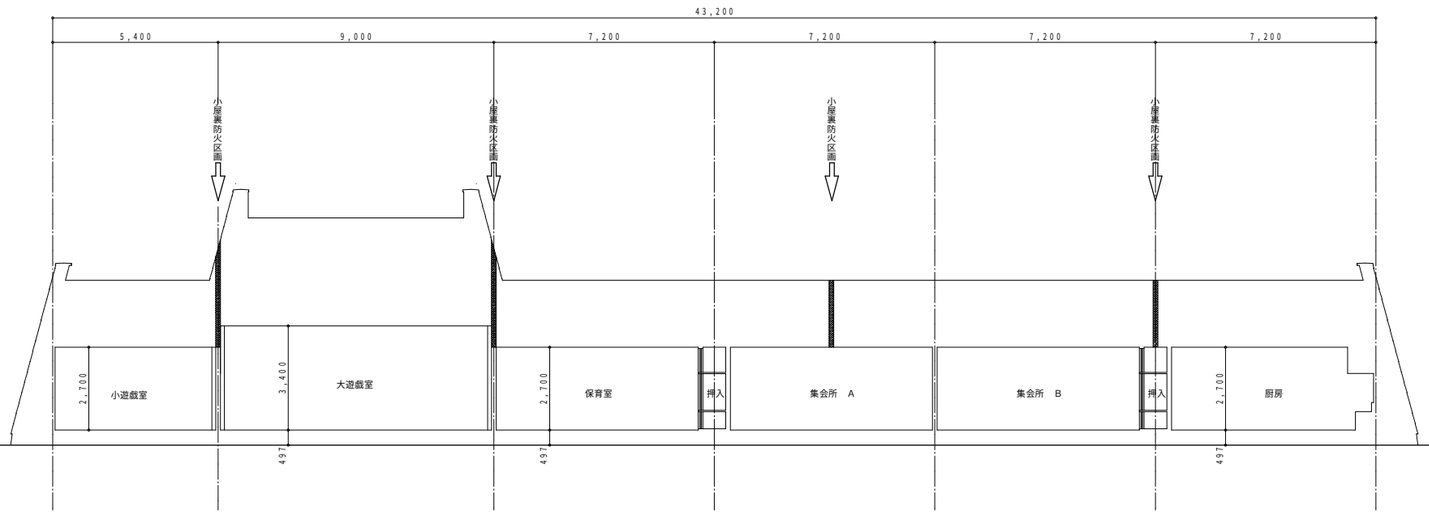
特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）(0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当		製図	
図名	立面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200	日付	2023 年　11月	番号	A	—	04

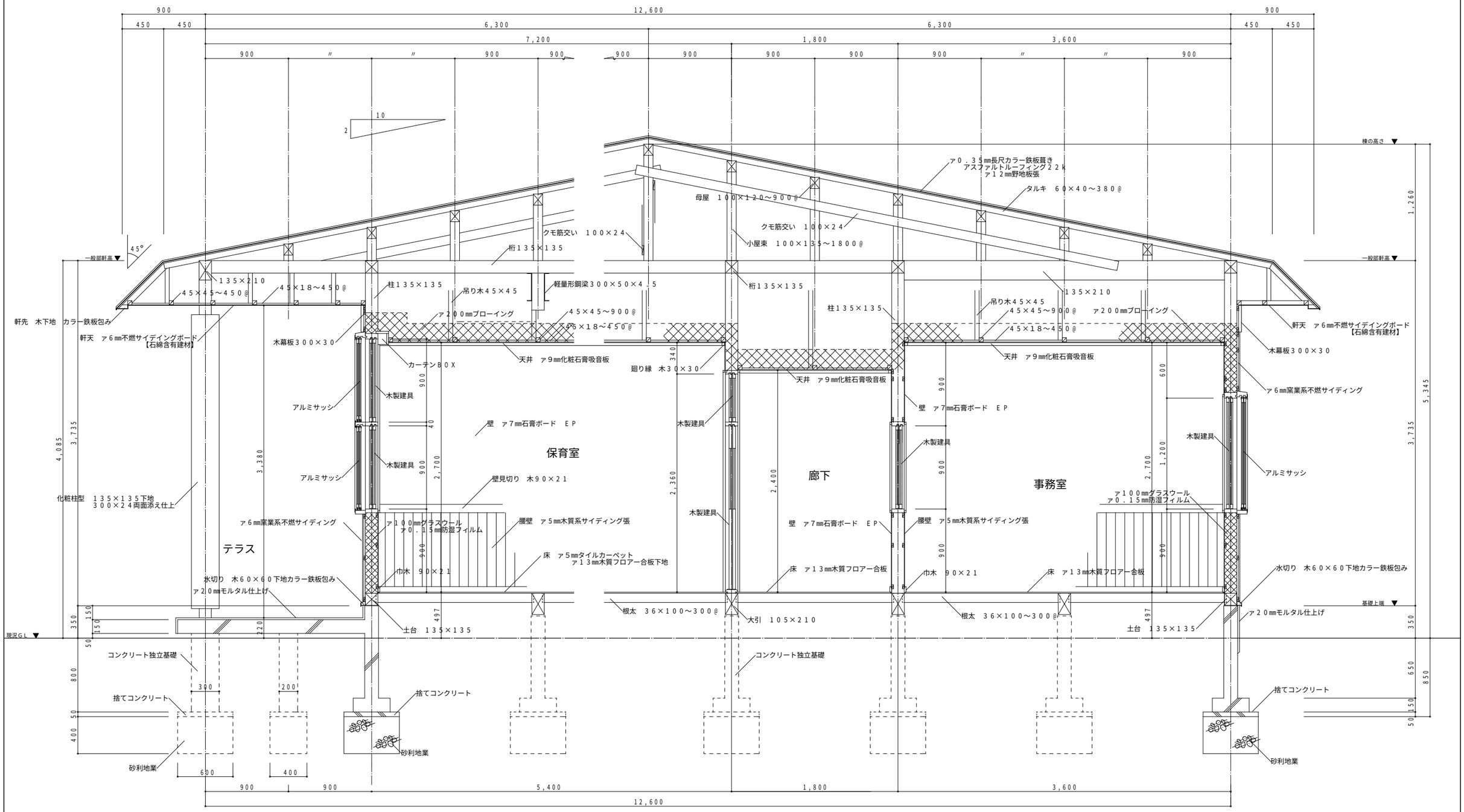






特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE 株式会社 モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (0155) −22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図	
一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	断面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200	日付	2023 年　11月	番号	A	—	05	



特　記　事　項

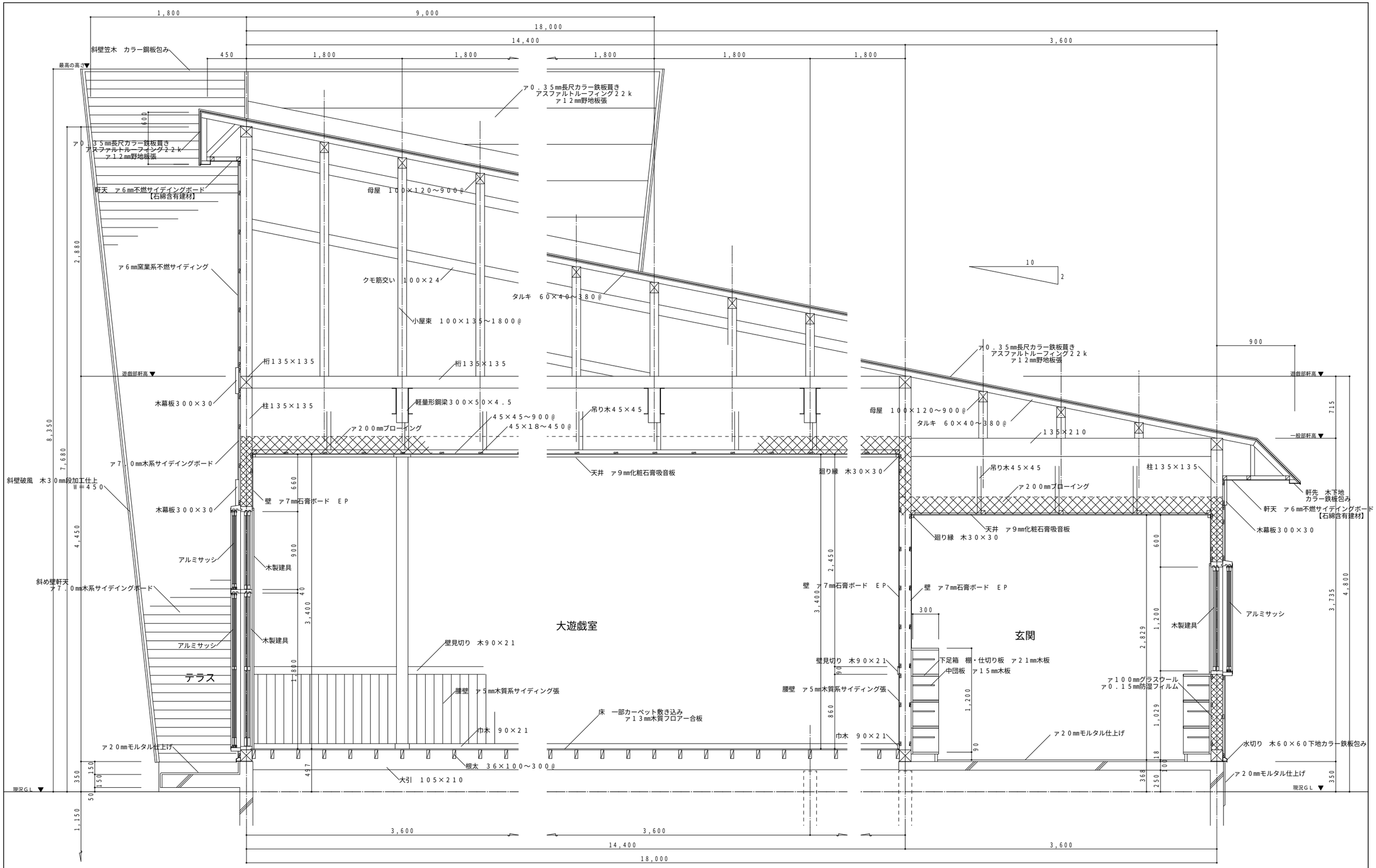
外壁面断熱材は、ア１００㎜グラスウール２４ｋ相当品　＋　室内面ア０．１５㎜防湿フィルム張

天井面断熱材は、ア２００㎜グラスファイバーブローイング１８ｋ相当品　＋　下面ア０．１５㎜防湿フィルム張

床面断熱材は、断熱材・防湿フィルム共無し

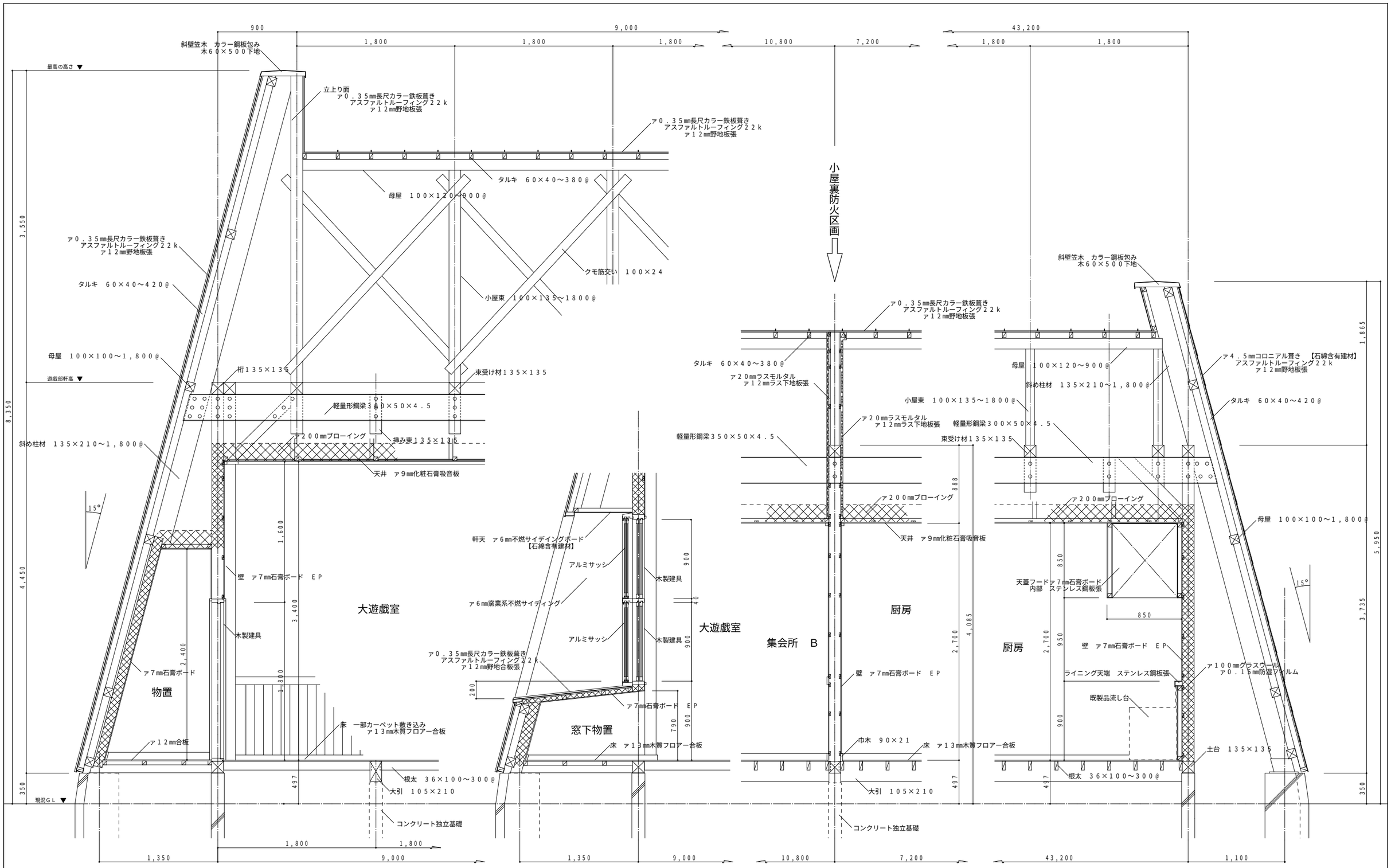
Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)−22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	矩計図　1	縮尺	A1：1/20 A3：1/40	日付	2023 年　11月	番号	A	—	06



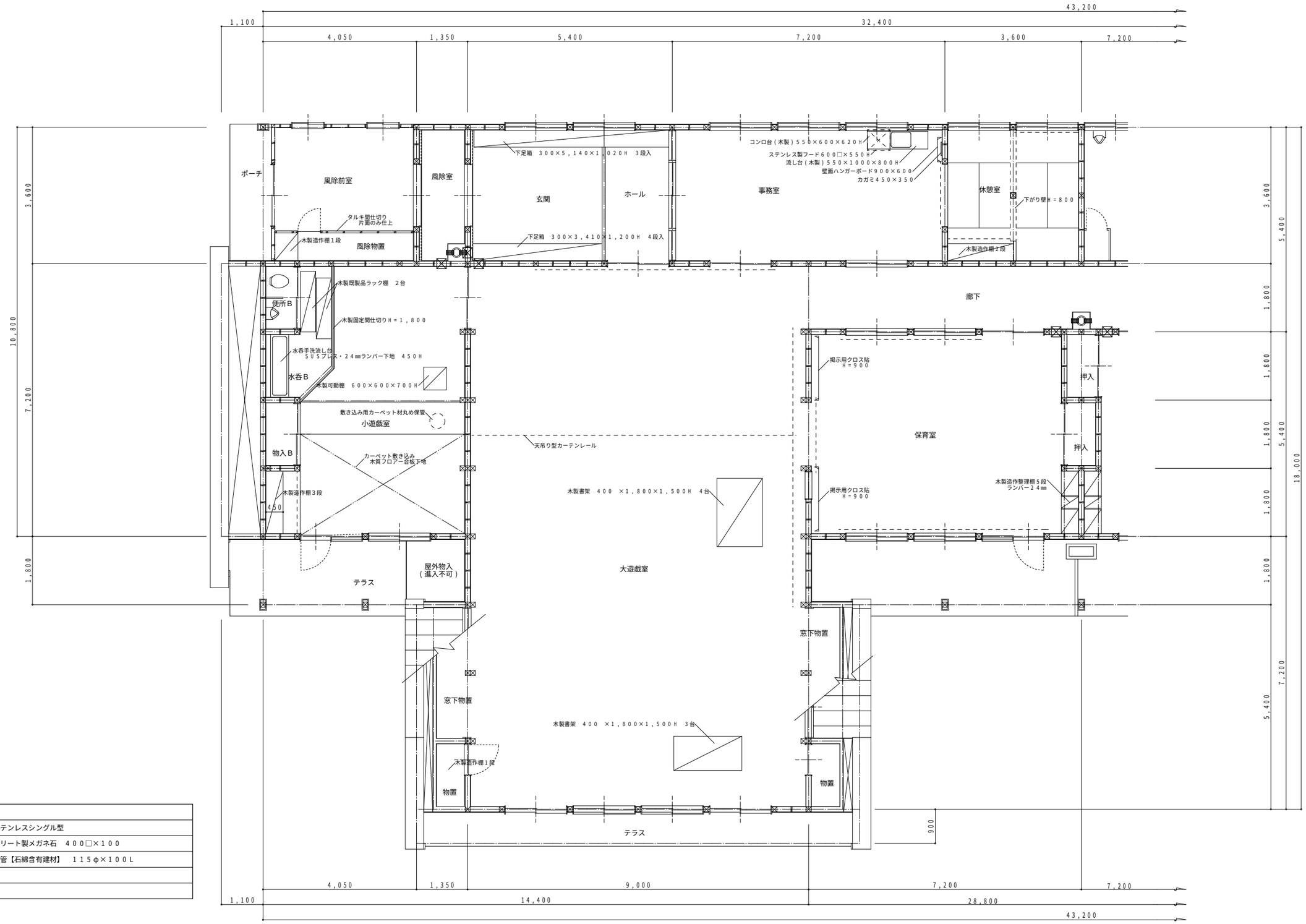
特　記　事　項

株式会社 モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (0155)−22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図
一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	矩計図　２	縮尺	A1：1/20 A3：1/40	日付	2023 年　11月	番号	A — 07	



特　記　事　項

Mori ARCHITECT OFFICE	株式会社 モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (0155) −22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図		検図		担当	製図
	一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	矩計図　３	縮尺 A1：1/20 A3：1/40	日付	2023 年　11月	番号	A — 08



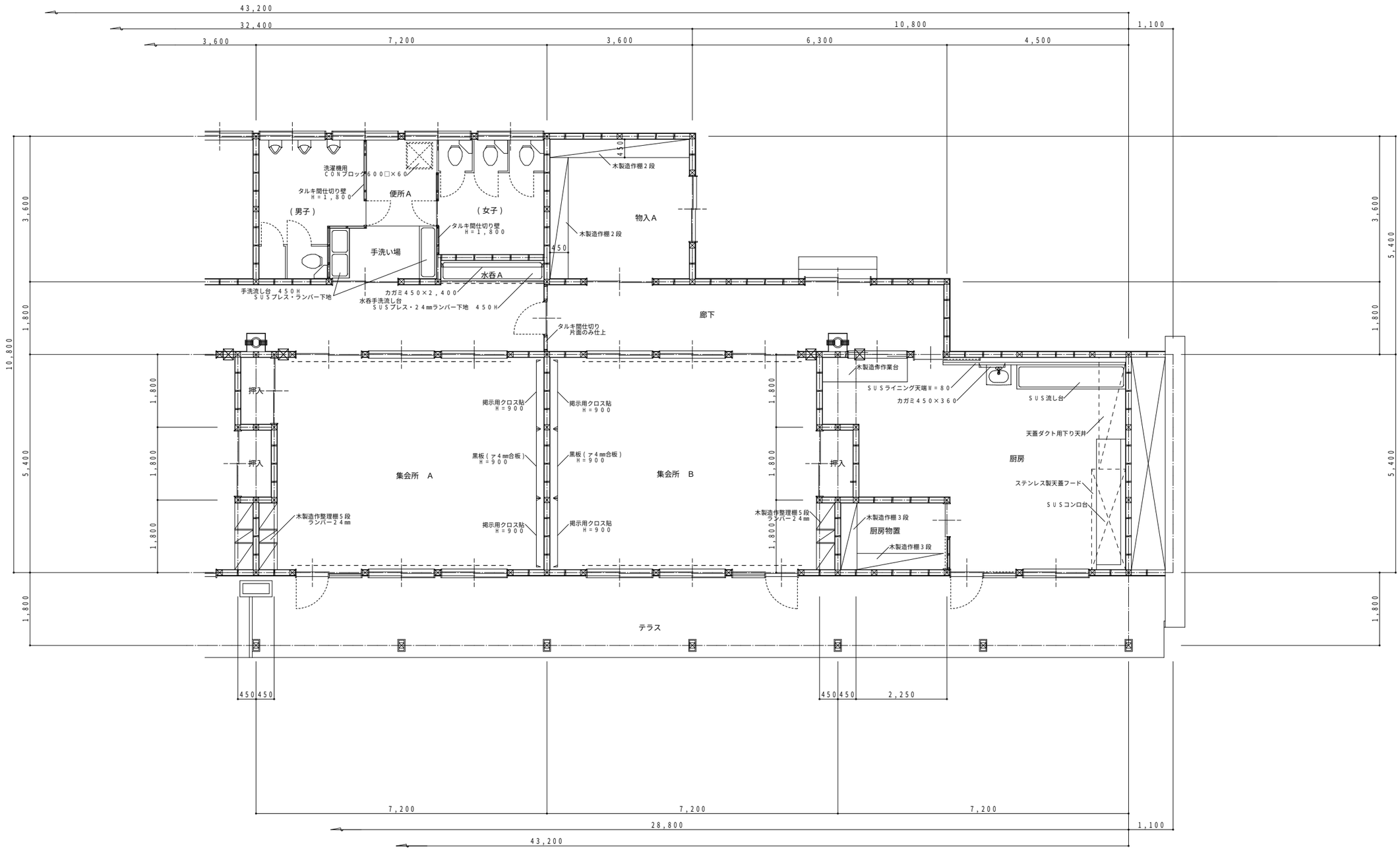
凡　例

表示記号	品名・仕様
------	カーテンレール　ステンレスシングル型
☒	壁面嵌込み　コンクリート製メガネ石　４００□×１００
▬	煙突取合いスレート管【石綿含有建材】　１１５φ×１００Ｌ

特　記　事　項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL ㈹ (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当	製図
図名	点在物・従物平面図　1	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	A — 09		



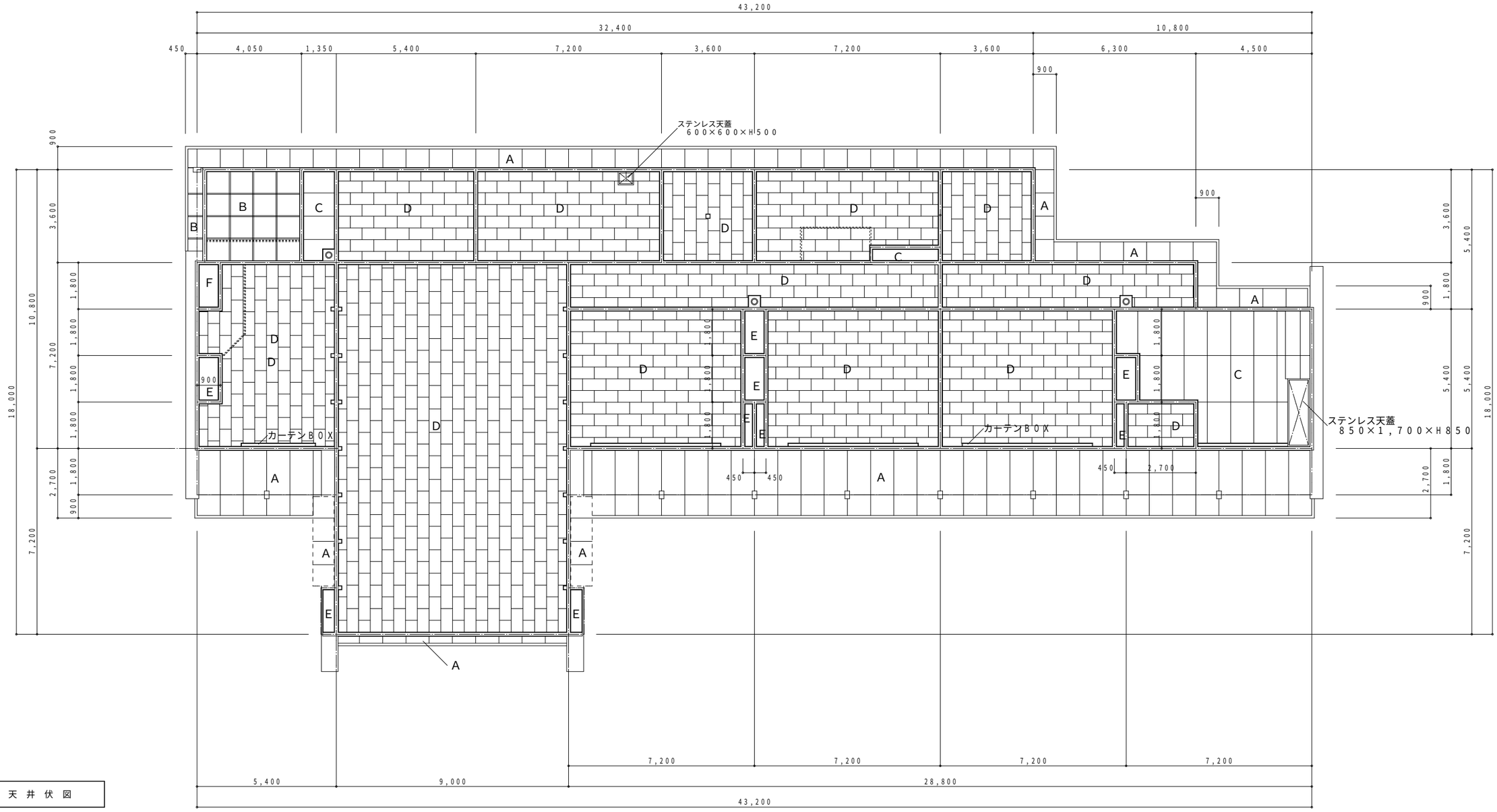
凡　例

表示記号	品名・仕様
ー－－－－	カーテンレール　ステンレスシングル型
⊠	壁面嵌込み　コンクリート製メガネ石　４００□×１００
▬	煙突取合いスレート管【石綿含有建材】　１１５φ×１００Ｌ

特記事項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当		製図	
図名	点在物・従物平面図　2	縮尺	A1：1/80 A3：1/50	日付	2023 年　11月	番号	A — 10				



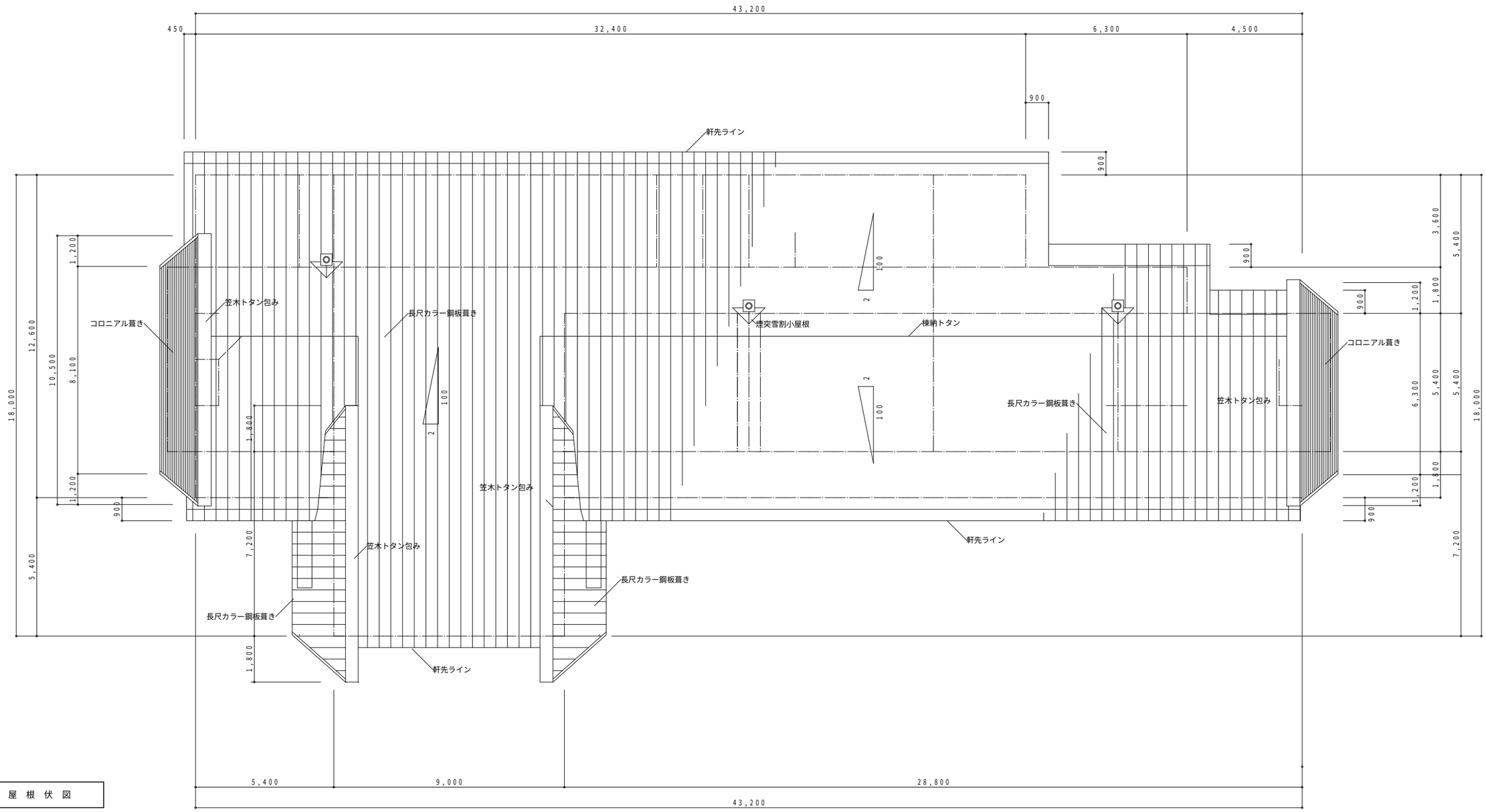
天 井 伏 図

記 号	仕 上	備 考
A	ア６㎜不燃サイディングボード（スレート板一部有孔板）	【石綿含有建材】
B	ア４㎜合板　ＥＰ　木化粧格子組	
C	ア７㎜石膏ボード　ＥＰ	
D	ア９㎜化粧石膏吸音板	
E	ア７㎜石膏ボード	
F	ア７㎜化粧石膏ボード	

特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)－22－1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

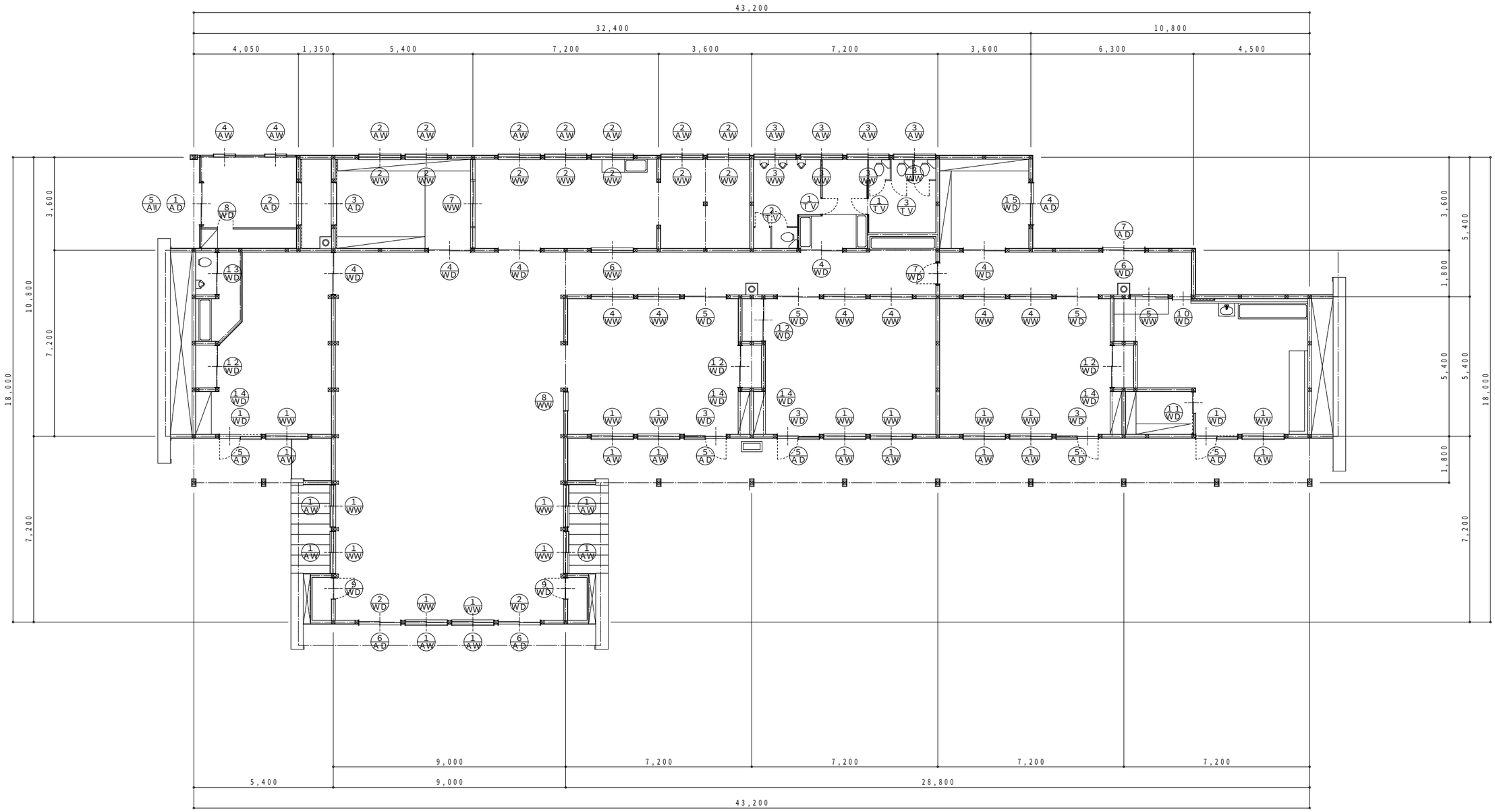
工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	天井伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A	—	11



屋 根 伏 図

特 記 事 項

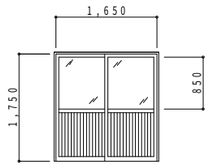
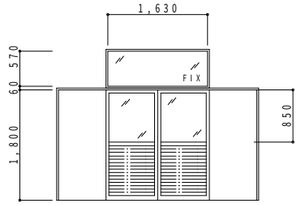
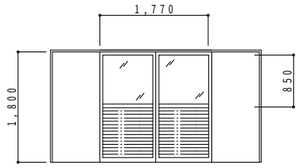
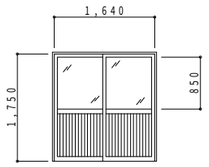
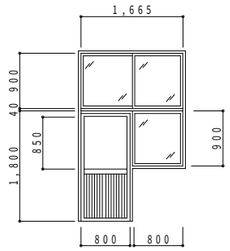
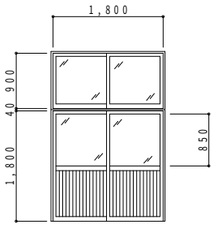
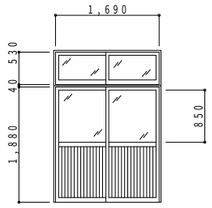
Mori ARCHITECT OFFICE 株式会社モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (0155) −22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図	
一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	屋根伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A	—	12	

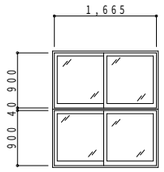
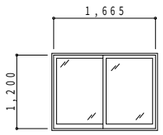
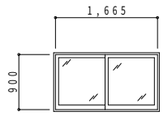
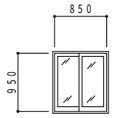
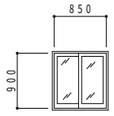


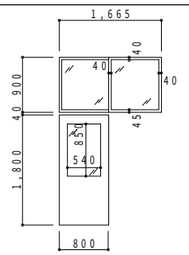
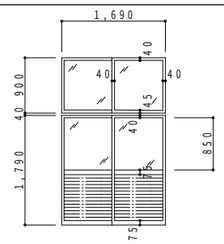
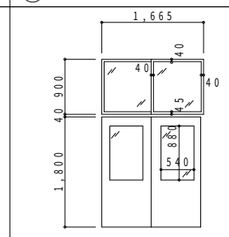
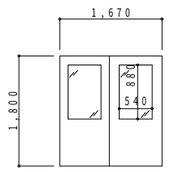
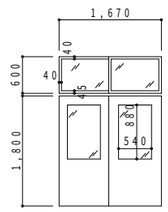
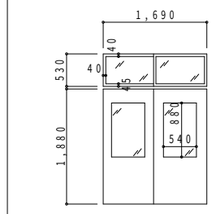
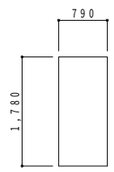
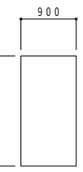
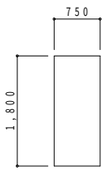
建 具 キ ー プ ラ ン

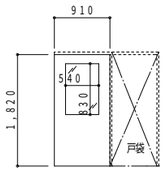
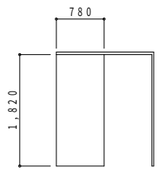
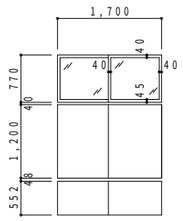
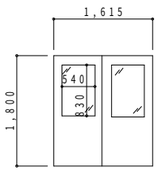
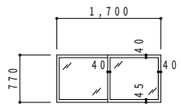
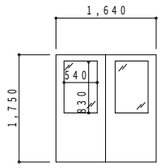
特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE	株式会社モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (0155)−22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図
一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝		図名	建具キープラン	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A — 13

符号	① AD 風除前室 1ヶ所	② AD 風除室 1ヶ所	③ AD 風除室 1ヶ所	④ AD 物入 1ヶ所	⑤ AD 小遊戯室・保育室・他 5ヶ所	⑥ AD 大遊戯室 2ヶ所	⑦ AD 廊下 1ヶ所	
姿図								
型式	アルミ引違出入り口戸	アルミ引分出入り口戸　ランマFIX	アルミ引分出入り口戸	アルミ引違出入り口戸	アルミ片開き出入り口戸　ランマ引違サッシ	アルミ引違出入り口戸　ランマ引違サッシ	アルミ引違出入り口戸　ランマ引違サッシ	
材種見込	アルミ　60	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	
仕上	アルミシルバー	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	
ガラス	腰アルミパネル　上FL３　シーリング止め	腰３㎜アクリルパネル　上・ランマ　FL３ビートゴム止め	腰３㎜アクリルパネル　上　FL３ビートゴム止め	腰アルミパネル　上FL３　ビートゴム止め	腰３㎜アルミパネル　上・ランマ　FL３ビートゴム止め	仝　左	仝　左	
備考	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	住宅用外付け　改修取付	

符号	① AW 大遊戯室・保育室他 14ヶ所	② AW 事務室他 7ヶ所	③ AW 便所 4ヶ所	④ AW 風除室 2ヶ所	⑤ AW 風除室 1ヶ所
姿図					
型式	アルミ引違サッシ　ランマ引違サッシ	アルミ引違サッシ	アルミ引違サッシ	アルミ引違サッシ	アルミ引違サッシ
材種見込	アルミ　60	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左
仕上	アルミシルバー	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左
ガラス	ランマ共　FL３ビートゴム止め	FL３ビートゴム止め	仝　左	FL３シーリング止め	仝　左
備考	住宅用外付け　改修取付　　網戸	仝　左	仝　左	住宅用外付け　改修取付	仝　左

符号	① WD 小遊戯室・厨房 2ヶ所	② WD 大遊戯室 2ヶ所	③ WD 保育室・集会所 3ヶ所	④ WD 大遊戯室・廊下他 5ヶ所	⑤ WD 廊下 3ヶ所	⑥ WD 廊下 1ヶ所	⑦ WD 廊下 1ヶ所	⑧ WD 風除前室 1ヶ所	⑨ WD 大遊戯室 2ヶ所
姿図									
型式	木製片引き戸　ランマガラス引違窓	木製引違ガラス戸　ランマ引違ガラス窓	木製引違戸　ランマ引違ガラス窓	木製引違戸	木製引違戸　ランマ引違ガラス窓	木製引違戸　ランマ引違ガラス窓	木製片開き戸　ランマFIXガラス窓	木製片開き戸	仝　左
材種見込	戸合板フラッシュ30　　窓青木30	青木　30	戸合板フラッシュ30　　窓青木30	合板フラッシュ30	合板フラッシュ30　ランマ青木30	合板フラッシュ30　ランマ青木30	合板フラッシュ30	合板片面フラッシュ30	合板フラッシュ33
仕上	化粧合板　　ガラス窓OP	OP	化粧合板　　ガラス窓OP	仝　左	仝　左	仝　左	化粧合板	仝　左	仝　左
ガラス	戸・ランマ共　FL３	腰３㎜アクリルパネル　上・ランマ　FL３	戸・ランマ共　FL３	FL3	戸・ランマ共　FL３	仝　左	――――	――――	――――
備考									

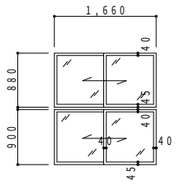
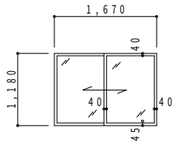
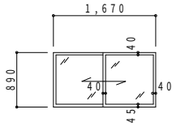
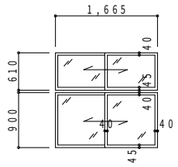
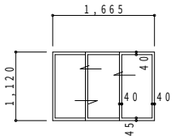
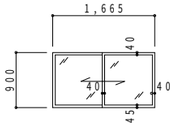
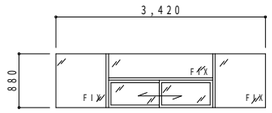
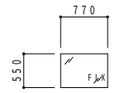
符号	⑩ WD 厨房 1ヶ所	⑪ WD 厨房物入 1ヶ所	⑫ WD 小遊戯室・保育室・他 4ヶ所	⑬ WD 小遊戯室 1ヶ所	⑭ WD 小遊戯室・他 4ヶ所	⑮ WD 物入 1ヶ所
姿図						
型式	木製片引戸(戸袋引き込み)	木製片引き戸	木製引違戸　地袋・ガラス戸天袋付き	木製片引き戸	木製引違ガラス戸	木製引違戸
材種見込	合板フラッシュ30	合板フラッシュ30	戸合板フラッシュ30　　窓青木30	合板フラッシュ30	青木　30	合板フラッシュ30
仕上	化粧合板	仝　左	OP	仝　左	OP	仝　左
ガラス	FL3	――――	F4	FL3	F4	FL3
備考						

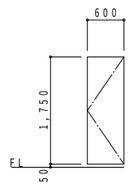
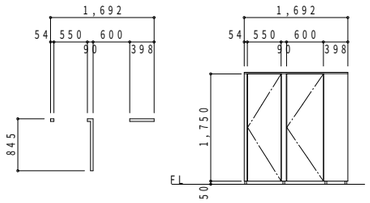
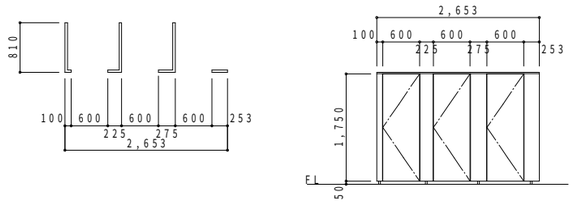
特記事項

ガラス取付工法　アルミ建具は、シーリング及びビートゴム止め　木製建具は、木押縁止めとなっている。

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL ㈹ (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	建具表１	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	A ― 14		

符　号	① WW 大遊戯室・保育室他　１４ヶ所	② WW 事務室他　７ヶ所	③ WW 便所　４ヶ所	④ WW 保育室　６ヶ所	⑤ WW 厨房　１ヶ所	⑥ WW 廊下　１ヶ所	⑦ WW ホール　１ヶ所	⑧ WW 大遊戯室　１ヶ所
姿　図								
型　式	木製引違ガラス窓　ランマ付	木製引違ガラス窓	木製引違ガラス窓	木製引違ガラス窓　ランマ付	木製３枚建引違ガラス窓　ランマ付	木製引違ガラス窓	木製引違ガラス窓　袖・ランマＦＩＸガラス	木製ＦＩＸガラス
材種見込	青木　30	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	――――
仕　上	OP	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左
ガ ラ ス	FL3　（４ヶ所F4）	F4	仝　左	FL3	仝　左	仝　左	仝　左	仝　左
備　考								

符　号	① TV 便所　２ヶ所	② TV 便所　１ヶ所	③ TV 便所　１ヶ所
姿　図			
型　式	木製フラッシュ戸(トイレブース)	木製フラッシュ戸(トイレブース)	木製フラッシュ戸(トイレブース)
材種見込	仝　左	仝　左	仝　左
仕　上	仝　左	仝　左	仝　左
ガ ラ ス	――――	――――	――――
備　考			

符　号	
姿　図	
型　式	
材種見込	
仕　上	
ガ ラ ス	
備　考	

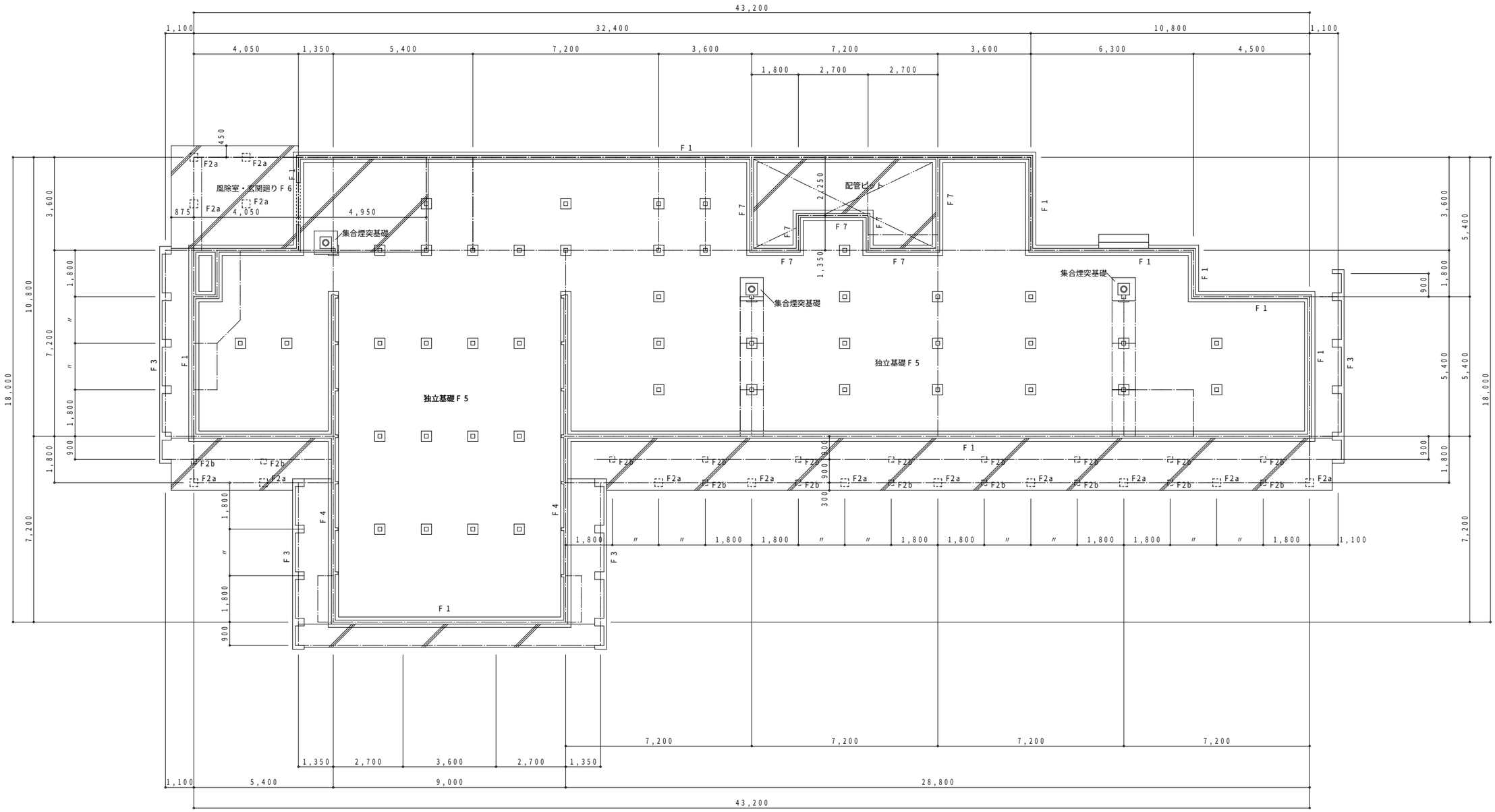
符　号	
姿　図	
型　式	
材種見込	
仕　上	
ガ ラ ス	
備　考	

特　記　事　項

ガラス取付工法　アルミ建具は、シーリング及びビートゴム止め　木製建具は、木押縁止めとなっている。

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)−22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

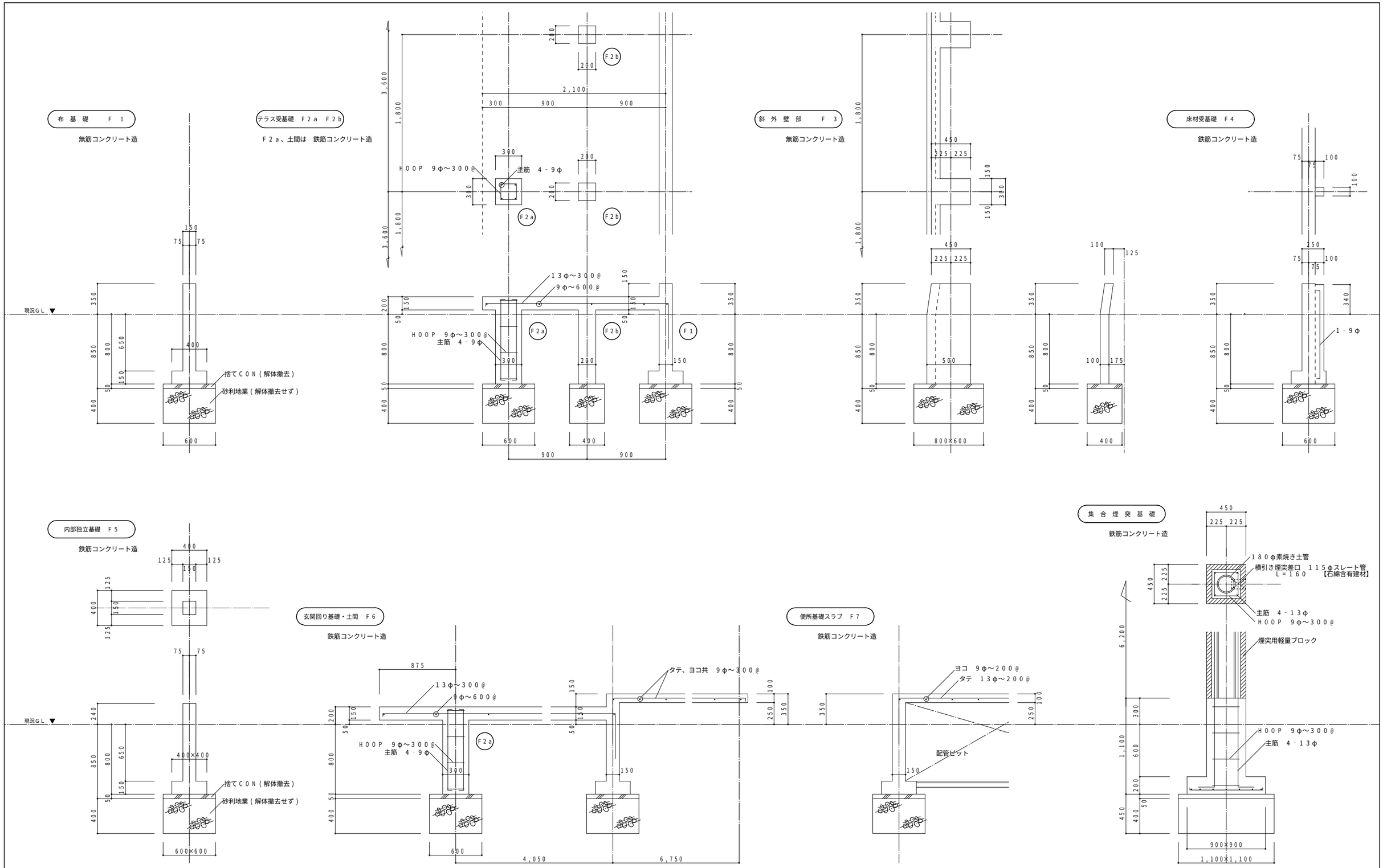
工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当		製図	
図名	建具表２	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	A ― 15				



基 礎 伏 図

特 記 事 項

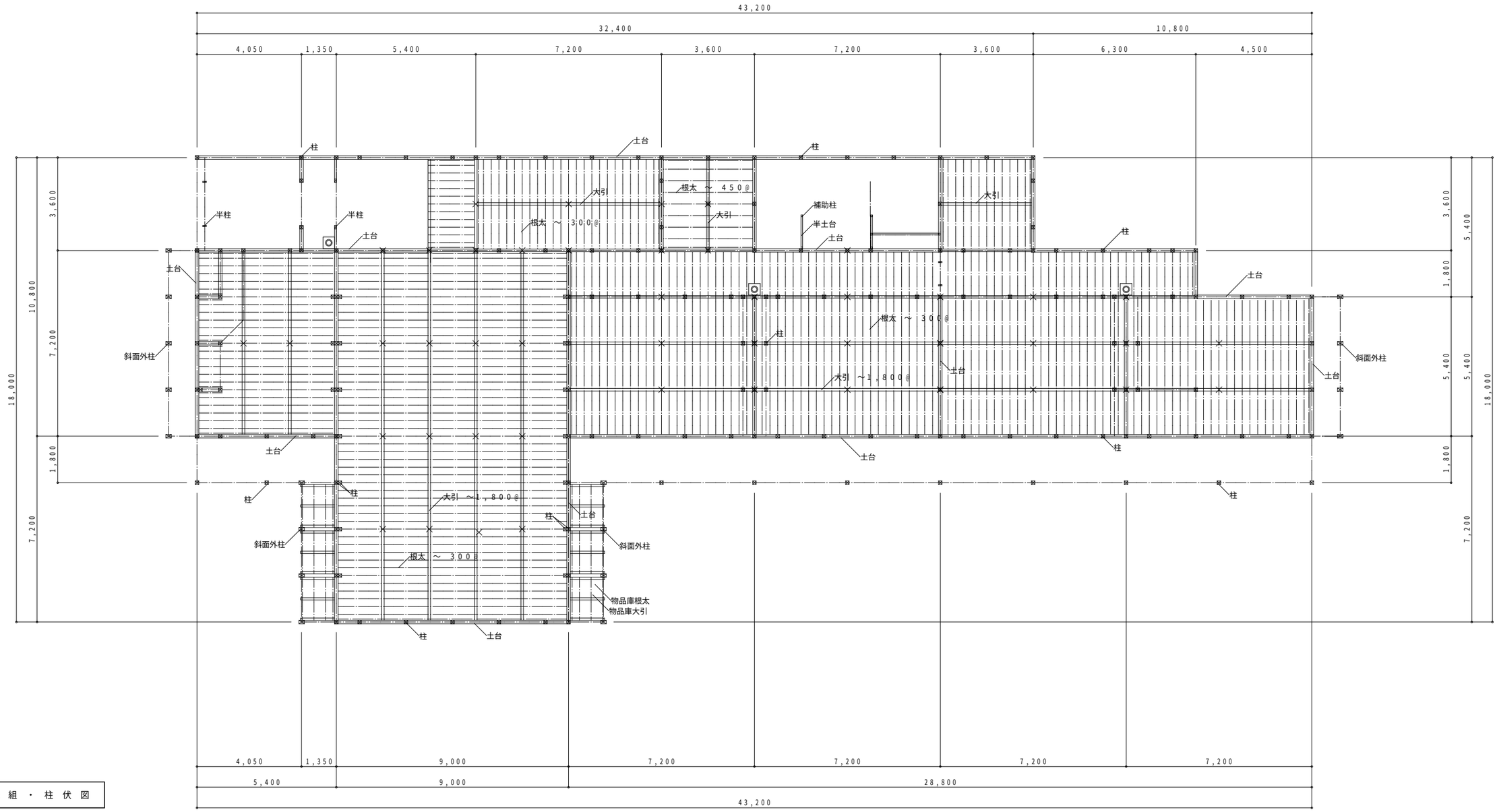
株式会社 モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL ㈹ (0155) −22−1102 一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図	
	図名	基礎伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A	—	16	



特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東40番地
TEL (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第136号
一級建築士第158671号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図
図名	基礎リスト	縮尺	A1：1/20 A3：1/40	日付	2023 年 11月	番号	A — 17		



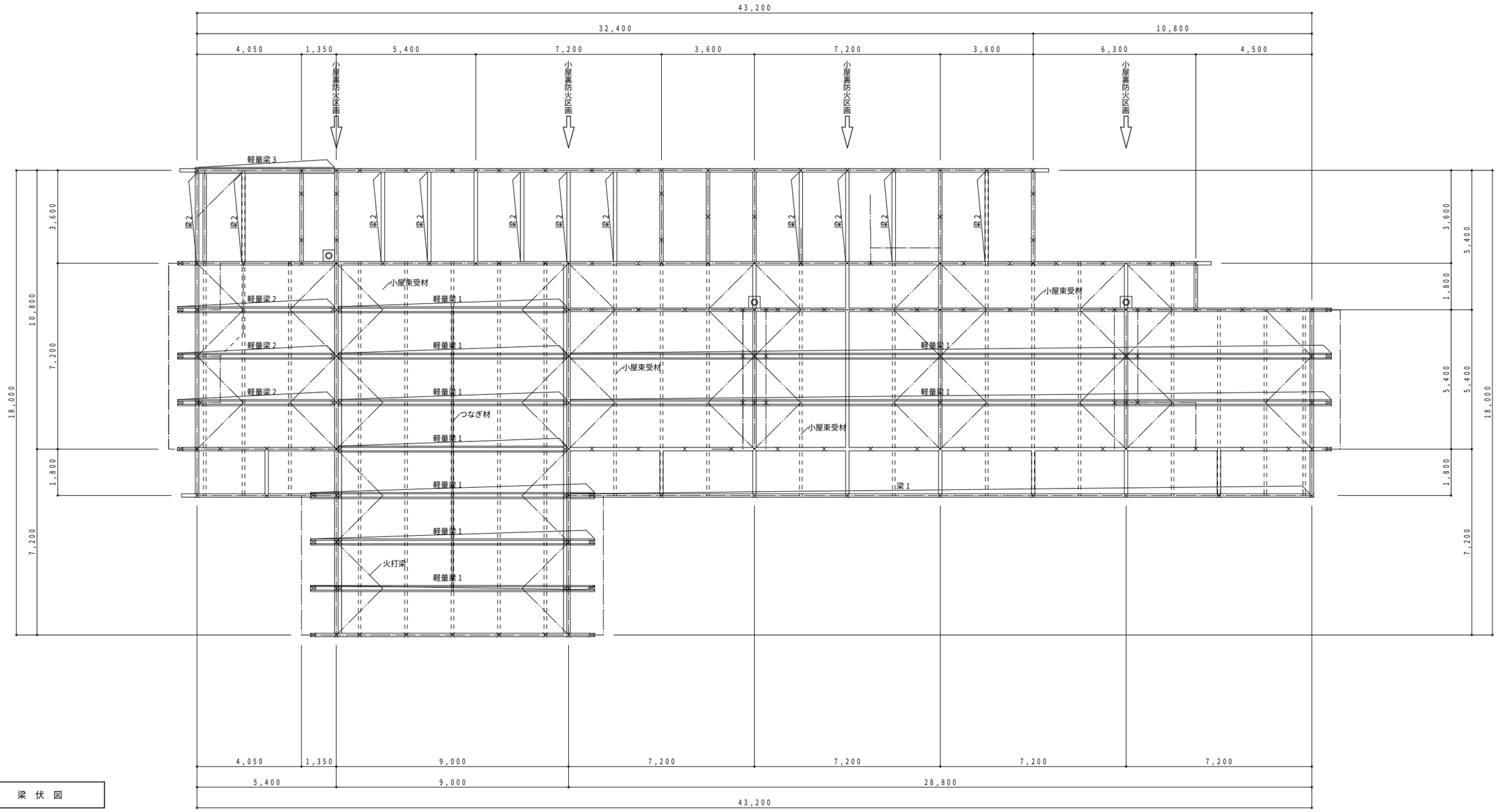
床 組 ・ 柱 伏 図

名 称	部 材 サ イ ズ	名 称	部 材 サ イ ズ
土台	135×135	斜面外柱	135×210
半土台	135×60	柱	135×135
大引	105×240	半柱	135×45
根太 (一般部)	36×100 ～ 300@	補助柱	60×60
根太 (畳下)	36×100 ～ 450@	間柱	135×30 ～ 450@
		外壁胴縁	45×18 ～ 450@
物品庫大引	90× 90 ～ 900@	内壁胴縁	45×18 ～ 450@
物品庫根太	45× 45 ～ 450@		

特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図					検図		担当	製図
図名	床組・柱伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年 11月	番号	A — 18		



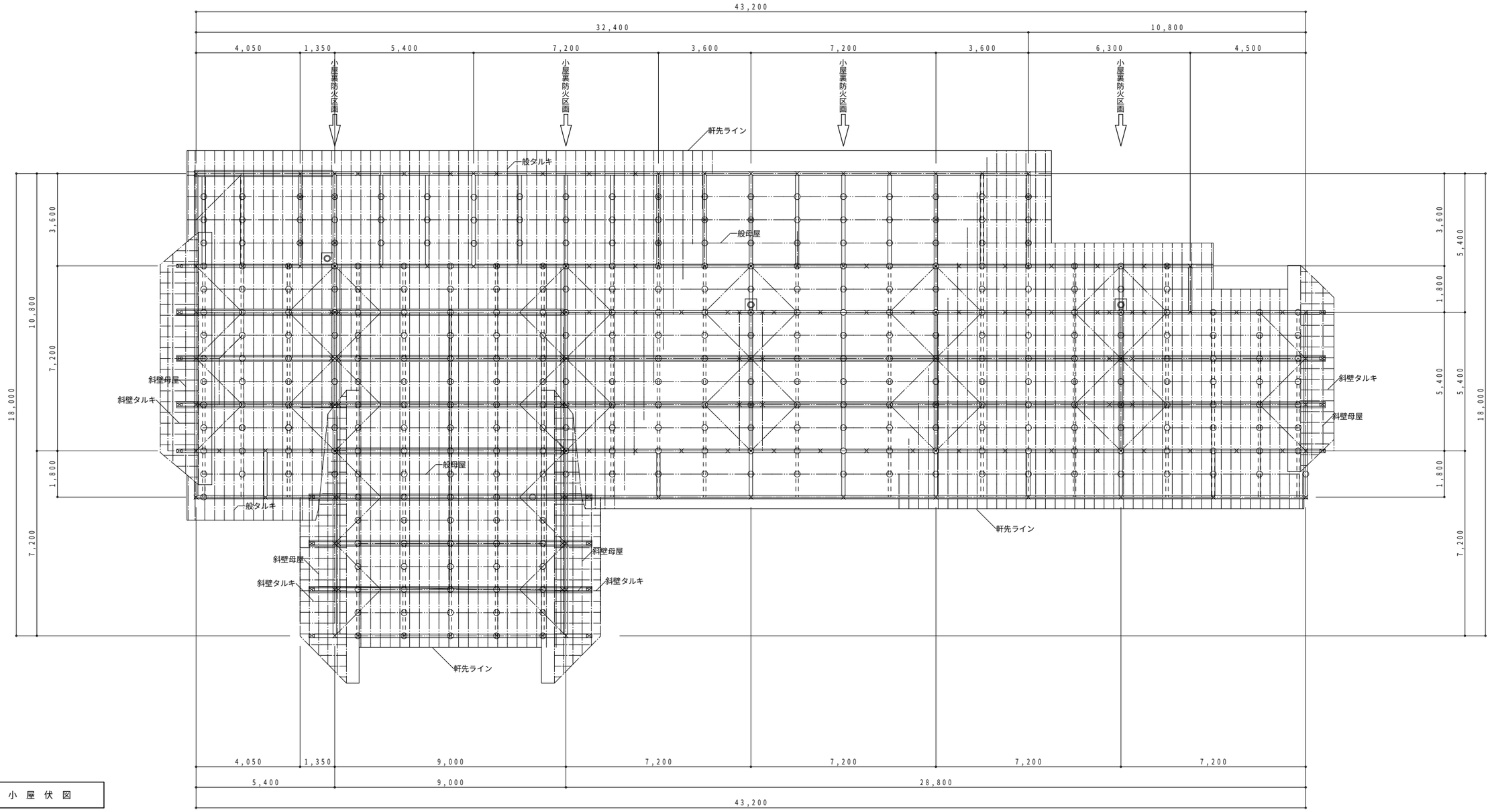
梁 伏 図

名 称	部 材 サ イ ズ	名 称	部 材 サ イ ズ
桁	１３５×１３５　　符号なき部材	火打梁	１３５×１００
軽量梁１	２－３００×５０×４．５	つなぎ材	２－１００×５０×３．２
軽量梁２	２－２５０×５０×４．０	小屋束受材	１３５×１３５～１，８００@
軽量梁３	２－２００×５０×３．２		
梁　１	１３５×２１０	×	柱位置
梁　２	１３５×２１０		

特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL ℡ (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図	
図名	梁伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A — 19



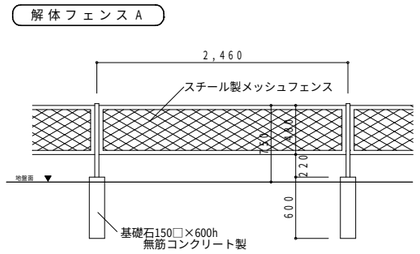
小 屋 伏 図

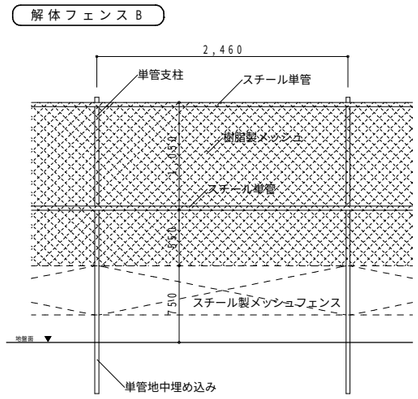
名 称	部 材 サ イ ズ	名 称	部 材 サ イ ズ
小屋束	１００×１３５～９００@	一般タルキ	６０×４０ ～ ３８０@
○	小屋束位置	斜壁タルキ	６０×４０ ～ ４２０@
クモ筋交い	１００×２４　４０ヶ所		
一般母屋	１００×１２０～９００@	外壁小屋部間柱	１３５×３０ ～ ４５０@
斜壁母屋	１００×１００～１，８００@	小屋裏区画間柱	１３５×３０ ～ ４５０@
		小屋裏区画胴縁	４５×１８ ～ ４５０@　両面

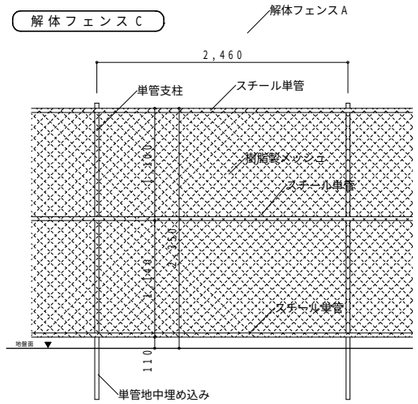
特 記 事 項

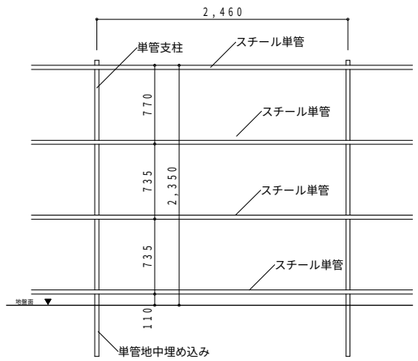
Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)−22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

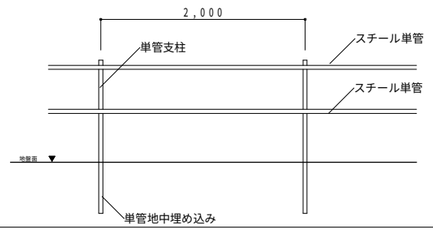
工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	小屋伏図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A	—	20

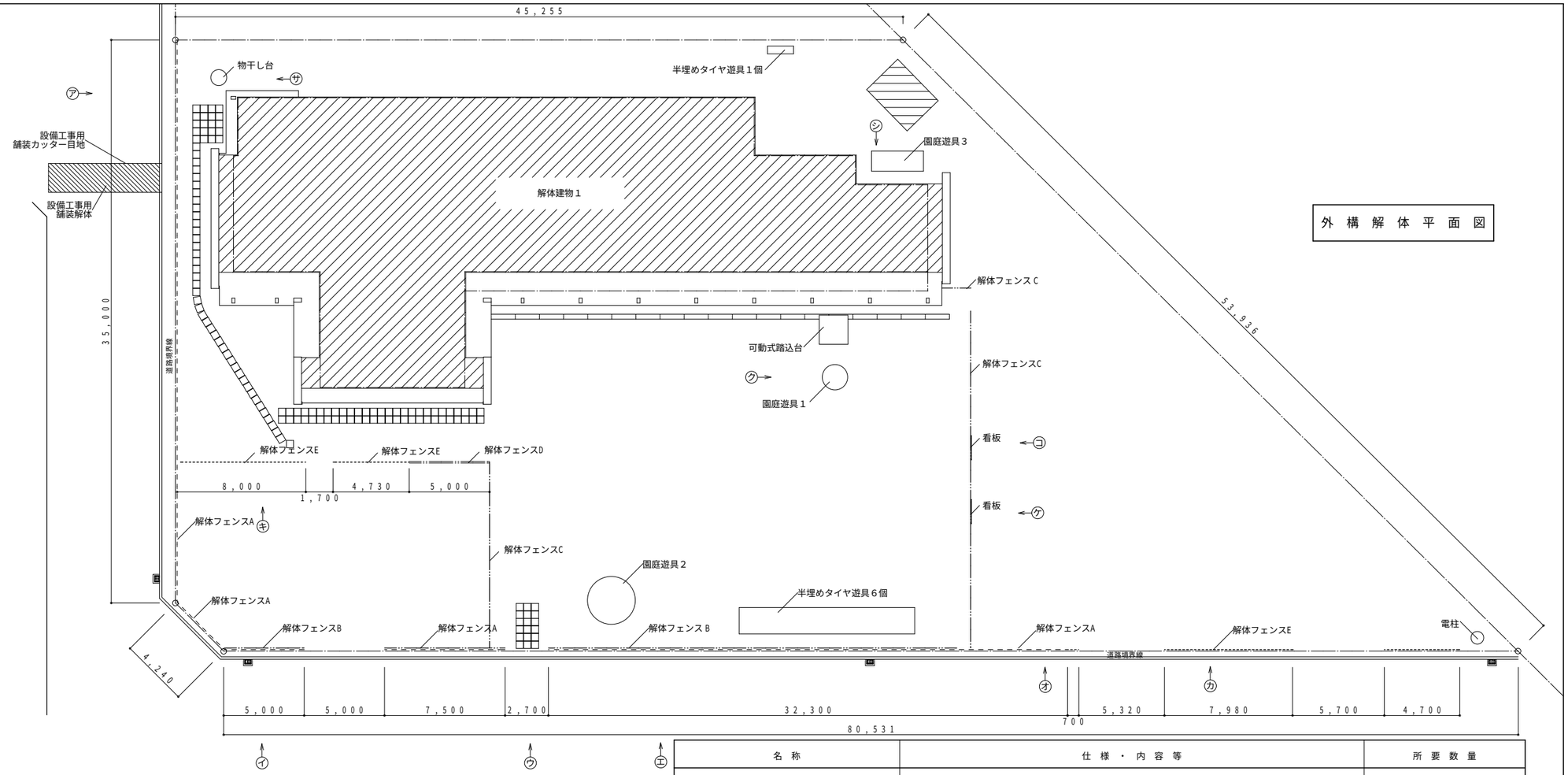












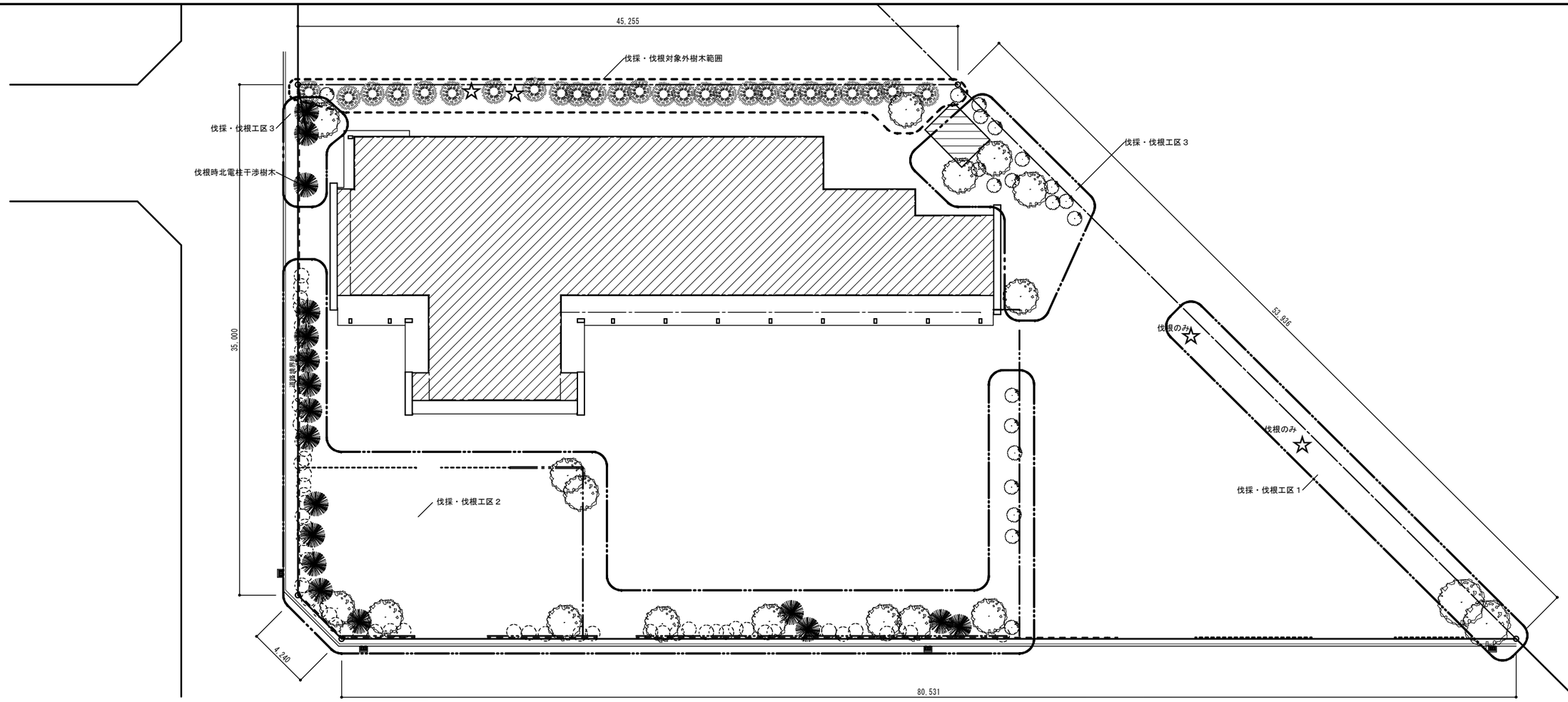
外構解体平面図

撤去物リスト

名称	仕様・内容等	所要数量
解体フェンスA	図示参照	83.800m
解体フェンスB	図示参照	37.800m
解体フェンスC	図示参照	22.700m
解体フェンスD	図示参照	5.000m
解体フェンスE	図示参照	26.100m
平板飛び石	コンクリート製平板ブロック 450×450×60 敷き込み 1500×300×60 敷き込み	120 個 19 個
園庭遊具１	ステール製可動式バスケットボール用ゴール H=2,400	1 台
園庭遊具２	ステール登棒 2,500φ棒6本	1 台
園庭遊具３	ステール製雲梯	1 台
半埋めタイヤ遊具	乗用車用タイヤ	7 個
可動式踏込台	木製段差解消スロープ台1800×1,800×200	1 台
物干し台	スチールパイプ製洗濯物干し金物・基礎石 (基礎石のみ工事対象)	1 組
電柱	街路灯用電柱・照明器具 (詳細は、電気設備参照)	1 組
駐車場看板	スチール製木下地 左側看板：1800×900、右側：1800×300	2 ヶ所
機械設備用 アスファルト舗装解体	舗装カッター目地入れ及びアスファルト舗装、下地解体	縁石解体 1.800m 舗装カッター目地 16.100m 舗装解体 12.600㎡

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (0155)−22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図	
図名	外構解体平面図	縮尺	A1：1/150 A3：1/300	日付	2023 年 11月	番号	A — 21			



樹 木 伐 採 平 面 図

伐採・伐根順序

工区１　工事発注後速やかに着工の事。

工区２　外構フェンス等の解体撤去との調整により着手の事。

工区３　建物本体解体撤去後、着手の事。

※敷地境界外に干渉する根は切り離すものとする。
これによりがたい場合は監督員と協議の上決定すること。

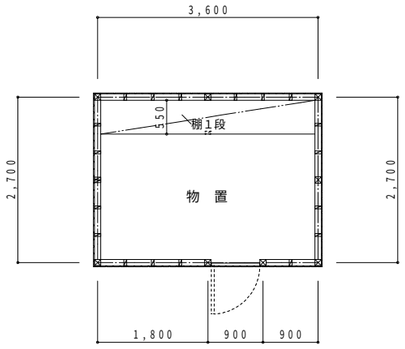
	規格・条件		数 量
工 区 1	伐採・伐根	幹周　30cm以上～　60cm未満	１本
	〃	幹周　90cm以上～120cm未満	１本
	伐根	幹周　60cm以上～　90cm未満	１本
	〃	幹周　90cm以上～120cm未満	１本
工 区 2	伐採・伐根	幹周　20cm未満	10本
	〃	幹周　20cm以上～　30cm未満	１本
	〃	幹周　30cm以上～　60cm未満	5本
	〃	幹周　60cm以上～　90cm未満	11本
	〃	幹周　90cm以上～120cm未満	7本
	〃	幹周120cm以上～150cm未満	1本
	〃	樹高　70cm　～　200cm	39.5m
工 区 3	伐採・伐根	幹周　20cm未満	11本
	〃	幹周　60cm以上～　90cm未満	2本
	〃	幹周　90cm以上～120cm未満	2本

記　号	樹種　・　樹木高さ　リスト
	ヒバ　15m　≪全て対象外≫
	マツ　10m
	広葉樹　6～8m
	広葉樹　3～4m
	生垣(エボタ)
☆	伐根

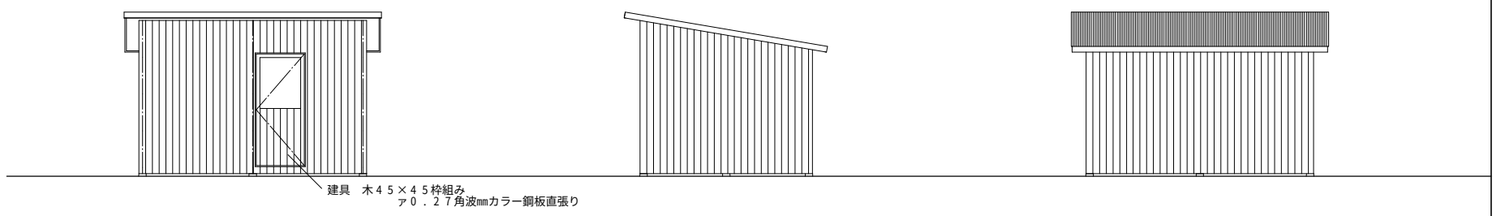
特 記 事 項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ 建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

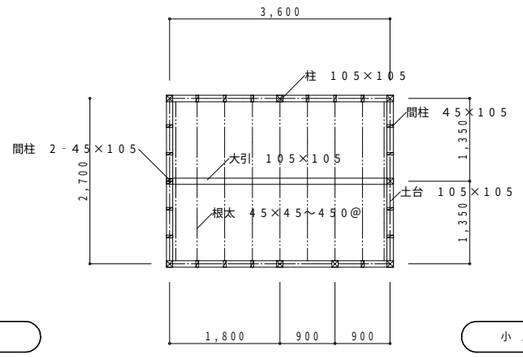
工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	樹木伐採平面図	縮尺	A1：1/150 A3：1/300	日付	2023 年　11月	番号	A	—	22



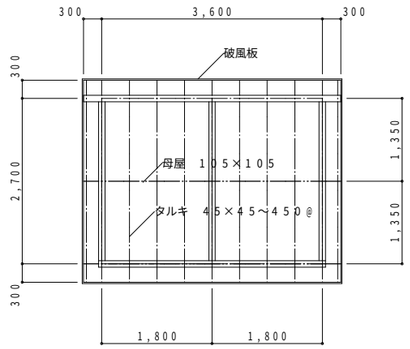
平　面　図



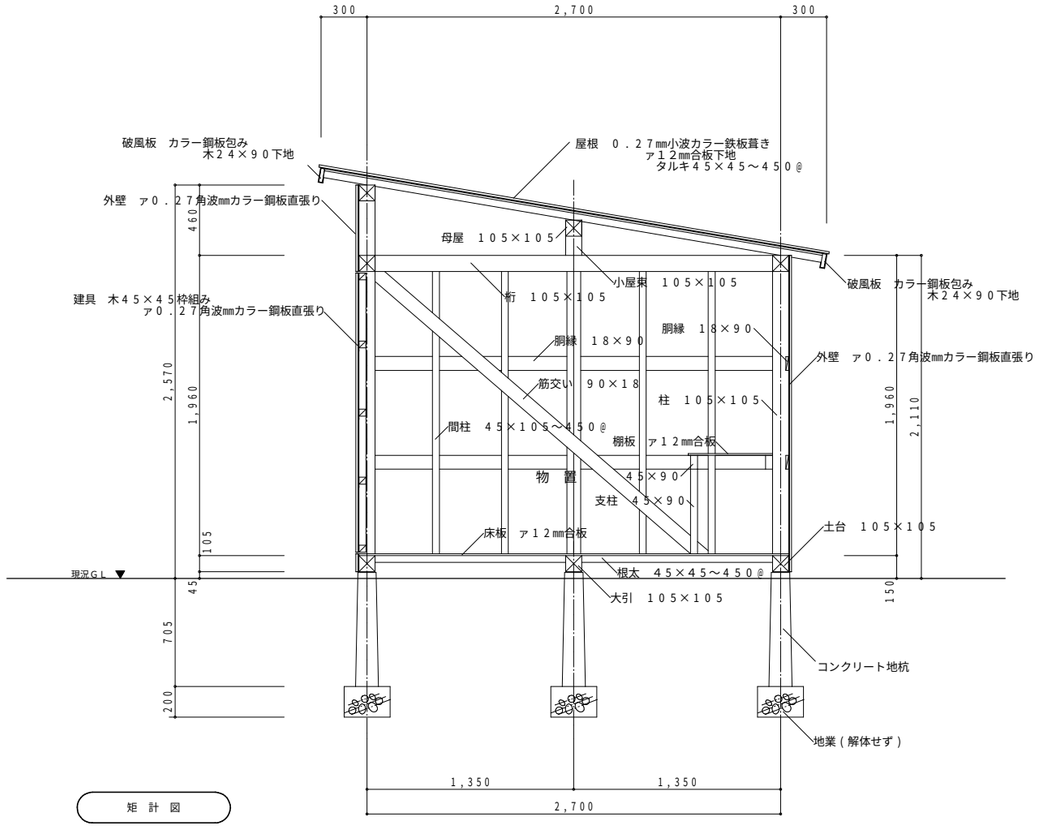
立　面　図



床　伏　図

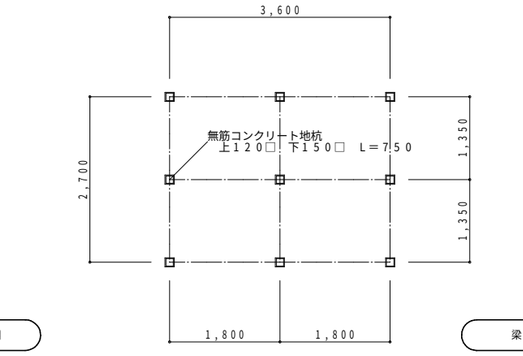


小　屋　伏　図

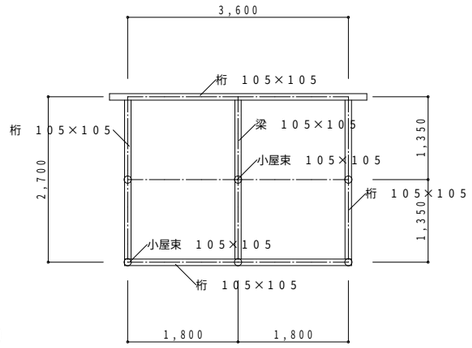


矩　計　図

S＝1／20　1／40



基　礎　伏　図

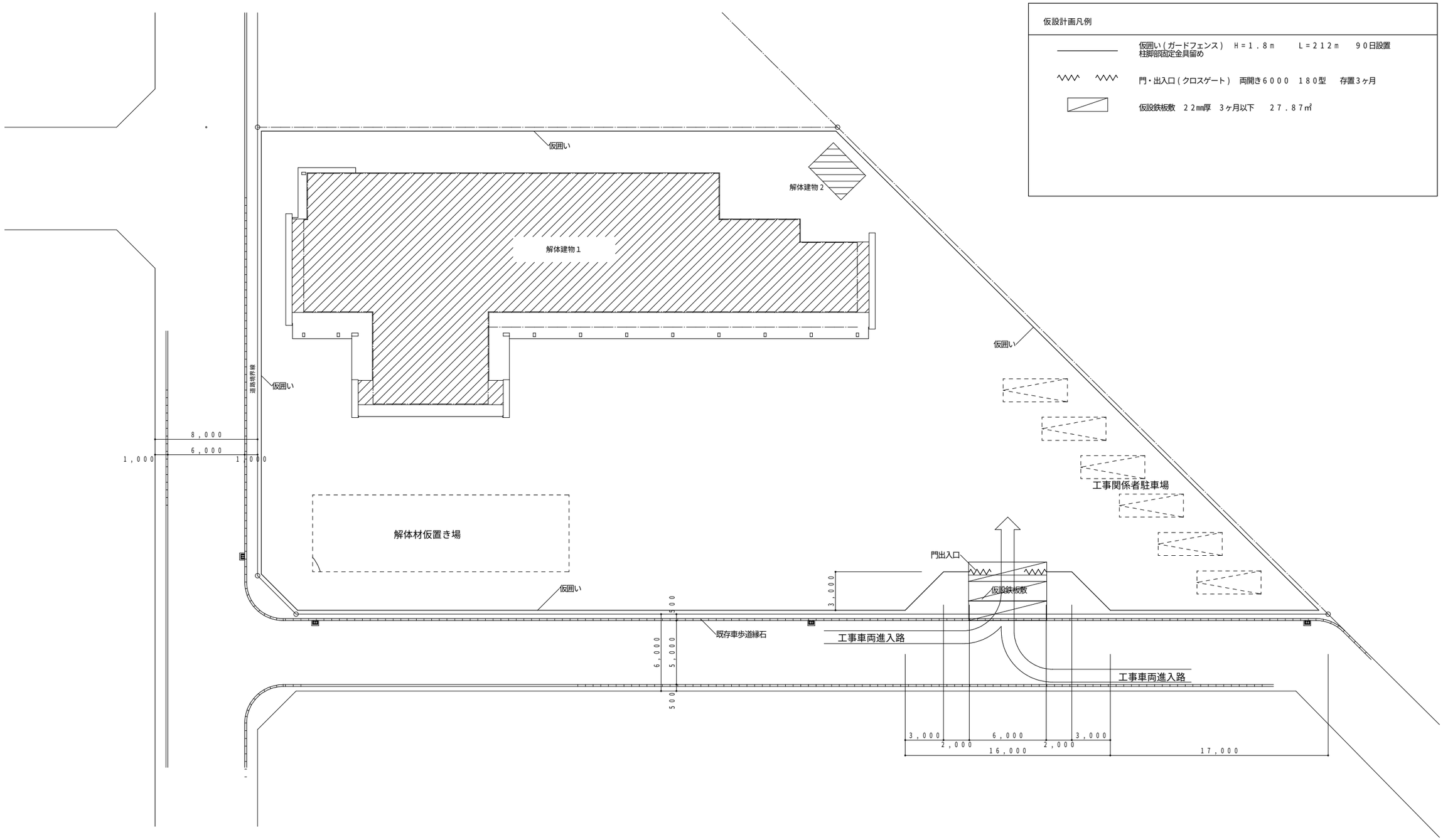


梁　伏　図

特　記　事　項

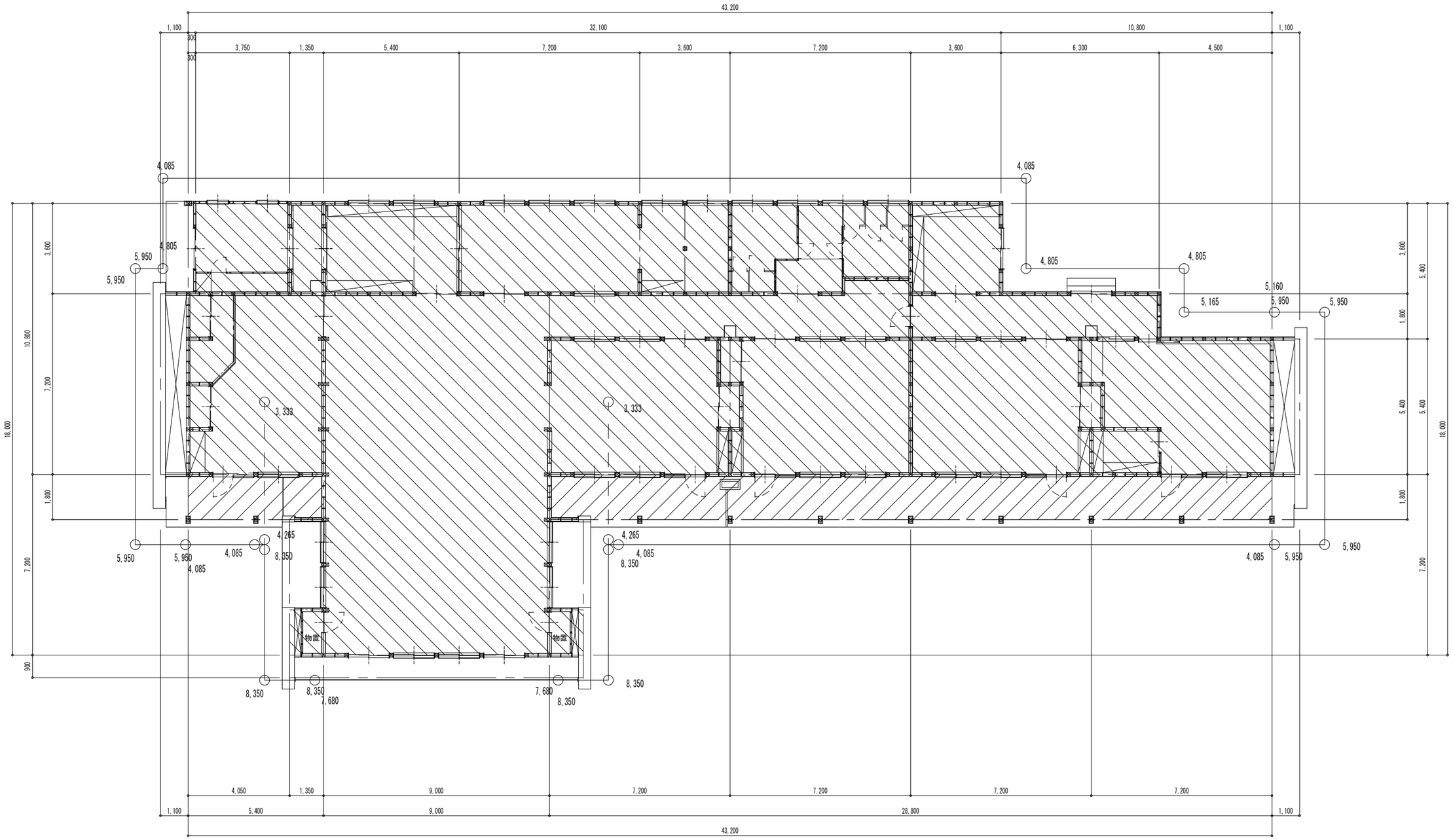
Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	物置棟解体図	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	A	—	23



特記事項

Mori ARCHITECT OFFICE	株式会社モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL (代) (0155) −22−1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当	製図
	一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	外部仮設計画図	縮尺	A1：1/150 A3：1/300	日付	2023 年　11月	番号	A — ２４



外壁芯から　1.0m離れた外部足場ライン
枠組み本足場　手すり先行方式(建枠600×1,700　布枠500×1枚
防炎Ⅱ類養生シート張)

屋根上の外部足場ライン

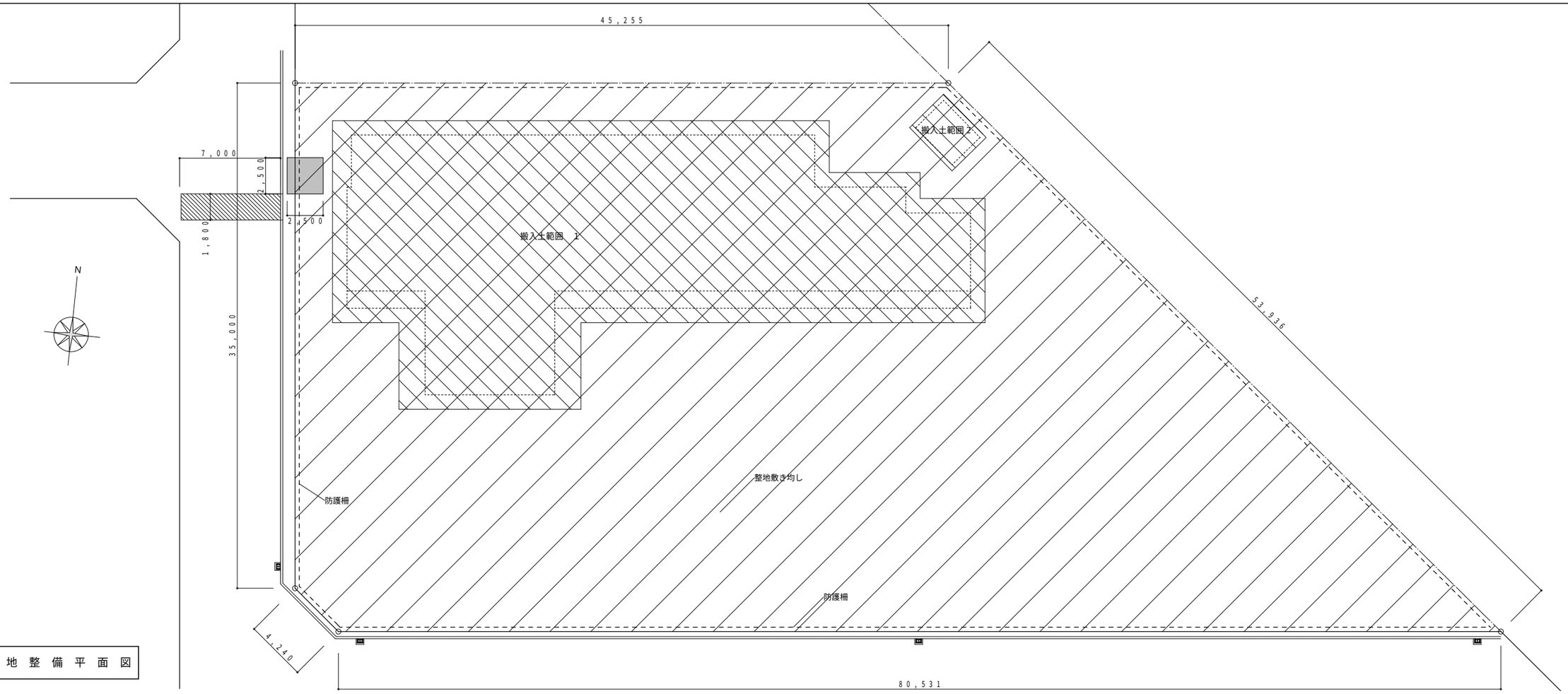
GLからの足場高さ

内部解体用脚立足場範囲

軒天解体用脚立足場範囲

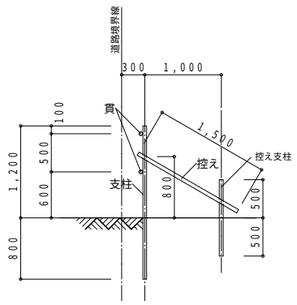
特　記　事　項

株式会社モリ建築設計室 帯広市緑ヶ丘東通東４０番地 TEL（代）（0155）-22-1102	工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図
一級建築士事務所（十）登録第１３６号 一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝	図名	仮設計画図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	A — 25	



跡地整備平面図

防護柵
単管　48.6φ
支柱　@1,000
貫　2段
控え　@3,000
キャップ・カバー付



防護柵詳細図　1 / 40

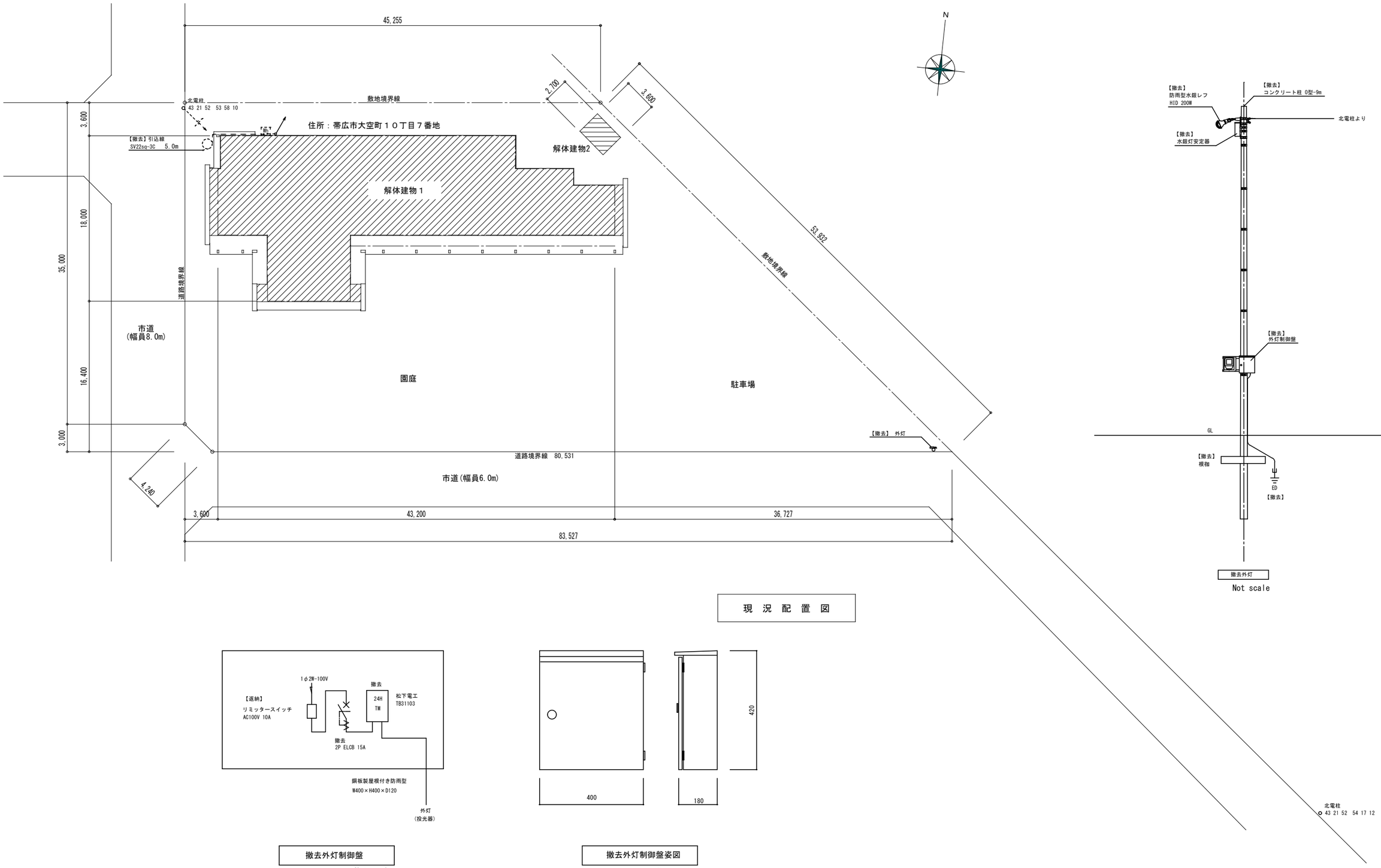
解体工事終了後に防護柵を、敷地境界線内側３０cmに設置する。

名　称	仕　様　・　内　容　等	所　要　数　量
搬入土範囲　1	本体棟GL下部分の搬出コンクリート類 (捨てCON　6.280m3・無筋CON 31.185m3・鉄筋CON 1.971m3)	39.436m3
搬入土範囲　2	物置棟GL下部分の搬出コンクリート類 (東石CON　0.117m3)	0.117m3
すきとり範囲	敷地面積2,442.450㎡ － 搬入土1、2面積675,280㎡ ＝ 1,767.17㎡ × 0.05m	88.359m3
盛土	敷地面積2,442.450㎡ － 搬入土1、2面積675,280㎡ ＝ 1,767.17㎡ × 0.10m	176.717m3
整地敷き均し	敷地面積2,442.450㎡ × 0.10m	244.245m3
防護柵囲い	図示 －－－－－－－－－－－－－	216.000m
機械設備用 アスファルト舗装復旧		12.600㎡
機械設備用 縁石復旧	外構解体平面図参照	1.800m
伐採・伐根工区３ 伐根時北電柱干渉樹木　砂利補填	伐根時北電柱干渉樹木：浅根性2本（GL-2.0m想定） 2.5m×2.5m×2.0m	12.500m3

特　記　事　項

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL ℡ (0155) −22−1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図	検図		担当		製図	
図名	跡地整備平面図	縮尺	A1：1/150 A3：1/300	日付	2023 年　11月	番号	A — 26



現 況 配 置 図

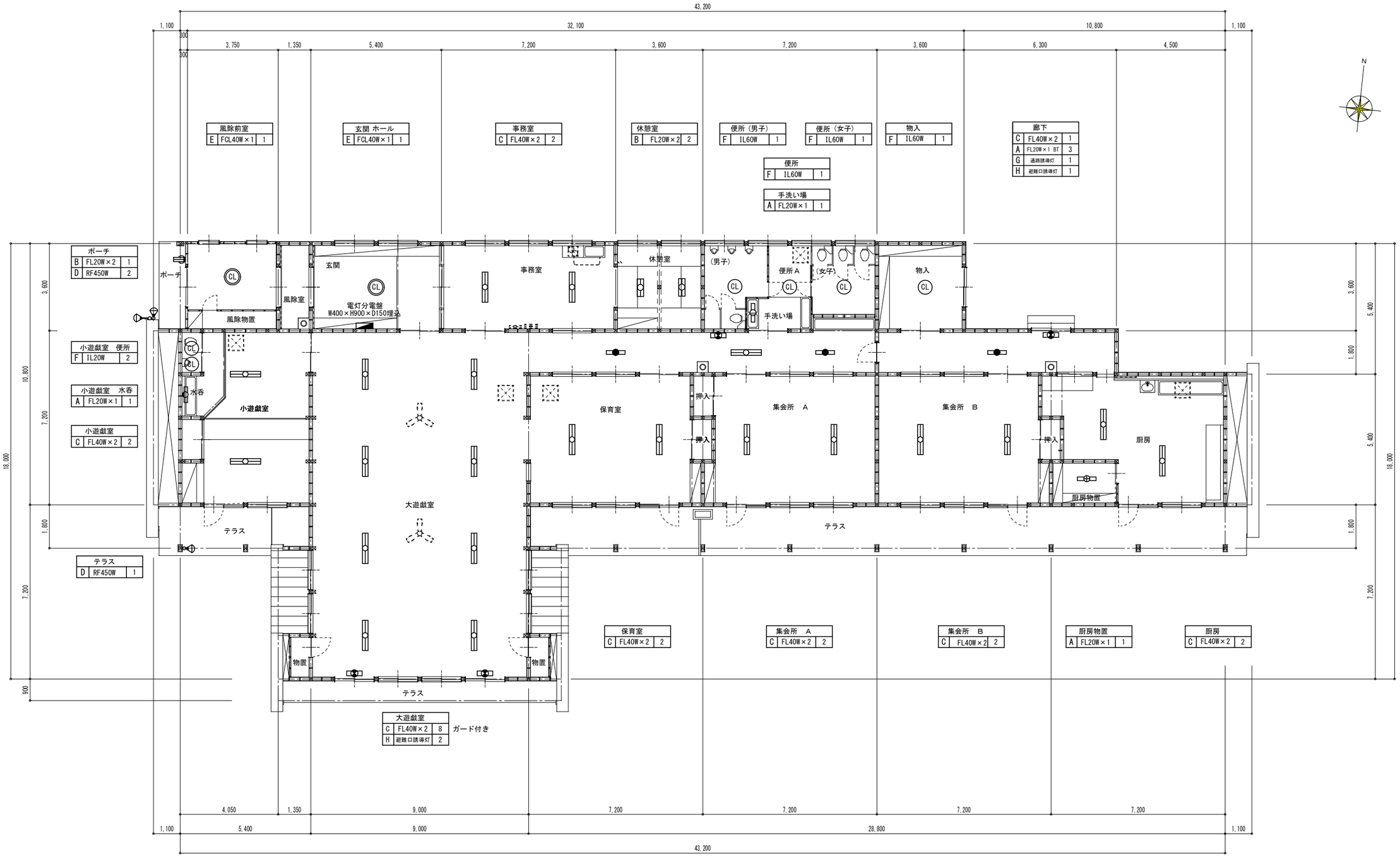
撤去外灯制御盤
Not scale

撤去外灯制御盤姿図
Not scale

特 記 事 項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）（0155）-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図	
図名	電気設備 配置図・屋外撤去図	縮尺	A1：1/200 A3：1/400	日付	2023 年 11月	番号	E — 01			

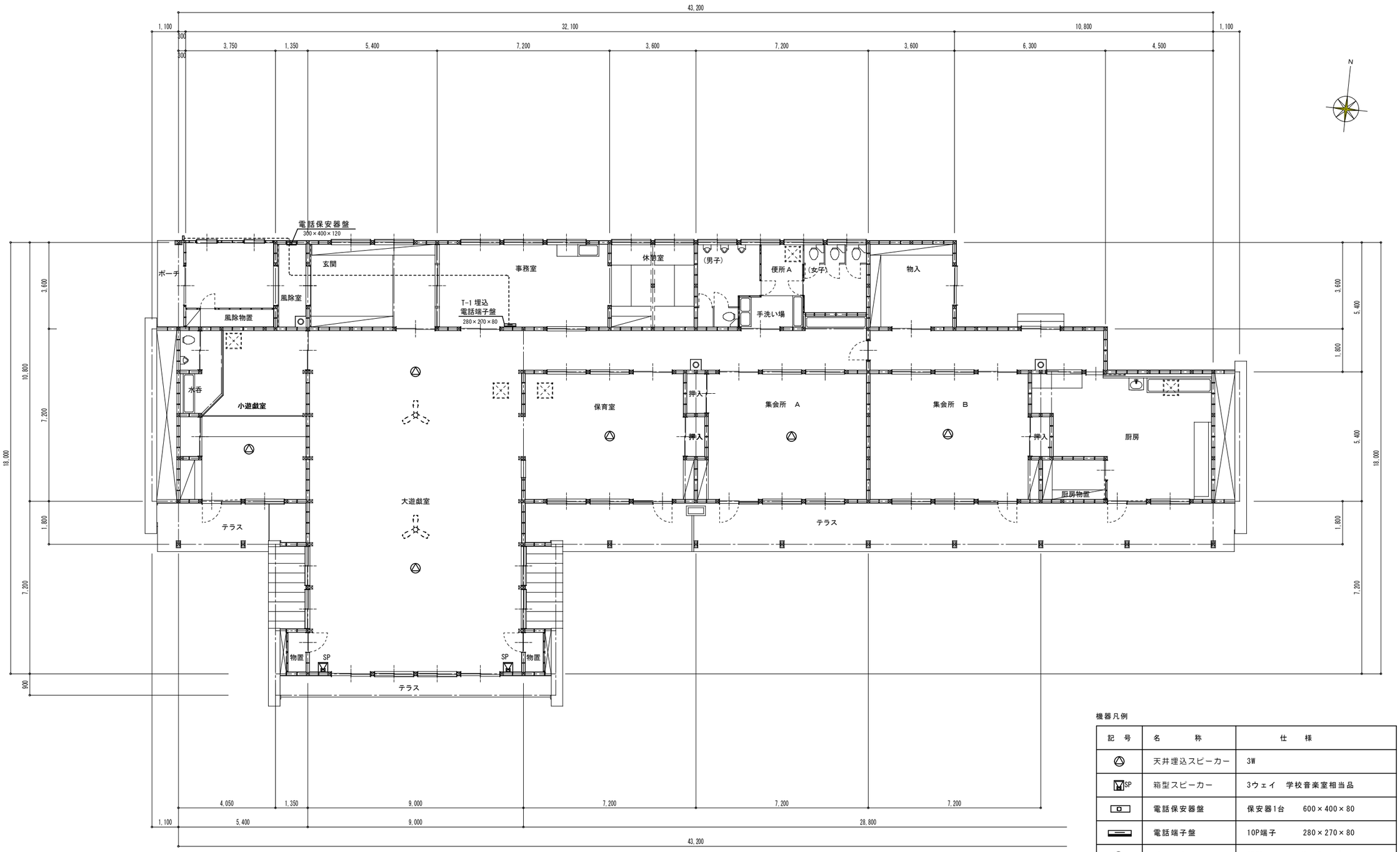


電 気 設 備
撤 去 平 面 図

特 記 事 項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）（0155）-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図					検図		担当		製図	
図名	電気設備 撤去平面図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年 11月	番号	E — 02				



機器凡例

記 号	名 称	仕 様
△	天井埋込スピーカー	3W
SP	箱型スピーカー	3ウェイ 学校音楽室相当品
	電話保安器盤	保安器1台 600×400×80
	電話端子盤	10P端子 280×270×80
親機	卓上電話機	家庭用 1回線 デスプレイ付き
T 子機	ワイヤレス電話機	上記の子機 ワイヤレスホン

弱 電 設 備
撤 去 平 面 図

特 記 事 項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図
図名	弱電設備 撤去平面図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年 11月	番号	E — 03		

火災報知設備
撤去平面図

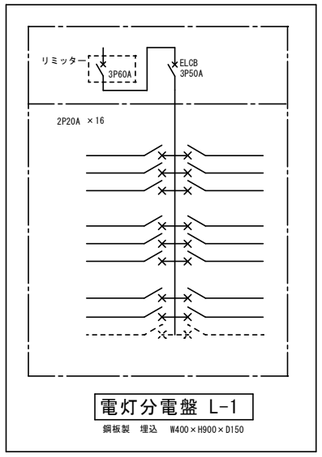
特記事項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）（0155）-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	火災報知設備 撤去平面図	縮尺	A1：1/80 A3：1/160	日付	2023 年　11月	番号	E	—	04

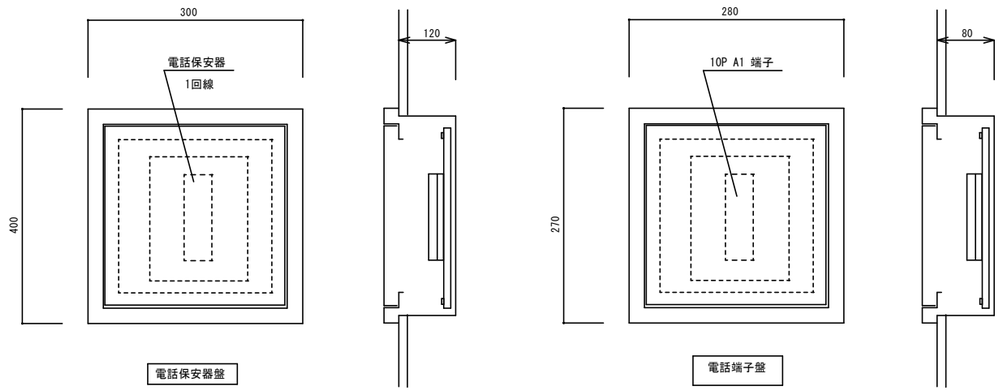
照明器具凡例

照明器具記号		仕様	参考姿図
A		蛍光灯 FL20W×1 露出 トラフ	
		蛍光灯 FL20W×1 露出 V型 直付け	
		ＦＢＳ２－２０１ 露出 ＦＬ２０Ｗ×１ 流し元灯	
		蛍光灯 FL20W×1 露出 V型 BT内臓	
B		蛍光灯 FL20W×2 露出 防雨型 カバー：アクリル（乳白）	
		蛍光灯 FL20W×2 露出 V型 直付け	
C		蛍光灯 FL40W×2 露出 V型 直付け	
		FL40W×2用 同上ガード	
D		白熱灯 IL(RF)450W×1 露出 防雨型白熱レフ 投光器 本体：アルミダイカスト	
		白熱灯 IL(RF)450W×1 露出 防雨型白熱レフ 投光器 アーム付き	
E	CL	蛍光灯 FCL40W×1 露出 シーリングライト カバー：アクリル（乳白）	480φ×135H
F	CL	白熱灯 IL 60W×1 露出 レセプタクル	ガラスセード 撤去済
G		通路誘導灯 FL20W×1 露出 BT内臓 Ｂ級・ＢＬ形 壁直付型 内照形	耐衝撃ポリカーボネイト表示板
H		避難口誘導灯 FL20W×1 露出 BT内臓 壁直付型 内照形	耐衝撃ポリカーボネイト表示板

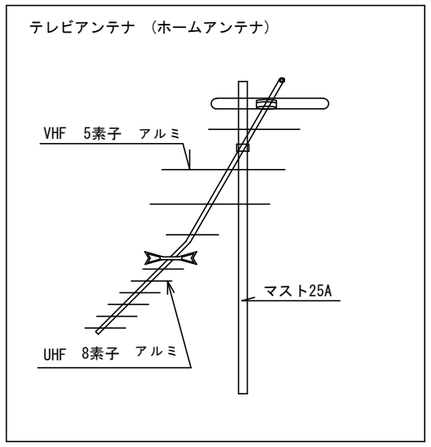


電話設備

	電話保安器盤	W300×H400×D120
	電話端子盤	W280×H270×D80

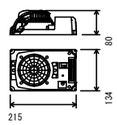


テレビ共同視聴設備



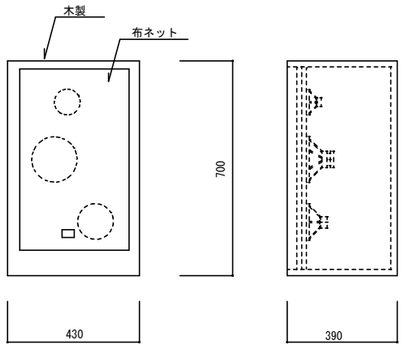
放送設備

	天井埋込 樹脂製 3W



１２ ｃｍコーン型
ケース：樹脂 黒
サランネット

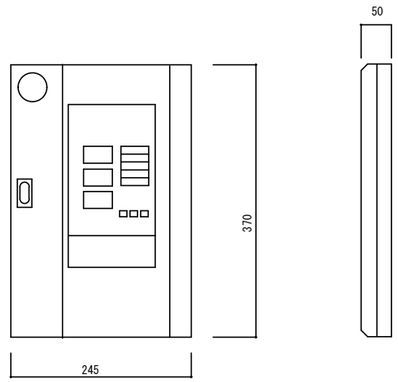
SP	壁掛 音楽室用



大遊戯室壁付けスピーカー

火災報知設備凡例

記号	仕様
	受信機 P型2級-5回線
P B	総合盤 P型2級- 埋込横型
	感知器 差動スポット型 2種
	小屋裏感知器 差動スポット型 2種
1	感知器 定温スポット型 1種
	感知器 定温スポット型 防水1種
0	感知器 定温スポット型 特種
S	煙感知器 露出 2種

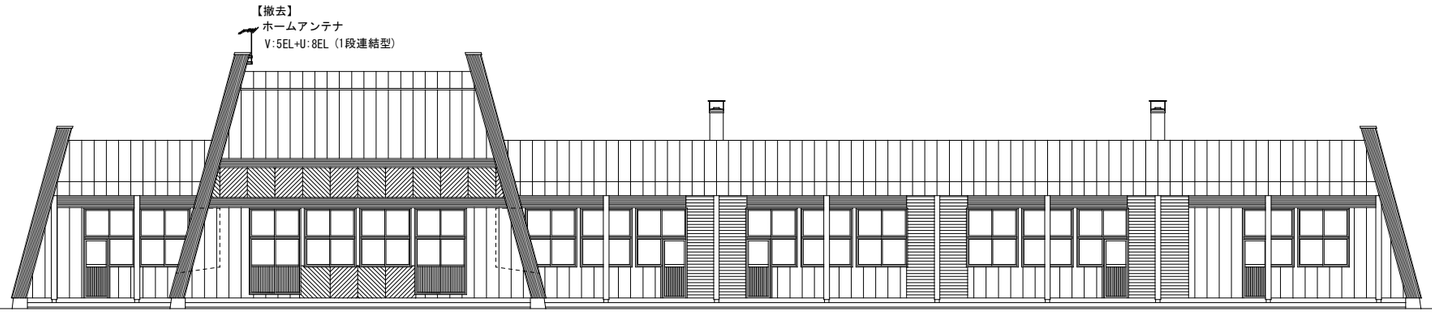


受信機

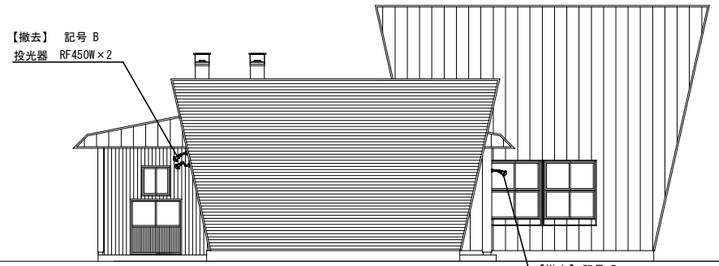
特記事項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）（0155）-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

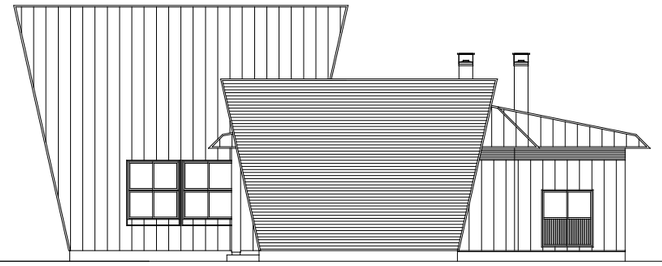
工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図					検図		担当		製図	
図名	電気設備 撤去機器表	縮尺	A1：N/S A3：N/S	日付	2023 年 11月	番号	E — 05		



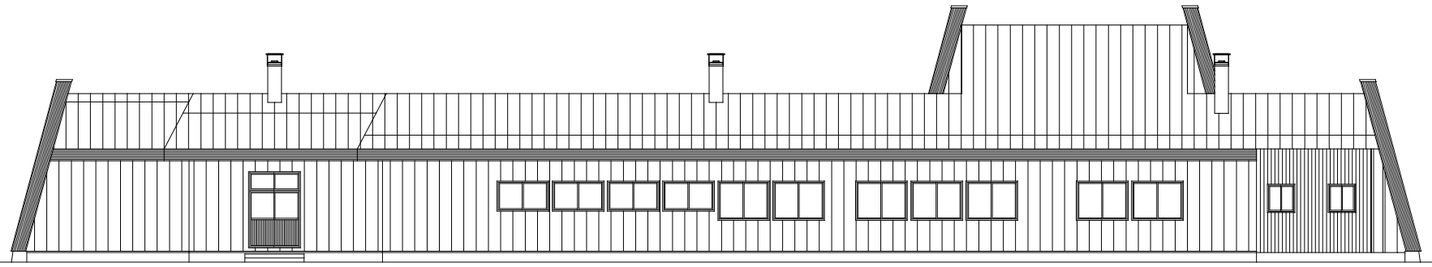
南 側 立 面 図



東 側 立 面 図



西 側 立 面 図

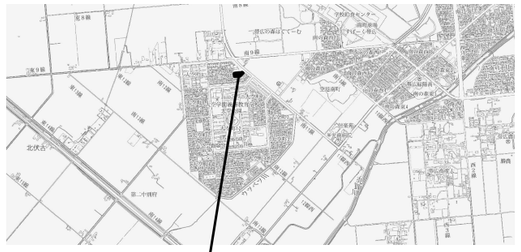


北 側 立 面 図

特 記 事 項

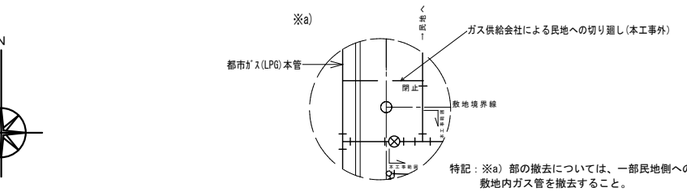
株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL（代）（0155）-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	電気設備 撤去立面図	縮尺	A1：1/100 A3：1/200	日付	2023 年　11月	番号	E — 06		

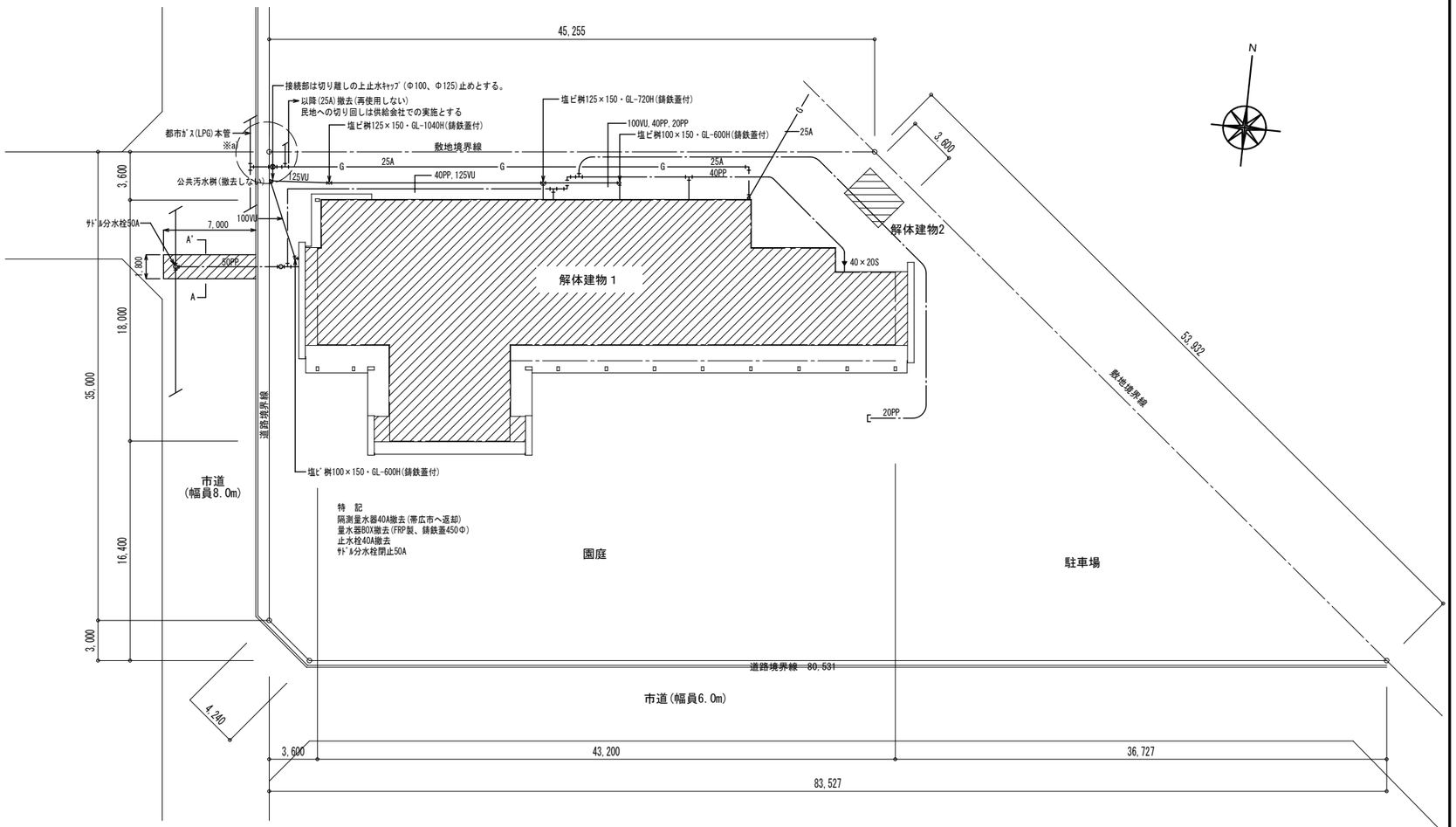


付 近 見 取 図

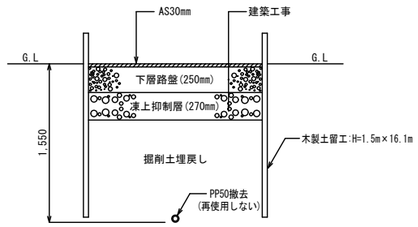
住所：帯広市大空町１０丁目７番地



特記：※a) 部の撤去については、一部民地側への切り廻し後
敷地内ガス管を撤去すること。



現 況 配 置 図



A-A' 断面図 S=1/30

特 記 事 項

1.着工に当たっては、事前に厳密な現地調査を行い、疑義が生じた場合には監督員と協議し問題の解決を図るものとする。
2.屋外給排水設備にかかる機器器具配管等は保温も含めすべて撤去する。
3.撤去物はすべて再使用しない。

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL(代)(0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号 森 義 孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図
図名	機械設備 屋外配管撤去平面図	縮尺	A1：1/200 A3：1/400	日付	2023 年 11月	番号	M — 01		

機械設備撤去品目リスト

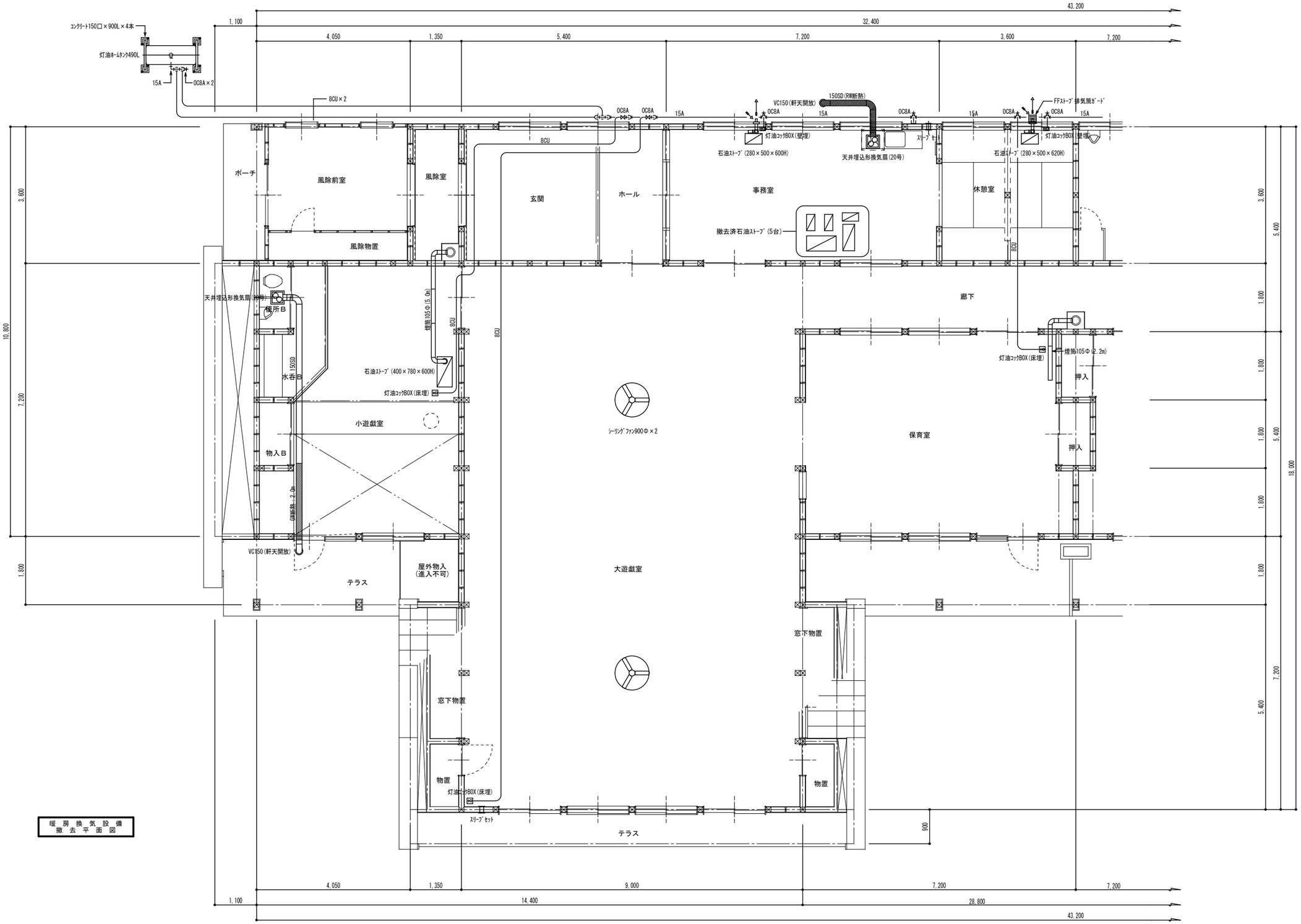
種　別	撤去品目	仕様及び寸法又は質量	備　考	数量	単位	種　別	撤去品目	仕様及び寸法又は質量	備　考	数量	単位	種　別	撤去品目	仕様及び寸法又は質量	備　考	数量	単位
暖房器具類	石油ｽﾄｰﾌﾞ	280D×500W×620H　質量:18.5kg　給排気筒共		2	台	衛生器具類	和風便器	ﾀﾝｸ式	清掃消毒	1	組	量水器周り	隔測量水器	40A	帯広市へ返却	1	個
	石油ｽﾄｰﾌﾞ	400D×780W×600H　質量:23.5kg		1	台		大便器	ﾀﾝｸ式	清掃消毒	4	組		量水器ﾎﾞｯｸｽ	FRP製		1	個
	石油ｽﾄｰﾌﾞ	220D×430W×610H　質量:16.5kg	撤去済	3	台		小便器	床置形　洗浄弁式	清掃消毒	4	組		止水栓	40A		1	個
	石油ｽﾄｰﾌﾞ	320D×780W×610H　質量:18.5kg	撤去済	3	台		洗面器	壁掛　混合水栓含む	清掃消毒	1	組						
	石油ｽﾄｰﾌﾞ	400D×780W×600H　質量:23.5kg	撤去済	1	台		鏡	400mm×600mm×5mm程度		1	枚						
	石油ｽﾄｰﾌﾞ	420D×600W×880H　質量:32.5kg　ﾎﾟｯﾄ式輻射型	撤去済	1	台		水栓	単水栓		15	個						
	煙筒	ｽﾃﾝﾚｽ製105Φ　曲がり共		12.8	m		水栓	混合水栓		1	個						
							水抜栓	15A×2400H		5	本	配管保温	青銅仕切弁	20A		1	個
							水抜栓	20A×2400H		3	本		鋼管	ねじ接合　一般　15A		38.3	m
							水抜栓	25A×2400H		1	本		鋼管	ねじ接合　一般　20A		88.5	m
							流しﾄﾗｯﾌﾟ	40A		6	個		鋼管	ねじ接合　一般　25A		3.9	m
給油器具類	灯油ﾎｰﾑﾀﾝｸ	490L	中和剤洗浄	1	個		床排水ﾄﾗｯﾌﾟ	75A		1	個		鋼管	ねじ接合　便所　20A		11.8	m
	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎石	150×150×900L		4	個		通気金物	50A		1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　40A	高圧洗浄	5.8	m
	灯油ｺｯｸ	8A　中間ｺｯｸ・床埋BOX・壁埋BOX共		25	個		通気金物	75A　VC		1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　50A	高圧洗浄	1.3	m
	ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	15A　油用		1	個								硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　80A	高圧洗浄	6.0	m
	銅管	ねじ接合　一般配管　15A	中和剤洗浄	22.6	m								硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　125A	高圧洗浄	31.4	m
	灯油用被覆銅管	一般配管　8A	中和剤洗浄	128	m								硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　50A	高圧洗浄	16.8	m
													硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　80A	高圧洗浄	11.4	m
						給湯器具類	石油給湯器	壁掛形　31.0Kw　給排気筒共		1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	一般　100A	高圧洗浄	7.1	m
							石油給湯器	壁掛形　42.7Kw　給排気筒共		1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	地中配管　100A　※産業廃棄物としてのみ計上	高圧洗浄	13.3	m
							ｶﾞｽ瞬間湯沸器	5号		1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	地中配管　125A　※産業廃棄物としてのみ計上	高圧洗浄	21.7	m
換気扇類	天井埋込形換気扇	20号(三菱電気型式)		4	台		ｶﾞｽ瞬間湯沸器	壁掛形　16号　給排気筒共	撤去済	1	個		硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	地中配管　150A　※産業廃棄物としてのみ計上	高圧洗浄	3.1	m
	天井埋込形換気扇	23号(三菱電気型式)		1	台		ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾁｭｰﾌﾞ	20A		6	個		鋳鉄蓋	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝用　150Φ		4	個
	有圧換気扇	壁取付形(ES付)　30cm		1	台		排気筒保温	RW　天井内		1.5	m2		給水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	地中配管　13A　※産業廃棄物としてのみ計上		4.8	m
	防雪ﾌｰﾄﾞ	30cm用		1	台								給水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	地中配管　20A　※産業廃棄物としてのみ計上		4.7	m
	ｼｰﾘﾝｸﾞﾌｧﾝ	90cm		2	台								給水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	地中配管　25A　※産業廃棄物としてのみ計上		3.9	m
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	150mm		16.1	m								給水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	地中配管　40A　※産業廃棄物としてのみ計上		55.7	m
	長方形ﾀﾞｸﾄ	300mm×300mm×1.0ｔ		2.2	m2								給水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	地中配管　50A　※産業廃棄物としてのみ計上		8.5	m
	長方形ﾀﾞｸﾄ保温	RW　天井内		2.2	m2		屋外消火器ﾎﾞｯｸｽ	10型1本用		1	個		保温	ﾊﾟｲﾌﾟｶﾞｰﾄﾞ　露出　20A		42.1	m
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温	RW　天井内		3.8	m2								保温	ﾊﾟｲﾌﾟｶﾞｰﾄﾞ　露出　25A		2.2	m
													保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ　PS内　20A		4.2	m
													保温	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ　床下　20A		20.1	m
						その他	都市ｶﾞｽ地中配管	本管引込閉止含む　25A	帯広ｶﾞｽ工事	1	式						
												土工事	根切り	2.8m3ＢＨ		85.9	m3
													埋戻し	2.8m3ＢＨ		85.9	m3

※撤去物は全て再使用しない。
※舗装解体及び復旧は建築工事とする。

特　記　事　項

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図	検図		担当		製図	
図名	機械設備 撤去品目リスト	縮尺	A1：N/S　A3：N/S	日付	2023 年　11月	番号	M — 02



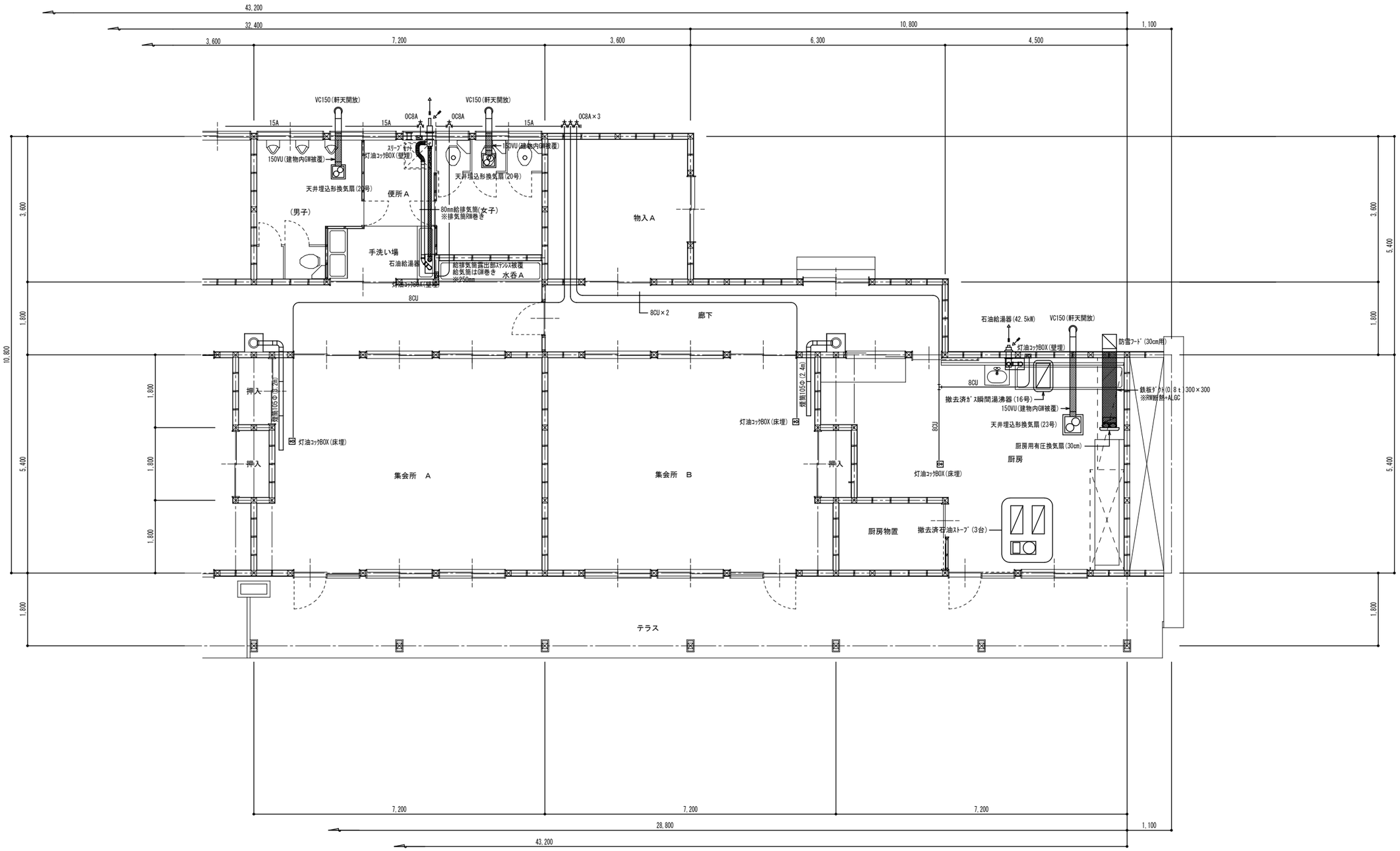
暖房換気設備
撤去平面図

特記事項

1. 暖房換気給油設備にかかる機器器具配管等は保温も含めすべて撤去する。
2. 撤去物はすべて再使用しない。

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL(代)(0155)-22-1102
一級建築士事務所(十)登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	暖房換気設備 撤去平面図　1	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	M	—	03



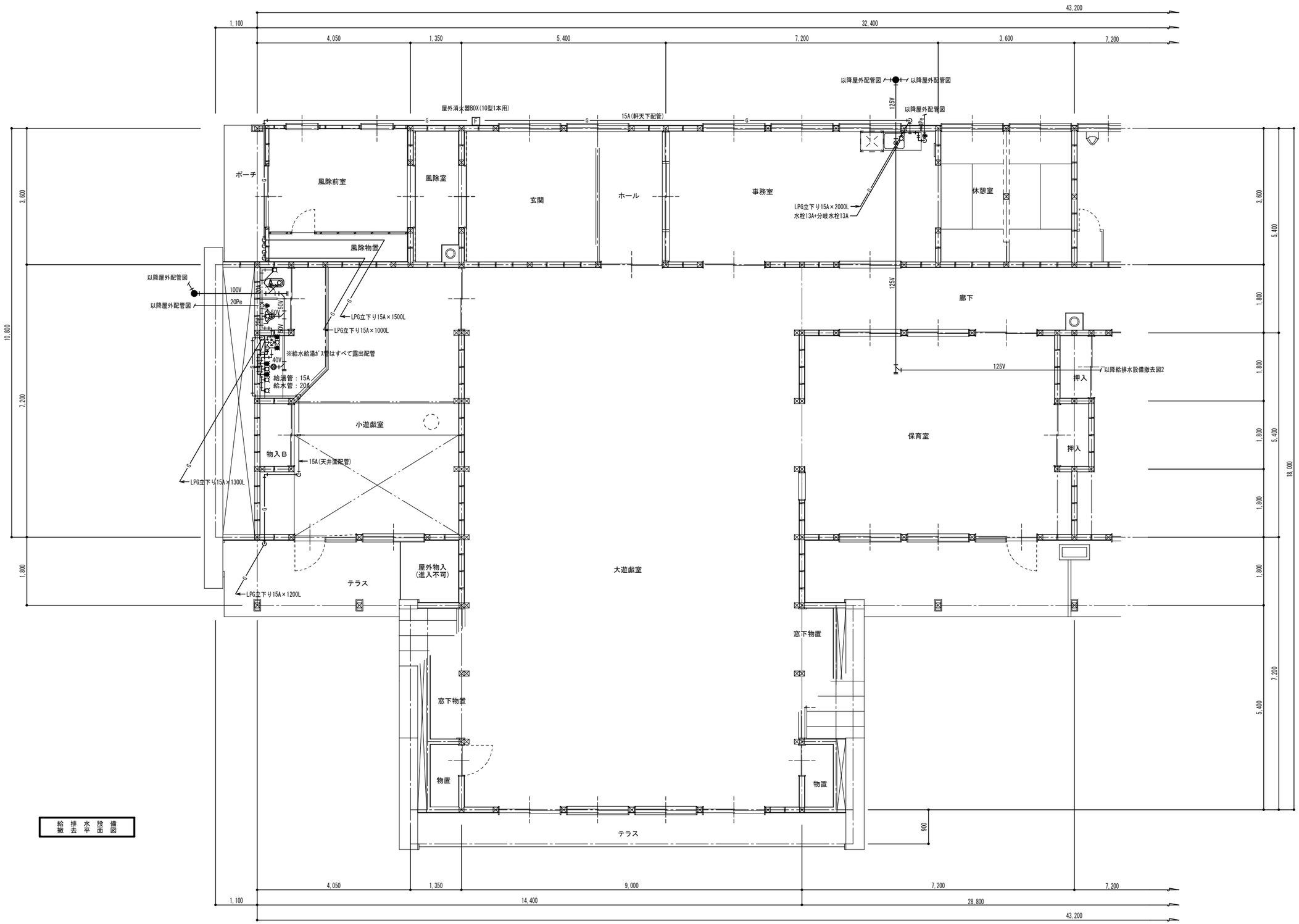
暖房換気設備
撤去平面図

特記事項

1. 暖房換気給油設備にかかる機器器具配管等は保温も含めすべて撤去する。
2. 撤去物はすべて再使用しない。

Mori ARCHITECT OFFICE
株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東40番地
TEL(代)(0155)-22-1102
一級建築士事務所(十)登録第136号
一級建築士第158671号 森 義孝

工事名	旧大空児童保育センター 解体工事 設計図				検図		担当		製図
図名	暖房換気設備 撤去平面図 2	縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	日付	2023 年 11月	番号	M — 04		



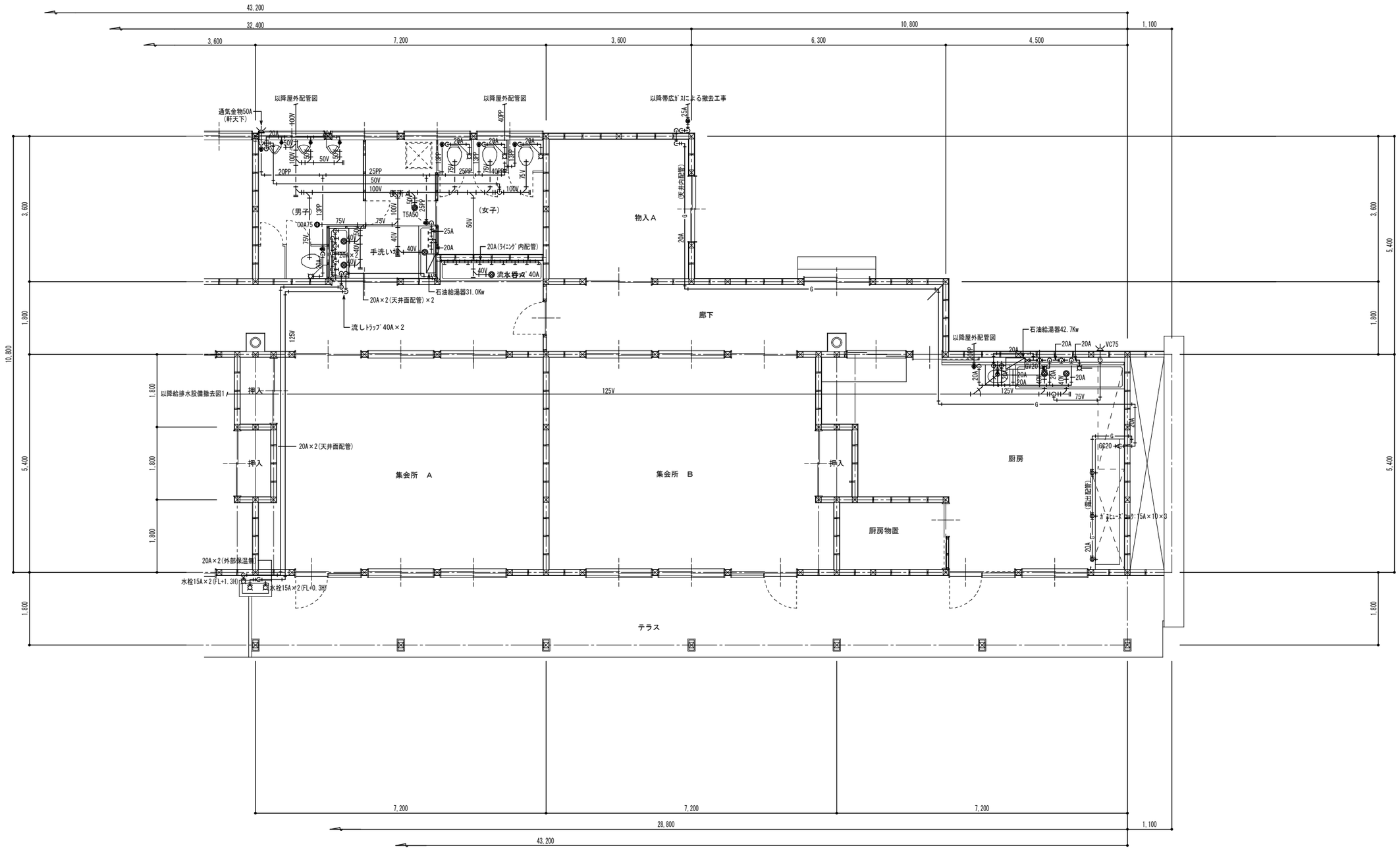
給排水設備
撤去平面図

特記事項

1. 給排水給湯ガス設備にかかる機器器具配管等は保温も含めすべて撤去する。
2. 撤去物はすべて再使用しない。

株式会社モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義　孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図			検図		担当		製図	
図名	給排水設備 撤去平面図　1	縮尺	A1：1/50 A3：1/100	日付	2023 年　11月	番号	M — 05



給排水設備
撤去平面図

特記事項

1. 給排水給湯ガス設備にかかる機器器具配管等は保温も含めすべて撤去する。
2. 撤去物はすべて再使用しない。

株式会社 モリ建築設計室
帯広市緑ヶ丘東通東４０番地
TEL (代) (0155)-22-1102
一級建築士事務所（十）登録第１３６号
一級建築士第１５８６７１号　森　義孝

工事名	旧大空児童保育センター　解体工事　設計図				検図		担当		製図
図名	給排水設備 撤去平面図 2	縮尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	日付	2023 年 11月	番号	M — 06		